

令和4年度 第2回加西市総合政策審議会

次 第

日時：令和4年8月9日（火）午後2時～

場所：加西市民会館 3階 小ホール

開 会

1 委員等出席者の紹介

2 議 事

第6次加西市総合計画における令和3年度評価

(1) 外部評価（2次評価）実施要領 …【資料1】【参考】

(2) 第1回部会 外部評価（2次評価）の実施 ※3部会での検討 … ※評価資料一式

3 その他

閉 会

【次回開催予定】

令和4年度 第3回加西市総合政策審議会

日時：令和3年8月31日（水）14:00～

場所：加西市民会館 3階 小ホール

令和4年度 第2回加西市総合政策審議会 出席者名簿

氏名	団体名	役職	備考
荒木 努	加西空き家対策専門家協議会	代表	(欠席)
上田尾 真	神戸新聞社	北播総局長	
大野 聖佳	NPO法人ねひめカレッジ	ジェネラルリーダー	
岡田 美香	農業者	代表	
高木 雄太	北条金融協会	会長	(欠席)
谷勝 公代	加西市くらしと生活を守る会	会長	
辻田 聡信	北条conne実行委員会	代表	
中野 重美	加西市スポーツ推進委員会	副委員長	
橋本 真由美	加西市立賀茂幼児園PTA	会長	
濱本 泰秀	加西商工会議所	会頭	
樋口 真史	加西市労働者福祉協議会	幹事	
藤本 文俊	加西市区長会	富田地区代表区長	
山下 光昭	加西市シニアクラブ連合会	会長	
山本 聖	加西市連合PTA	副会長	(欠席)
和田 真理子	兵庫県立大学 国際商経学部	准教授	

(計15名 五十音順)

■市担当者（説明員）

氏名	所属・役職名
藤後 靖	ふるさと創造部部長
奥隅 一博	総務部長
上坂 智津子	健康福祉部長
末廣 泰久	地域振興部長
北川 陽一	都市整備部長
原田 正之	生活環境部長
千石 剛	教育部長

■事務局

氏名	所属・役職名
藤後 靖	ふるさと創造部長
小菊 啓靖	ふるさと創造部人口増政策課長
吉川 雅人	ふるさと創造部人口増政策課 係長
岩野 裕之	ふるさと創造部人口増政策課 係長
千種 健史	ふるさと創造部人口増政策課 主任
垣谷 直宏	ふるさと創造部人口増政策課 主任
牛尾 充宏	ふるさと創造部人口増政策課 主事
小山 映	ふるさと創造部人口増政策課 まちづくり推進員

外部評価（2次評価）実施要領

1 外部評価（2次評価）の進め方

部会での検討（90分）

- ① 市民の視点から各施策について別紙「第6次加西市総合計画（実施計画）政策評価シート」及び「第6次加西市総合計画（実施計画）施策評価シート」を使い、行政内部による評価検証（1次評価）の総合評価（4段階評価）と同様の基準で評価する。
評価方法は、施策毎の1次評価が妥当であるかを検討し、審議会による外部評価（2次評価）にAからDを書き込んでいく。

総合評価基準	説明	目標数値の達成度 最終(R3)の数値目安
A 目標を上回って達成	計画が順調に進捗し、予定以上の成果を得ている	106%以上
B ほぼ目標を達成	計画通り概ね進捗し、一定の成果を得ている	95%～105%
C 目標を下回っている	計画より進捗が遅れ気味で、成果もあまり得られていない	80%～94%
D 目標を大きく下回っている	計画より進捗が遅れており、成果はまだ得られていない	79%以下

- ② 各施策に対する意見・提案等のコメントを出していく。
③ 評価は原則として部会内で実施するが、評価が一致しないものについては全体会に諮る。（施策単位、1、2程度）

2 部会の編成

部会	対象政策	担当委員	説明員	事務局
部会①	政策 1 新しい家族と出会い、育むための支援の充実	橋本委員	教育委員会 千石部長 健康福祉部 上坂部長	千種主任 牛尾主事
	政策 2 子供の教育の充実	山本委員		
	政策 3 生涯にわたって学び、楽しめる環境づくり	山下委員		
	政策 4 暮らしを支える福祉・医療の充実	中野委員		
	政策 12 お互いを認め、尊重し合える社会の実現	★大野委員		
部会②	政策 5 農業の再生と活性化	岡田委員	総務部 奥隅部長 地域振興部 末廣部長	小菊課長 垣谷主任 小山推進員
	政策 6 商工業の振興と新展開	★濱本委員		
	政策 7 地域資源の活用と人の流れの創出	高木委員		
	政策 13 効率的で持続可能な行財政の推進	樋口委員		
		荒木委員		
部会③	政策 8 安全・安心に暮らせる環境の充実	藤本委員	ふるさと創造部 藤後部長 生活環境部 原田部長 都市整備部 北川部長	岩野係長 吉川係長
	政策 9 快適な都市空間の創出	辻田委員		
	政策 10 安全性と利便性が確保された都市基盤の整備	上田尾委員		
		★谷勝委員		
	政策 11 協創のまちづくりの推進	和田委員		

※★は部会長

第6次加西市総合計画（実施計画）
政策評価シート

基本方針・政策・施策										担当部会 1		
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ											
政策	1 新しい家族と出会い、育むための支援の充実											
施策	① 結婚・妊娠・出産支援の充実 ② 地域ぐるみの子育て支援の推進 ③ 子育て環境の充実											
未来の加西の姿												
家族や子どもを持ちたい希望に対し、切れ目ない支援で叶えられるまちを目指します。												
評価検証												
施策	行政内部による評価検証（1次評価）						審議会による外部評価（2次評価）					
① (ア〜ウ) 評価シート 1〜4	■ 出会いから結婚、出産を支援 加西出会いサポートセンターによるマッチング、セミナー、イベントを実施。健康課による妊娠中からの支援、妊婦検診・産婦検診費用助成など、補助制度を手厚く実施している。 子育て世代のニーズを踏まえ、市内で出産を可能にすべく、多角的な面から検討を実施し、産婦人科の誘致を目指している。 ■ 産後ケア 産後ケア委託施設数については目標数値を達成できた。宿泊・デイサービスでの利用が多いため、今後は訪問型サービスを充実させることを目指す。											
	総合評価	B…ほぼ目標を達成					総合評価					
② (ア〜エ) 評価シート 5〜10	■ 子育て世帯の経済負担の軽減 加西市独自で副食費の無償化を実施したほか、医療費自己負担無料化を所得制限を無くして実施した。 ■ 子育てにやさしいまち（多子世帯、ひとり親支援） ひとり親の資格取得支援を実施した。また多子世帯、ひとり親世帯の下水道減免、0〜2歳児を対象としたごみ袋の無料配布を実施した。 ■ 労務管理・働き方改革 事務所向けに労務管理、働き方改革セミナーを実施し、啓発を図っている。企業としても若者や女性に選ばれる事業所づくりへの関心や必要性の認識は強まっている。											
	総合評価	C…目標をやや下回って達成					総合評価					
③ (ア〜ウ) 評価シート 11〜13	■ 未来型児童館 庁内WGを開催し、関係課から意見を聴取した。 ■ 教育・福祉・保健部門の連携 未就園児の子育て相談から発達（療育）等専門的な相談やこども園訪問相談等、幅広い分野で支援を行うため、専門事業者へ委託を実施した。 ■ 屋内遊具施設の設置 地域再生計画に基づき、北条町駅前の商業施設であるアステアかさい2階に『アスモ』をオープンさせた。同施設では、保育士の常駐、未就学児の一時預かりを行い、子育て支援の新たな場となっている。											
	総合評価	B…ほぼ目標を達成					総合評価					
目標を達成するための主な指標（KPI）												
指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分			
合計特殊出生率	目標		—	—	—	—	1.83	人	単年			
	実績	1.28	0.91									
	達成度		50%									
※15〜49歳までの日本人女性の年齢別出生率を合計したもの												
	目標											
	実績											
	達成度											

担当部会 1

基本方針・政策・施策

基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ
政策	2 子どもの教育の充実
施策	④ 教育の質の向上 ⑤ 教育環境の充実 ⑥ 地域で子どもを守り、育てる仕組みの充実

未来の加西の姿

自ら学び行動する能力を身につけ、子どもの可能性を広げられるまちを目指します。

評価検証

施策	行政内部による評価検証（1次評価）	審議会による外部評価（2次評価）
④ (ア～エ) 評価シート 14～17	<p>■特色ある学習活動 SDG s等に関する課題学習を取り入れた外国語教育については十分な広がりを見せていない。部活動指導員については、全中学校区で運用を実現することができた。</p> <p>■小・中学校の連携強化 中学校からの乗り入れ授業、中学校での授業体験により、中1ギャップの軽減につなげている。</p> <p>■ICT教育の推進 授業においてGIGAスクール端末を活用する場面は増加している。デジタル教科書への意向を見据え、研究・研修が必要である。</p> <p>総合評価 C…目標をやや下回って達成</p>	
⑤ (ア～イ) 評価シート 18～20	<p>■教育環境の整備 富田小学校体育館、宇仁小学校体育館の改修を実施した。</p> <p>■小・中学校のあり方の検討 市長と教育委員が協議を行う、「総合教育会議」を開催し、学校のあり方について意見交換を行うとともに、「未来の学校構想検討委員会」を教育委員会とともに運営し、素案について多様な関係者からの意見を聴取できるようにアンケートの設計を行った。 「未来の学校構想検討委員会」では、中学校再編と小学校の学園構想を柱とする素案を発表し、連合PTA、教職員等へのアンケート調査の説明を行った。</p> <p>総合評価 A…目標を大きく上回って達成</p>	
⑥ (ア～ウ) 評価シート 21～23	<p>■いじめ・不登校対策 令和3年度よりスクールソーシャルワーカーを1名増員し2名体制とした。学校との連携や家庭訪問、相談等について、令和2年度よりも対応を強化することができた。</p> <p>■地域全体での学校支援 ゲストティーチャーの活用や学校評議員会の実施など、目標には到達しなかったが、一定の成果を収めることが出来た。</p> <p>■地域連携のもと、子どもの学習支援・体験活動の推進に取り組む 事業実施校区における体験や学習を通して、地域の方々や家族とのふれあいを深め、地域の良さを発見することができた。</p> <p>総合評価 B…ほぼ目標を達成</p>	

目標を達成するための主な指標（KPI）

指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
全国学力・学習状況調査において全国平均点を上回った教科数	目標		—	—	—	—	3	教科	単年
	実績	1	3						
	達成度		100%						
※全国学力・学習状況調査による小学生（国語・算数）、中学生（国語・数学）の4教科のうち、全国平均点を上回った教科数									
児童・生徒用PCの使用率	目標		—	—	—	—	100	%	単年
	実績	0	49.29						
	達成度		49.3%						

※ 1年間に個人用PCを使用した延児童・生徒数 ÷ (5/1現在の児童・生徒数 × 登校日数)

基本方針・政策・施策		担当部会 1
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ	
政策	3 生涯にわたって学び、楽しめる環境づくり	
施策	⑦ 生涯学習の充実 ⑧ 芸術・スポーツの振興 ⑨ 健康増進の推進	

未来の加西の姿

生涯、学びやスポーツを楽しみ、日常生活やまちづくりに活かせるまちを目指します。

評価検証

施策	行政内部による評価検証（1次評価）	審議会による外部評価（2次評価）
⑦ (ア～イ) 評価シート 24～25	<ul style="list-style-type: none"> ■公民館を中心とした学習機会の充実 通年開催の連続講座36講座（394回）、子ども・親子講座など単発講座9講座（13回）を開催した。シニアカレッジ「かしの木学園」受講生は年々増加している。市民教養講座ではデジタルデバイス解消を目的として「初めてのスマホ講座」等も実施した。 ■図書館サービスの拡充 定期的なおはなし会（295名）、えほんのひろば（142名）、映画会（1,112名）を開催した。 総合評価 B…ほぼ目標を達成	総合評価
⑧ (ア～エ) 評価シート 26～29	<ul style="list-style-type: none"> ■芸術文化を感じられる環境づくり、スポーツ・レクリエーション活動推進 プロスポーツチームや連携大学によるスポーツ教室等を開催できた。 ■総合体育館の整備や既存施設の改修 市民会館では、自主事業を計画し全事業を実施した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため体育施設の利用者数は目標に達していないが、前年度比においては114%と増加している。 ■地域に密着して活動するスポーツ団体・芸術団体支援 ■郷土愛の醸成と伝統の継承 こども狂言塾は、新規入塾者が5名あったが、卒業生との比率ではマイナスとなった。風土記講座については、目標は達成できた。 総合評価 B…ほぼ目標を達成	総合評価
⑨ (ア～イ) 評価シート 30～35	<ul style="list-style-type: none"> ■こころの健康についての支援体制 電話、対面相談を実施。ゲートキーパー研修を実施した。 ■歩いて暮らす健康づくりのための拠点整備や環境の整備 運動ポイント事業は、順調に参加者を増やしている。運動教室は、利用者数を大きく減らす結果となった。 ■各種検診への受診率向上 がん検診無料クーポン券を配布。未利用者への受診勧奨を行った。また特定検診未受診者については、戸別訪問や国保ヘルスアップ支援事業を活用し、積極的な受診勧奨を行った。 ■セミナー開催等による食育・健康教育の推進 総合評価 B…ほぼ目標を達成	総合評価

目標を達成するための主な指標（KPI）

指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
加西市立図書館の来館者数	目標		—	—	—	—	22	万人	単年
	実績	21	17.4						
	達成度		79%						
※公共図書館調査による年間来館者数									
文化・スポーツ活動の参加者数	目標		—	—	—	—	270	千人	単年
	実績	188	141						
	達成度		52.2%						
※体育施設・市民会館・公民館の年間利用者									

担当部会 1

基本方針・政策・施策

基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ
政策	4 暮らしを支える福祉・医療の充実
施策	⑩ 高齢者福祉の推進 ⑪ 障がい福祉・地域福祉の充実 ⑫ 保健・医療体制の確保

未来の加西の姿

市民が生涯にわたって、健康で自分らしく暮らすことのできるまちを目指します。

評価検証

施策	行政内部による評価検証（1次評価）	審議会による外部評価（2次評価）
⑩ (ア～イ) 評価シート 36～37	<ul style="list-style-type: none"> ■要配慮者や介護者、家族を支援するための総合支援体制の構築 配食サービスには現在まで4事業所が参入している。ICTを活用した認知症見守りサービスについては、市内85箇所の見守り感知器の設置が完了した。 ■高齢者の就業機会の拡充や集いの場での地域活動の推進 シルバー人材センターでは、働く意欲のある高齢者が、年齢に関わりなくその能力や経験をいかし生涯現役で活躍し続けられるよう支援した。 	
	総合評価 B…ほぼ目標を達成	総合評価
⑪ (ア～ウ) 評価シート 38～40	<ul style="list-style-type: none"> ■要配慮者の地域生活移行や社会参画の促進 社会参加促進事業は、コロナウイルス感染症の影響もあり縮小となっている。就労継続支援事業は、全国的な利用者の増加に伴い、本市においても利用者が増加している。 ■地域福祉活動の充実 コロナ禍でサロンを中止する町が多く、目標の半分以下となっている。 ■生活困窮者支援 子ども食堂は、令和2年度は活動団体が1団体のみだったが、現在実施団体が4団体となったこともあり、コロナ禍にも関わらず当初の目標を大きく上回る結果となった。 	
	総合評価 A…目標を大きく上回って達成	総合評価
⑫ (ア～イ) 評価シート 41～44	<ul style="list-style-type: none"> ■総合診療の充実、病院間連携の強化 新病院建設工事基本設計をまとめた。病院間連携の指標である、市立加西病院への紹介率は、コロナ禍のため目標値にはとどかなかった。 ■連携強化による地域医療体制の確保 保健事業実施を実施するために、加西市医師会、加西市歯科医師会と会議を開催し、安全に事業実施ができた。加西市医師会には年間を遠し休日の診療にも協力を仰ぎ、市民が安心して必要な医療を受けられる体制を確保することができた。 ■地域包括ケアシステム推進部会の開催 コロナワクチン接種対応のため開催に至らなかった。 	
	総合評価 B…ほぼ目標を達成	総合評価

目標を達成するための主な指標（KPI）

指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
要介護認定率	目標		—	—	—	—	21.2	%	単年
	実績	20.3	19.4						
	達成度		91.5%						
※認定者数（第1号）÷第1号被保険者数									
市立加西病院への紹介率	目標		—	—	—	—	50	%	単年
	実績	44	43						
	達成度		86.0%						

※受診患者のうち、他の医療機関から紹介されて来院した患者の割合

基本方針・政策・施策

基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む
政策	5 農業の再生と活性化
施策	⑬ 農業従事者の確保と育成 ⑭ 農業経営の支援 ⑮ 農業環境の充実

未来の加西の姿

加西の特産品を生産する喜び、やりがいのある農業が展開されるまちを目指します。

評価検証

施策	行政内部による評価検証（1次評価）	審議会による外部評価（2次評価）
⑬ (ア～イ) 評価シート 45～46	<ul style="list-style-type: none"> ■生産者を対象とした経営の指導等 地元ブランド品開発については、12件の申請があり、補助を行った。商品開発やパッケージデザインの経費に補助した結果、令和4年4月オープンのかさいで販売する商品が誕生した。 ■新規就農者支援 新たに青年等就農計画を認定した農業者は5名。今年度から農業次世代人材投資資金の交付対象者となった者も5名いる。1年間研修に行き、就農を目指していた者が多く、今年は多く就農した。 	
	総合評価 B…ほぼ目標を達成	総合評価
⑭ (ア～ウ) 評価シート 47～49	<ul style="list-style-type: none"> ■農業経営の持続可能性を確保する支援 営農組合や認定農業者に対して、機械等の購入の一部補助を実施した。県事業の農業経営スマート化促進事業では、雇用等の拡大を目指す取り組みに支援した。 ■農業の所得拡大、地元農産のブランディング 特産品開発や集落営農組織の資質向上の為に、各協議会等に支援を行った。ぶどうの生産継続に向けて、棚の改修新設やベリ-Aや大粒系品種への改植を進める為に苗木の購入補助を行った。 ■地産地消や食育の推進 神戸大食資源センターや播磨農高の学生が栽培した野菜や愛菜館を通じて市内産農作物を市内の学校給食に使用している。 	
	総合評価 A…目標を大きく上回って達成	総合評価
⑮ (ア～ウ) 評価シート 50～52	<ul style="list-style-type: none"> ■スマート農業等、新たな農業の推進 施設園芸設備整備支援事業により、作業効率化に資する取組みを支援した。また、県予算を活用して、環境制御技術の導入を図り、作業効率を向上させ、農業者労働時間の軽減を支援した。 ■生物多様性等環境に配慮した生産の推進 水稲作付で有機資材である堆肥の散布や中干の期間を短くしてオタマジャクシなど水生昆虫の生育を助け、また温暖化ガスであるメタンガスの発生抑制などに取組み環境にやさしい農業に取り組む農家の支援を行った。 ■安定した農業経営を実現するための有害鳥獣対策の強化 	
	総合評価 B…ほぼ目標を達成	総合評価

目標を達成するための主な指標（KPI）

指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
担い手への集積面積	目標		—	—	—	—	1,400	ha	単年
	実績	1,215	1,255						
	達成度		89.6%						
※認定農業者、認定新規就農者、集落営農組織が集積している農地の合計面積									
農地の活用率	目標		—	—	—	—	91	%	単年
	実績	89	87						
	達成度		95.6%						
※作付面積：農地面積									

担当部会 2

基本方針・政策・施策

基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む
政策	6 商工業の振興と新展開
施策	⑩ 商工業の振興 ⑪ 創業支援と働く場の拡大 ⑫ 雇用・勤労者福祉の充実

未来の加西の姿

商工業の振興により地域経済を活性化し、働きたいと思われるまちを目指します。

評価検証

施策	行政内部による評価検証（1次評価）	審議会による外部評価（2次評価）
⑩ (ア〜ウ) 評価シート 52〜56	<ul style="list-style-type: none"> ■持続可能な商工業の振興と地域経済の活性化 制度の周知ができており、補助制度の利用が促進されている。 ■消費喚起とキャッシュレス決済の普及促進 ポイントカードや住宅リフォーム助成事業、市内共通商品券を発行し市内消費の喚起に努めた。コロナ対策として、市内共通商品券に関してプレミアム率を通常10%を20%にし、発行額も大幅に増やして実施した。 ■魅力ある商業施設の誘致、宿泊施設等のさらなる充実 都市計画課との連携により西高室地区（南区画）への商業施設、アステアかさいへの屋内型遊戯施設&テレワークセンターの誘致に成功した。 また、誘致を進めていた東高室商業ゾーンのオープンモールについて、進出テナントの開発・建築計画の協議を進め、第1弾のテナントが開店した。 <p>総合評価 A…目標を大きく上回って達成</p>	
⑪ (ア〜エ) 評価シート 57〜62	<ul style="list-style-type: none"> ■相談や指導助言、空き店舗やオフィス補助などの創業支援 かさい創業塾やビジネスグランプリ等を通じて制度の周知ができており、補助制度利用が促進されている。 ■若者等の企業や事業継承のための支援 特定創業支援事業やビジネスグランプリについて、積極的に制度のアピールを行っており、年々利用者（創業者）が増えている。 ■産業用地の整備支援、市内企業の拡張・移転支援 R3.8に開発工事完了。全3区画で進出企業が決定した。 ■加西インター産業団地の整備 進出企業の誘致を進めた。 <p>総合評価 A…目標を大きく上回って達成</p>	
⑫ (ア〜ウ) 評価シート 63〜65	<ul style="list-style-type: none"> ■市内における雇用の促進 インターンシップ促進事業を実施するなど、雇用の促進に努めている。製造業の労働力不足が益々高まる中、採用企業の見せ方、採用の方法など時代に合わせた検討改善の必要がある。 ■若者や高齢者、障害のある人などの就職支援 兵庫労働局との雇用対策協定のもと、求職者の就職支援に取り組んでいる。出張相談においては、相談件数こそ少ないものの、確実に就労に結びつけることができている。 ■UJIターンによる就職・起業を推進し、定住促進を図る インターンシップの促進については、啓発を行うものの実施企業が少ない。選ばれる製造業のイメージづくりと地方への就労希望者を増やす取り組みが必要。 <p>総合評価 B…ほぼ目標を達成</p>	

目標を達成するための主な指標（KPI）

指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
製造品出荷額	目標		—	—	—	—	3,900	億円	単年
	実績	3,321	3,213						
	達成度		82%						
※工業統計調査・経済センサス活動調査									
	目標								
	実績								
	達成度								

担当部会 2

基本方針・政策・施策

基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む
政策	7 地域資源の活用と人の流れの創出
施策	⑭ 歴史・文化の再発見と交流拡大 ⑯ 移住・定住の支援 ⑰ 空き家・空き店舗の利活用

未来の加西の姿

地域資源を十分に活かし、加西市を訪れたいと感じる魅力あるまちを目指します。

評価検証

施策	行政内部による評価検証（1次評価）	審議会による外部評価（2次評価）
⑭ (ア〜ウ) 評価シート 66~69	<ul style="list-style-type: none"> ■歴史文化遺産を活かしたまちづくり 補助制度を活用し、17団体が地域文化財の修理・公開・清掃等に取り組んだ。史跡整備においては、クワンス塚古墳の墳丘・外堤部の崩落が確認されたため、令和4年度崩落地点の調査及び緊急修理を実施する。「soraかさい」建設に係る一連の工事を行った。 ■観光振興の仕組みづくり 気球、滞在ツアー、サイクル等のイベントを実施。また観光ガイドの養成や、飲食店を対象としたスタンプラリーを展開した。 ■まちのにぎわいづくり R3年度に活用候補となる旧市街地内の空き家を2件、空き家バンクに新たに登録した。空き家を事業所として改修を行う事業は無し。 総合評価 B…ほぼ目標を達成	総合評価
⑯ (ア〜ウ) 評価シート 70~73	<ul style="list-style-type: none"> ■転出抑制と移住の促進 UJIターン促進補助制度については、令和元年度より所得制限を設けたことにより、令和2年度以降の新規申請者数が減少している。 ■若者の住居確保をサポートする取組み 若者定住促進住宅補助事業については、目標件数を達成した一方で、新婚世帯向け家賃補助事業と新結婚新生活支援事業は目標件数を下回っており、婚姻数や新婚世帯の転入件数を増やしていく必要がある。 ■若者の夢の実現を支える支援 空き家の積極的なバンク登録の実施や、移住定住特設サイトの新設により、当初の予定より大幅に相談件数を伸ばすことができた。 また若者チャレンジ事業においては、近年と比較し申請者が増加している。 総合評価 C…目標をやや下回って達成	総合評価
⑰ (ア〜ウ) 評価シート 74~76	<ul style="list-style-type: none"> ■空き家相談体制の強化、空き家バンク制度の定着 物件のバンク新規登録数は目標を大幅に超え、家財道具等処分支援補助事業も11件実施し、成約数も25件（R2は10件）と大きく増加した。また、え〜がい加西と連携し、定期相談会を5回開催した。 ■空き家・空き店舗を幅広く活用したまちづくり 空き家バンクの物件登録件数や成約数の大幅な増加に合わせて、空き家改修補助事業も目標件数を大きく超えることができた。 ■移住・定住を目的とした、空き家・空き店舗の活用を図る 移住相談件数の増加に合わせて、お試し滞在補助制度の件数も増加した。 総合評価 A…目標を大きく上回って達成	総合評価

目標を達成するための主な指標（KPI）

指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
観光入込客数	目標		—	—	—	—	1,100	千人	単年
	実績	914	954						
	達成度		87%						
※加西SA 利用者数は除く年間客数									
若者の残存定住率	目標		—	—	—	—	80	%	単年
	実績	78	80						
	達成度		100.0%						

※ 3月31日現在の26-28歳の人数 ÷ 10年前の16-18歳の人数

担当部会 3

基本方針・政策・施策

基本方針	3 快適に暮らせる安全な社会をつくる
政策	8 安全・安心に暮らせる環境の充実
施策	㉒ 防災・感染症対策の充実 ㉓ 防犯・交通安全の向上 ㉔ 市民相談・消費者保護の充実

未来の加西の姿

地域と連携・協働した支援体制の構築と強化で、安全・安心に暮らせるまちを目指します。

評価検証

施策	行政内部による評価検証（1次評価）	審議会による外部評価（2次評価）
㉒ (ア～ウ) 評価シート 77～80	■防災体制の強化 防災ネットにより、昨年度は火災情報、外国語自動翻訳を含めて241件のメール配信を行っている。要援護者台帳の更新については、新規追加調査を行ったことから台帳登載者が増加した。 ■地域防災力の向上 新型コロナウイルス感染症の影響により、各種訓練の実施回数が減少している。資機材整備費は、例年増加傾向にある。 ■新型コロナウイルス感染症に係る患者受入、入院受入態勢の確保 前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症への対応を行った。地域の感染状況に対応するため、患者の受入れ病床を増床し対応した。また、5月以降、新型コロナワクチンの集団接種及び個別接種を実施した。 総合評価 A…目標を大きく上回って達成	総合評価
㉓ (ア～イ) 評価シート 81～83	■地域と連携した見守り体制の強化による、安全安心な地域づくり 防犯灯については、設置要望箇所については設置を完了した。防犯カメラ設置事業については自治会からの要望が多いため、引き続き補助事業を継続する。 主要道への照明器具増設については、目標に達していない。 ■交通事故のないまちを目指して 令和3年度については、加西市内の中学生951名を対象とした、自転車保険加入事業を実施した。交通安全教室については、新型コロナウイルス感染拡大状況を考慮しながら、市内こども園、小中学校において実施した。なお小学校4校で前記事由により実施できなかった。 総合評価 B…ほぼ目標を達成	総合評価
㉔ (ア～イ) 評価シート 84～85	■市民相談体制の充実 家族間トラブルや隣人トラブルをはじめ、債務の問題や高齢者の相続、健康問題、野焼き、騒音等まで多岐にわたる相談を受けつけて対応を行っている。 ■消費生活相談体制の充実 消費者相談の件数については減少傾向である。消費者講座については、参加者数が少なくなっているため、講座の内容や方法の検討が必要である。 総合評価 B…ほぼ目標を達成	総合評価

目標を達成するための主な指標（KPI）

指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
防災訓練・研修回数	目標		—	—	—	—	75	回	単年
	実績	57	12						
	達成度		16.0%						
※自主防災組織（自治会）の延べ年間実施回数									
交通事故発生件数	目標		—	—	—	—	1,300	件	単年 減少指標
	実績	1,466	1262						
	達成度		102.9%						
※ 1/1 ～ 12/31 の交通事故件数									

担当部会 3

基本方針・政策・施策

基本方針	3 快適に暮らせる安全な社会をつくる
政策	9 快適な都市空間の創出
施策	㉕ 住環境の整備 ㉖ 地球に優しい環境都市の創造

未来の加西の姿

良好な住環境や景観等が整い、加西らしいまち並みが形成されたまちを目指します。

評価検証

施策	行政内部による評価検証（1次評価）	審議会による外部評価（2次評価）
㉕ (ア〜オ) 評価シート 86~92	<ul style="list-style-type: none"> ■住宅地の供給、開発の支援 北条町横尾市有地は、令和3年11月に登記完了。北条西保育所跡地等については、市のHPを活用し情報発信を行い、購入希望者を募っている。西高室土地区画整理事業はR2年度の事業完了後も換地部分も順調に宅地化が進んでいる。商業施設の立地など土地利用が進む中野・下宮木地区では、更なる宅地化を促進するための区画道路4号線の工事に着手した。 ■地域の活力の再生を図る 三木穴栗線沿道について、「工場、店舗等周辺区域 県道三木穴栗線沿道産業集積型」の指定を受けた。また、別府中町、東野田町において「地域活力再生等区域 地縁者小規模事業所型」の指定を受けた。 ■道路拡幅等の住環境整備による定住促進を行った。 総合評価 C…目標をやや下回って達成	総合評価
㉖ (ア〜ウ) 評価シート 93~96	<ul style="list-style-type: none"> ■地球環境に配慮した循環型かつ脱炭素社会の構築 「エネルギーの地産地消が実現された脱炭素のまちかさい」の実現に向けた2050年までの脱炭素シナリオや再エネ導入目標の設定、経営層に向けてのセミナー、市民への補助を実施した。 ■地域と共に生物多様性に育まれた自然環境づくりの推進 人と自然の博物館へのバスツアー、市内6地点の詳細調査、周遍寺野生生物保護地区で高木等の伐採等を実施した。 ■自然の大切の理解を深めるために 地域の里山で動植物の観察や身近な川や池の水質調査、水辺の生き物調査、豆や綿の栽培や米作りに取り組んだ。網引湿原の見学及び保全活動には、加西市内の多くの小学校（11校中9校）が参加した。 総合評価 B…ほぼ目標を達成	総合評価

目標を達成するための主な指標（KPI）

指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
住宅の新築件数	目標		—	—	—	—	90	件	単年
	実績	115	106						
	達成度		118%						
※市内の一戸建て住宅の単年度の新築件数									
市民一人あたり1日のごみ排出量	目標		—	—	—	—	766	g	単年 減少指標
	実績	793	811						
	達成度		94.1%						

※ (ごみの処理量+ 集団回収量) ÷ 9月末人口 ÷ 年間日数

担当部会 3

基本方針・政策・施策

基本方針	3 快適に暮らせる安全な社会をつくる
政策	10 安全性と利便性が確保された都市基盤の整備
施策	㉗ 道路・河川の整備・維持管理 ㉘ 上下水道の整備・維持管理 ㉙ 公共交通の充実

未来の加西の姿

暮らしの中で快適さを感じることができる生活環境が整ったまちを目指します。

評価検証

施策	行政内部による評価検証（1次評価）	審議会による外部評価（2次評価）
㉗ (ア〜ウ) 評価シート 97~99	<ul style="list-style-type: none"> ■主要幹線道をはじめとする道路網、安全設備の整備 修繕要望が増加しており、市道の老朽化も進んでいる。 ■河川や橋梁の維持管理強化のため、市内49箇所の橋梁点検、3橋の橋梁補修を実施した。 ■都市公園等の計画的な管理保全、活用の促進 芝生広場に小学校高学年向け遊具を設置、じゃぶじゃぶ池を改修し水遊びができる人工芝生広場と噴水を設置、新田池西側の遊歩道沿いにトイレ1基を設置するなど、幅広い年齢層の利用者に向けた満足度向上に努めた。ローラー滑り台のローラー交換、踊り場改修など、遊具の安全性向上に努めた。 総合評価 A…目標を大きく上回って達成	総合評価
㉘ (ア〜イ) 評価シート 100~101	<ul style="list-style-type: none"> ■上下水道事業の持続可能な経営を行う 市川町との受水交渉により令和7年度をもって受水を終了することになり、将来的に受水費低減がされる見込みである。 ■安全な水の供給と安定的な下水処理 下水処理施設の統廃合事業において、令和2年度に坂本地区の接続、令和3年度に在田南部地区の接続を完了し、目標を達成した。 総合評価 B…ほぼ目標を達成	総合評価
㉙ (ア〜ウ) 評価シート 102~104	<ul style="list-style-type: none"> ■地域の実情に応じた生活ネットワークの整備 市内3施設にデジタルサイネージを追加設置した。バスロケシステムの機能を拡張し、携帯端末等での位置情報等を閲覧可能とするシステムの構築を行った。 ■北条鉄道の利用環境整備及び経営支援と利用促進策 キャンペーンを実施し、新規定期購入者の増加に努めた。鉄道安全輸送設備、車両等整備に対する支援を行った。また、新車両（キハ40形）の導入に当たり車両購入・整備に対し補助を行った。 ■各種バスの増便やバス停周辺の整備 九会地区における4つの交通軸が結節する地域拠点施設の整備を行った。また地域主体型交通導入支援を実施した。 総合評価 B…ほぼ目標を達成	総合評価

目標を達成するための主な指標（KPI）

指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
道路改良率	目標		—	—	—	—	34.8	%	単年
	実績	34.1	52.8						
	達成度		151.7%						
※規格改良済延長÷実道路延長									
鉄道・コミュニティバス等の利用者数	目標		—	—	—	—	420.0	千人	単年
	実績	365.5	365.4						
	達成度		87.0%						

※北条鉄道、ねっぴ〜バス、コミュニティバス（はっぴーバス）、地域主体型交通の年間利用者合計数 ※神姫バス、高速バス、タクシーは除く

基本方針・政策・施策

基本方針	4 ともに活躍しまちの魅力を高める
政策	11 協創のまちづくりの推進
施策	⑩ 協創のまちづくり ⑪ シティプロモーションの推進 ⑫ 広報・広聴の充実

未来の加西の姿

加西に関わる誰もが主役となって活躍し、元気にぎわいあるまちを目指します。

評価検証

施策	行政内部による評価検証（1次評価）	審議会による外部評価（2次評価）
⑩ (ア〜ウ) 評価シート 105~107	■ふるさと創造会議の活動支援 島根大学作野教授を座長とし、副市長や代表区長、社協等とともに計6回の策定委員会を実施し「地域づくりのあり方指針」を作成した。 ■市民参画によるまちづくり 地域交流センターの登録団体に関するご相談は増加傾向にあるものの、実際の登録団体数は頭打ちの状況である。 ■関係人口の増加に取り組む R3年12月に「一般社団法人ユニテ」が設立された。今後は、関係人口創出にかかる事業を自主的に実施していくと共に、移住定住に関する相談をワンストップで受ける窓口としても活用していく。 総合評価 B…ほぼ目標を達成	総合評価
⑪ (ア〜ウ) 評価シート 108~110	■シティプロモーションの推進 ふるさと納税をPRするデザイントラック作成と、鷲野飛行場跡やその周辺施設のバーチャル体験プログラム作成の2件を、市のシティプロモーション推進にかかる事業として補助を実施した。 ■ふるさと納税の推進 各ポータルサイトへの検索を増やすための取組や、鷲野飛行場跡の保存・活用を目的としたクラウドファンディングの実施、パンフレットの作成を行った結果、約64億円（前年比121%増）の寄附があった。 ■商品やwebサイトのリニューアル化による販売促進、地域特産品のブランド化などに努めた 総合評価 B…ほぼ目標を達成	総合評価
⑫ (ア〜ウ) 評価シート 111~113	■情報発信の充実 市民アンケートをもとに広報誌リニューアルを実施。令和3年度県広報コンクールで企画賞と1枚の写真の部で特選に入賞。 ■必要な情報をタイムリーに提供できる体制強化 件数的には目標とする数になっているが、質の向上は今後も必要である。 ■市民ニーズの把握と提案、要望への対応 市内10カ所においてTMを実施し、予算編成前に地域の要望や課題を集約した。また市民より寄せられた各種要望、提案については関係部署へ共有するとともに、回答を作成した。 総合評価 A…目標を大きく上回って達成	総合評価

目標を達成するための主な指標（KPI）

指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
まちづくり計画の策定数	目標		—	—	—	—	7	計画	累計
	実績	4	5						
	達成度		71%						
※ふるさと創造会議（10地区）におけるまちづくり計画の策定数									
	目標								
	実績								
	達成度								

担当部会 1

基本方針・政策・施策

基本方針	4 ともに活躍しまちの魅力を高める
政策	12 お互いを認め、尊重し合える社会の実現
施策	③ 自分らしく暮らせる地域づくりの推進 ④ 男女共同参画の推進 ⑤ 多文化共生と平和のまちの実現

未来の加西の姿

多様な価値観やお互いを認め合い、すべての市民が協力できるまちを目指します。

評価検証

施策	行政内部による評価検証（1次評価）	審議会による外部評価（2次評価）
③ (ア〜ウ) 評価シート 114~117	■お互いを認め合い、差別を許さないまちづくりの推進 人権文化をすすめる市民のつどい、地区人権学習会、市職員等を対象にした人権研修会を実施した。 ■子どもや高齢者等に対する虐待の防止 DVセンターにおいては婦人相談員を1名確保したが、子ども家庭総合支援拠点の中心となる子ども家庭支援員は1名確保出来た。 ■社会的包摂の推進 権利擁護センターの広域設置に向けて事業担当者会議（加西市、西脇市、加東市、多可町）を開催し、各市町の取組状況やセンター設置の方向性などの意見交換を行った。 総合評価 C…目標をやや下回って達成	総合評価
④ (ア〜イ) 評価シート 118~119	■だれもが自分らしく活躍できるまちづくり 「女性リーダー養成講座」を予定通りに実施し、1年の集大成としてフォーラムを開催した。 庁内WG及び策定委員会、パブコメを経て、男女共同参画計画を策定することが出来た。 ■女性の雇用促進 兵庫労働局との雇用対策協定のもと、求職者の就職支援に取り組んでいる。女性向けの就労セミナーを開催し、就労促進に取り組んだ。製造業、サービス業等における雇用の需給のアンバランスを解消するため、女性に選ばれたる企業を増やす努力も必要と思われる。 総合評価 B…ほぼ目標を達成	総合評価
⑤ (ア〜ウ) 評価シート 120~122	■在住外国人にとって暮らしやすいまちを目指した市民レベルでの交流活性化 ねひめカレッジと連携し、外国人児童学習サポートや日本語ボランティア研修、国際理解講座やイベントの開催を行った。今年度より加西病院での医療通訳支援もはじめたが、想定より利用者が少なかったため、更に周知していきたい。 ■平和ツーリズムの展開 地域活性化拠点施設「soraかさい」開館に向けて、鶴野飛行場に関連する史実を伝える歴史資料として、映像展示コンテンツ等の製作、九七式艦上攻撃機実物大模型の製作や、歴史資料の複製を行った。 総合評価 C…目標をやや下回って達成	総合評価

目標を達成するための主な指標（KPI）

指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
人権研修の参加者数	目標		—	—	—	—	3,500	人	単年
	実績	3,398	2,074						
	達成度		59.3%						
※加西市が実施する人権研修会の参加者数									
女性管理職の登用率	目標		—	—	—	—	20.0	%	単年
	実績	15.2	13.3						
	達成度		66.5%						

※加西市役所、市立こども園、市立加西病院、市立小・中・特別支援学校、市内企業の女性管理職の割合

担当部会 2

基本方針・政策・施策

基本方針	4 ともに活躍しまちの魅力を高める
政策	13 効率的で持続可能な行財政の推進
施策	⑳ 行財政運営の効率化 ㉑ ICTの利活用の推進 ㉒ 広域連携と公民連携の推進

未来の加西の姿

計画的な行財政運営と人材の資質向上により、質の高いサービスを提供できるまちを目指します。

評価検証

施策	行政内部による評価検証（1次評価）	審議会による外部評価（2次評価）
⑳ (ア～オ) 評価シート 123～127	<ul style="list-style-type: none"> 行政サービスの効率的な提供、質の向上 広域研修に多くの職員が参加し、職員の質向上につなげた。 持続可能な財政運営 市税収入等の増収や地方交付税の追加交付等による歳入確保と、建設事業の減、コロナ対策の国庫補助等の充当による一般財源の歳出抑制の結果、黒字収支見込みとなり、基金も一定額以上の確保ができた。 自主財源確保のための徴収体制強化 コロナ禍で納税が難しくなった方がいるなかで、目標値を上回る収納率を達成した。 庁舎内照明のLED化による本庁舎における省エネルギー化の推進 時差出勤やテレワークの推進、職員のワーク・ライフ・バランスへの配慮 総合評価 A…目標を大きく上回って達成	
㉑ (ア～イ) 評価シート 128～130	<ul style="list-style-type: none"> AIやRPAを活用した行政事務の効率化 RPAについては動作回数だけを見れば想定より大きく増加しているがシナリオそのものはあまり増えていない。シナリオの開発に一定のコンピュータスキルが必要なことから、シナリオの開発が思うように進んでいないのが現状である。 また、行政事務文書の電子化を図るため、令和3年度に公文書管理システムを導入した。 情報通信基盤の整備 スマホから申請することができるようにフォームツールを導入し、イベントの申し込み等で利用を開始した。 総合評価 B…ほぼ目標を達成	
㉒ (ア～イ) 評価シート 131～133	<ul style="list-style-type: none"> 定住自立圏や連携中枢都市圏など、他自治体との連携を推進する「北播磨広域定住自立圏共生ビジョン」に基づく24事業の取組を推進した。また、共生ビジョン外の取組みとして、「北播磨日本酒かんぱい券」を販売し、新型コロナウイルス感染症の影響で売り上げの落ち込んでいるお米の産地維持を支援した。 民間活力を活用した行政サービスの向上 5月に日ノ本学園と包括連携協定を締結し、市内の子どもを対象とした新体操体験教室を開催するとともに、リコージャパン(株)と女性活躍推進研修を開催するなど、連携による事業を実施した。 総合評価 A…目標を大きく上回って達成	

目標を達成するための主な指標（KPI）

指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
経常収支比率	目標		—	—	—	—	92.4	%	単年 減少指標
	実績	93.8	未確定						
	達成度								
※人件費、扶助費、公債費等の経常的な経費に対し、地方税、地方交付税、地方譲与税等の経常的な収入が充当されている比率									
地方債残高	目標		—	—	—	—	426	億円	単年
	実績	411	未確定						
	達成度								

※一般会計・特別会計・企業会計の全ての市債の残高

第6次加西市総合計画（実施計画）
施策評価シート

基本方針・政策・施策										
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを楽しむ									
政策	1 新しい家族と出会い、育むための支援の充実									
施策	① 結婚・妊娠・出産支援の充実									
施策目標・担当部課										
施策目標	ア 若者の出会いの場のサポート制度を事業者と連携し、構築するとともに、若者交流等、若者が気軽に出会えるイベントの実施に努めます。									
担当部課	部名	ふるさと創造部			課名	ふるさと創造課				
目標を達成するための具体的な取組										
年度	取組内容			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	加西市出逢いサポートセンター事業			5,608	平成29年度10月から加西市出逢いサポートセンターを立ち上げ民間業者に委託している。登録者同士のマッチングを行い、79件のお見合いの機会を設けた。また、セミナーを1回、イベントを2回実施した。					
	合計			5,608						自己評価
R4	加西市出逢いサポートセンター事業			5,706						
	合計			5,706						自己評価
R5	加西市出逢いサポートセンター事業			5,706						
	合計			5,706						自己評価
R6	加西市出逢いサポートセンター事業			5,706						
	合計			5,706						自己評価
R7	加西市出逢いサポートセンター事業			5,706						
	合計			5,706						自己評価
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
カップル成立組数		目標		43	45	47	49	51	組	単年
		実績	41	25						
第2期地域創生戦略アクションプラン	3-14	達成度		58.1%						
上記指標の設定理由		カップル成立数を指標とすることで、マッチングや出会いの場の提供など、事業を総合的に評価することが可能であるため。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策									
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ								
政策	1 新しい家族と出会い、育むための支援の充実								
施策	① 結婚・妊娠・出産支援の充実								
施策目標・担当部課									
施策目標	イ 妊娠・出産支援として、特定不妊治療の助成を行うとともに、妊娠期から子育て期にわたる、子育て世代包括支援センター*を中心とした切れ目ない支援体制の構築と母子保健事業を推進します。								
担当部課	部名	健康福祉部			課名	健康課			
目標を達成するための具体的な取り組み									
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題						
R3	子育て世代包括支援センターでの相談支援事業	9,618	妊娠中からの関係構築・継続支援を目的に、妊娠9か月で妊婦への電話や訪問での相談支援を継続して行った。妊婦健診・産婦健診費用助成、特定不妊治療・不育症治療費の助成については、引き続き実施した。若年がん患者妊孕性温存治療費の助成については県主体の事業となったため、実施していない。今後の課題として、特定不妊治療の保険適用に伴い、現行の制度を見直す必要がある。						
	特定不妊治療助成事業	2,850							
	妊婦健診・産婦健診費用助成	23,887							
	不育症治療・若年がん患者妊孕性温存治療費助成	800							
	合計	37,155							
R4	子育て世代包括支援センターでの相談支援事業	9,150	自己評価						
	特定不妊治療助成事業、不育症治療費助成	3,600							
	妊婦健診・産婦健診費用助成	22,225							
	かさいすくすく子育て定期便	12,000							
	出産祝い金	10,000							
合計	56,975	自己評価							
R5	子育て世代包括支援センターでの相談支援事業	9,150	自己評価						
	特定不妊治療助成事業、不育症治療費助成	3,750							
	妊婦健診・産婦健診費用助成	22,225							
	かさいすくすく子育て定期便	18,660							
	出産祝い金	10,000							
合計	63,785	自己評価							
R6	子育て世代包括支援センターでの相談支援事業	9,150	自己評価						
	特定不妊治療助成事業、不育症治療費助成	3,750							
	妊婦健診・産婦健診費用助成	22,225							
	かさいすくすく子育て定期便	18,660							
	出産祝い金	10,000							
合計	63,785	自己評価							
R7	子育て世代包括支援センターでの相談支援事業	9,618	自己評価						
	特定不妊治療助成事業	3,000							
	妊婦健診・産婦健診費用助成	23,887							
	不育症治療・若年がん患者妊孕性温存治療費助成	800							
	合計	37,305							
目標を達成するための主な指標（KPI）									
指標	区分	基準値(R円)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
妊娠中の相談支援率	目標	82	85	85	90	90	95	%	単年
	実績	82	90						
第2期地域創生戦略アクションプラン	3-03	達成度	105.9%						
上記指標の設定理由	妊娠期からの継続支援という点で、施策目標を達成するための指標に適用しているため。								
特定不妊治療・不育症・妊孕性助成件数	目標	46	50	50	55	55	55	件	単年
	実績	46	68						
第2期地域創生戦略アクションプラン	3-16	達成度	136.0%						
上記指標の設定理由	少子化対策として各種助成事業を実施しているため、補助実績件数の約20%増加を目標としました。								
	目標								
	実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度							
上記指標の設定理由									

基本方針・政策・施策										
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ									
政策	1 新しい家族と出会い、育むための支援の充実									
施策	① 結婚・妊娠・出産支援の充実									
施策目標・担当部課										
施策目標	ウ 市内への産婦人科医の確保に取り組むとともに、産後ケアの充実など安心して出産できる環境を整備します。									
担当部課	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課				
	部名	健康福祉部			課名	健康課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題							
R3	産婦人科医招致に向けた情報収集	0	子育て世代のニーズを踏まえ、市内での出産を可能にすべく、多角的な面から引き続き検討するとともに、併せて加西病院に限定せず、誘致等も検討する。							
	合計	0								
	自己評価	A…目標を上回って達成								
R4	産婦人科医招致に向けた情報収集	0								
	合計	0								
	自己評価									
R5	産婦人科医招致に向けた情報収集	0								
	合計	0								
	自己評価									
R6	産婦人科医の招致検討	0								
	合計	0								
	自己評価									
R7	産婦人科医の招致検討	0								
	合計	0								
	自己評価									
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分	
産婦人科医招致に向けた検討会議の開催数	目標		3	3	3	3	3	回	単年	
	実績	—	7							
第2期地域創生戦略アクションプラン	3-04	達成度	233.3%							
上記指標の設定理由	市立加西病院の改築とともに実現するか、一般公募を行って開業医を募集するか等、市の財政を鑑みた総合的な検討が必要であるため。									
	目標									
	実績									
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										
	目標									
	実績									
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策														
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ													
政策	1 新しい家族と出会い、育むための支援の充実													
施策	① 結婚・妊娠・出産支援の充実													
施策目標・担当部課														
施策目標	ウ 市内への産婦人科医の確保に取り組むとともに、産後ケアの充実など安心して出産できる環境を整備します。													
担当部課	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課								
	部名	健康福祉部			課名	健康課								
目標を達成するための具体的な取り組み														
年度	事業				経費(千円)	取組実績と今後の課題								
R3	産後ケア事業				1,935	産後ケア事業では、妊婦教室・新生児訪問において産後の支援が希薄な妊産婦や育児不安の大きい産婦を把握し、必要な人へ支援につなげることができなかった。利用実人数は、H31年度5人、R2年度9人、R3年度7人と増加傾向にある。宿泊・デイサービスでの利用のみのため、今後、実施機関へ出向くことが困難な産婦に向けて訪問型を充実させる。								
	合計				1,935						自己評価	B…ほぼ目標を達成		
R4	産後ケア事業				2,335									
	合計				2,335						自己評価			
R5	産後ケア事業				2,335									
	合計				2,335						自己評価			
R6	産後ケア事業				2,335									
	合計				2,335						自己評価			
R7	産後ケア事業				2,335									
	合計				2,335						自己評価			
目標を達成するための主な指標（KPI）														
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分				
産後ケア委託施設数		目標	4	5	5	5	5	5	件	単年				
		実績	4	5										
第2期地域創生戦略アクションプラン		—	達成度	100.0%										
上記指標の設定理由		圏域内の出産施設が減少している状況で、利用できる産後ケア施設が確保されていることが、安心して出産できる環境を整備するための指標として適しているため。												
		目標	4											
		実績												
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度	4											
上記指標の設定理由														
		目標	4											
		実績												
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度	4											
上記指標の設定理由														

基本方針・政策・施策										
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを楽しむ									
政策	1 新しい家族と出会い、育むための支援の充実									
施策	② 地域ぐるみの子育て支援の推進									
施策目標・担当部課										
施策目標	ア 多世代が関わる地域ぐるみでの子育て支援体制の充実や子育てに関連する情報提供の強化、保護者の負担軽減に取り組むとともに、学校等との連携により充実した学童保育の環境づくりを進めます。									
担当部課	部名	教育委員会			課名	こども未来課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	子育てハンドブックの作成			350	子育てハンドブック2022版2,000を部作成、市内に配布した。給食費補助金については、国の無償化にあわせ、加西市独自で副食費の無償化を実施し、子育て世帯の経済的負担の軽減を図った。学童保育園については、九会学童の園舎新設により定員を拡充、また西在田学童トイレ改修、休園日の縮小やLINEによる欠席連絡の導入など児童の生活の質向上及び保護者の利便性向上を図った。					
	給食費補助金			43,892						
	学童保育運営事業			101,187						
	合計			145,429						
				自己評価		B…ほぼ目標を達成				
R4	子育てハンドブックの作成			350	自己評価					
	給食費補助金			25,110						
	学童保育運営事業(泉学童保育園建設)			193,683						
	3歳未満児保育料無償化・病児病後児保育料無償化			55,280						
	保育士や学童支援員の処遇改善事業			35,240						
合計			309,663							
R5	子育てハンドブックの作成			350	自己評価					
	給食費補助金			19,980						
	学童保育運営事業			95,740						
	3歳未満児保育料無償化・病児病後児保育料無償化			55,280						
	保育士や学童支援員の処遇改善事業			35,240						
合計			206,590							
R6	子育てハンドブックの作成			350	自己評価					
	給食費補助金			19,980						
	学童保育運営事業			95,740						
	3歳未満児保育料無償化・病児病後児保育料無償化			55,280						
	保育士や学童支援員の処遇改善事業			35,240						
合計			206,590							
R7	子育てハンドブックの作成			350	自己評価					
	給食費補助金			19,980						
	学童保育運営事業			95,740						
	3歳未満児保育料無償化・病児病後児保育料無償化			55,280						
	保育士や学童支援員の処遇改善事業			35,240						
合計			206,590							
目標を達成するための主な指標 (KPI)										
指標		区分	基準値(R円)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
加西市総合支援アプリの「子育て」カテゴリ登録者数		目標		1,000	1,100	1,200	1,300	1,400	件	累計
		実績	942	2,313						
第2期地域創生戦略アクションプラン		3-11	達成度	231.3%						
上記指標の設定理由		アプリを通じて子育て世帯へ必要な情報を発信し、育児不安等の解消を図るため。								
学童保育の利用者数		目標		400	430	440	450	450	人	単年
		実績	400	395						
第2期地域創生戦略アクションプラン		3-18	達成度	98.8%						
上記指標の設定理由		学童保育の利用者を増やすことによって、保護者の負担軽減につなげるため。								
ファミリーサポートセンター協力会員数		目標		65	65	65	65	65	人	累計
		実績	65	70						
第2期地域創生戦略アクションプラン		3-17	達成度	107.7%						
上記指標の設定理由		協力会員数は、地域で子育てをサポートするといった意識の表れでもあるため。								

基本方針・政策・施策														
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ													
政策	1 新しい家族と出会い、育むための支援の充実													
施策	② 地域ぐるみの子育て支援の推進													
施策目標・担当部課														
施策目標	イ 子どもの医療費自己負担の無料化の継続及び任意予防接種の費用助成の拡充に取り組みます。													
担当部課	部名	健康福祉部			課名	国保医療課								
	部名	健康福祉部			課名	健康課								
目標を達成するための具体的な取り組み														
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題									
R3	高校3年生までの医療費無料化			201,000	対象を18歳までの子どもに拡大し、医療費自己負担無料化を支給制限（所得制限）無く継続して実施したことにより、子育て世帯の負担軽減、子どもの疾病の早期治療を促進し、安心して子どもを生き育てられる環境づくりにつなげた。また、出生や転入者などの新規対象者について、受給者証交付時に使用方法の丁寧な説明を行い、確実に助成をうけていただけるように案内をした。今後も継続して実施することが必要である。									
	合計			201,000						自己評価	B…ほぼ目標を達成			
R4	高校3年生までの医療費無料化			190,000										
	合計			190,000						自己評価				
R5	高校3年生までの医療費無料化			190,000										
	合計			190,000						自己評価				
R6	高校3年生までの医療費無料化			190,000										
	合計			190,000						自己評価				
R7	高校3年生までの医療費無料化			201,000										
	合計			201,000						自己評価				
目標を達成するための主な指標（KPI）														
指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分					
受診件数	目標	—	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	件	単年					
	実績	—	63,753											
第2期地域創生戦略アクションプラン	3-15	達成度	79.7%											
上記指標の設定理由	医療費の無料化により子育て世代における経済的負担の軽減という子育て支援が反映されるため。													
	目標	—												
	実績													
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度	—											
上記指標の設定理由														
	目標	—												
	実績													
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度	—											
上記指標の設定理由														

基本方針・政策・施策									
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ								
政策	1 新しい家族と出会い、育むための支援の充実								
施策	② 地域ぐるみの子育て支援の推進								
施策目標・担当部課									
施策目標	イ 子どもの医療費自己負担の無料化の継続及び任意予防接種の費用助成の拡充に取り組みます。								
担当部課	部名	健康福祉部			課名	国保医療課			
	部名	健康福祉部			課名	健康課			
目標を達成するための具体的な取り組み									
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題						
R3	おたふくかぜ任意予防接種助成事業	850	引き続き助成事業を実施し、おたふくかぜ任意予防接種助成事業については、136名、小児インフルエンザ任意予防接種助成事業については、1,583名が接種をしたが、目標を下回った。 令和4年度はおたふくかぜが任意予防接種の対象が拡大されるため、乳幼児健診での案内など周知に取り組む。						
	小児インフルエンザ任意予防接種助成事業	8,365							
	合計	9,215							
	自己評価	C…目標を下回っている							
R4	おたふくかぜ任意予防接種助成事業	1,425	自己評価						
	小児インフルエンザ任意予防接種助成事業	8,400							
	合計	9,825							
	自己評価								
R5	おたふくかぜ任意予防接種助成事業	1,425	自己評価						
	小児インフルエンザ任意予防接種助成事業	8,400							
	合計	9,825							
	自己評価								
R6	おたふくかぜ任意予防接種助成事業	1,425	自己評価						
	小児インフルエンザ任意予防接種助成事業	8,400							
	合計	9,825							
	自己評価								
R7	おたふくかぜ任意予防接種助成事業	1,425	自己評価						
	小児インフルエンザ任意予防接種助成事業	8,400							
	合計	9,825							
	自己評価								
目標を達成するための主な指標（KPI）									
指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
任意予防接種接種者数（おたふくかぜ・小児インフルエンザワクチン）	目標	—	2,350	2,450	2,450	2,550	2,650	人	単年
	実績	—	1,719						
第2期地域創生戦略アクションプラン	3-02	達成度	—	73.1%					
上記指標の設定理由	任意予防接種の費用助成の拡充を図る指標として相応しいと考えるため。								
	目標	—							
	実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度	—						
上記指標の設定理由									
	目標	—							
	実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度	—						
上記指標の設定理由									

基本方針・政策・施策															
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ														
政策	1 新しい家族と出会い、育むための支援の充実														
施策	② 地域ぐるみの子育て支援の推進														
施策目標・担当部課															
施策目標	ウ 乳幼児のいる世帯・多子世帯及びひとり親家庭など、子育て世帯の負担軽減に取り組みます。														
担当部課	部名	健康福祉部			課名	地域福祉課									
	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課									
目標を達成するための具体的な取り組み															
年度	事業				経費(千円)	取組実績と今後の課題									
R3	ひとり親家庭の資格取得支援事業				4,131	ひとり親の生活の安定に資する資格取得を促進するため、4人に対し費用を助成した。新型コロナウイルス感染症対策のため短期入所の利用実績はなく、養育支援訪問事業の利用者も77件（うち委託1件）に留まった。									
	子育て支援事業				3,042										
	合計				7,173						自己評価	C…目標を下回っている			
R4	ひとり親家庭の資格取得支援事業				5,591	自己評価									
	子育て支援事業				2,356										
	合計				7,947										
R5	ひとり親家庭の資格取得支援事業				8,791	自己評価									
	子育て支援事業				2,356										
	合計				11,147										
R6	ひとり親家庭の資格取得支援事業				11,991	自己評価									
	子育て支援事業				2,356										
	合計				14,347										
R7	ひとり親家庭の資格取得支援事業				15,191	自己評価									
	子育て支援事業				2,356										
	合計				17,547										
目標を達成するための主な指標（KPI）															
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分					
ひとり親家庭の資格取得支援制度の延べ利用者数		目標	2	7	10	13	16	19	人	単年					
		実績	2	4											
第2期地域創生戦略アクションプラン		3-05	達成度	57.1%											
上記指標の設定理由		ひとり親の経済的自立という目標を達成するために、資格取得費用の助成制度の利用者数が適しているため。													
		目標	2												
		実績													
第2期地域創生戦略アクションプラン			達成度	2											
上記指標の設定理由															
		目標	2												
		実績													
第2期地域創生戦略アクションプラン			達成度	2											
上記指標の設定理由															

基本方針・政策・施策										
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ									
政策	1 新しい家族と出会い、育むための支援の充実									
施策	② 地域ぐるみの子育て支援の推進									
施策目標・担当部課										
施策目標	ウ 乳幼児のいる世帯・多子世帯及びひとり親家庭など、子育て世帯の負担軽減に取り組みます。									
担当部課	部名	健康福祉部			課名	地域福祉課				
	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	多子世帯、ひとり親世帯の下水道減免			11,200	「子育てにやさしいまち」として本取組を含めた各種子育て支援施策を市内外に積極的にPRすることで、制度利用者を増加させKPI達成を目指す。					
	ごみ袋無料配布（0～2歳児対象分）			648						
	合計			11,848						自己評価
R4	多子世帯、ひとり親世帯の下水道減免			11,200						
	ごみ袋無料配布（0～2歳児対象分）			536						
	合計			11,736						自己評価
R5	多子世帯、ひとり親世帯の下水道減免			11,200						
	ごみ袋無料配布（0～2歳児対象分）			536						
	合計			11,736						自己評価
R6	多子世帯、ひとり親世帯の下水道減免			11,200						
	ごみ袋無料配布（0～2歳児対象分）			536						
	合計			11,736						自己評価
R7	多子世帯、ひとり親世帯の下水道減免			11,200						
	ごみ袋無料配布（0～2歳児対象分）			536						
	合計			11,736						自己評価
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
下水道基本料金の減免世帯数		目標	640	640	640	640	640	640	世帯	単年
		実績	634	613						
第2期地域創生戦略アクションプラン	3-12	達成度	95.8%	95.8%						
上記指標の設定理由		出生率が低下し、少子化が進む中でも、令和元年度の水準（実績）の維持を想定したため。								
ごみ袋支給者数（0～2歳児対象分）		目標	310	310	310	310	310	310	人	単年
		実績	304	232						
第2期地域創生戦略アクションプラン	3-13	達成度	74.8%	74.8%						
上記指標の設定理由		出生率が低下し、少子化が進む中でも、令和元年度の水準（実績）の維持を想定したため。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策									
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ								
政策	1 新しい家族と出会い、育むための支援の充実								
施策	② 地域ぐるみの子育て支援の推進								
施策目標・担当部課									
施策目標	I 企業に対して、子育てに配慮した職場環境づくりに関する情報提供や啓発を行うとともに、子育てをしている親に配慮した、子育て応援企業の支援を行います。								
担当部課	部名	地域振興部			課名	産業振興課			
目標を達成するための具体的な取り組み									
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題						
R3	産業活性化センター事業委託	4,000	事業所向けに労務管理、働き方改革セミナーを実施し、啓発を図っている。くるとんやえるぼし等の認定制度は、被用者への認知度も低く、取得メリットがないため促進されていないのが実情である。ただし、企業として、若者や女性に選ばれる事業所づくりへの関心や必要性の認識は、強くなっている。						
	くるとん認定企業、えるぼし認定企業の選定促進	0							
	合計	4,000							
R4	産業活性化センター事業委託	4,000							
	くるとん認定企業、えるぼし認定企業の選定促進	0							
	合計	4,000							
R5	産業活性化センター事業委託	4,000							
	くるとん認定企業、えるぼし認定企業の選定促進	0							
	合計	4,000							
R6	産業活性化センター事業委託	4,000							
	くるとん認定企業、えるぼし認定企業の選定促進	0							
	合計	4,000							
R7	産業活性化センター事業委託	4,000							
	くるとん認定企業、えるぼし認定企業の選定促進	0							
	合計	4,000							
目標を達成するための主な指標（KPI）									
指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
労務管理・雇用対策セミナー開催回数	目標		2	2	2	2	2	回	単年
	実績	2	2						
第2期地域創生戦略アクションプラン	3-07	達成度	100.0%						
上記指標の設定理由	定期的な開催が必要とされる取組のため。								
市内事業所女性従業員正社員率	目標		46	47	48	49	50	%	単年
	実績	46	47						
第2期地域創生戦略アクションプラン	1-02	達成度	102.2%						
上記指標の設定理由	雇用環境が改善され、正社員化が高まることで、女性の社会進出が進む指標と考えられるため。								
	目標								
	実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度							
上記指標の設定理由									

基本方針・政策・施策										
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ									
政策	1 新しい家族と出会い、育むための支援の充実									
施策	③ 子育て環境の充実									
施策目標・担当部課										
施策目標	ア 未来型児童館等の子ども・子育てを総合的に支援する拠点や、親子が遊び、保護者同士も交流できるとともに地域資源を活かして市の歴史文化にふれる場の整備を進めています。									
担当部課	部名	教育委員会				課名	こども未来課			
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題							
R3	未来型児童館整備事業 基本設計	5,000	庁内WGを8回開催し、関係課からの意見を聴取した。子ども・子育て会議で未来型児童館の現状を説明し、意見を聴取した。令和3年度に計画していた基本構想業務については、令和4年度に繰り越し実施する予定である。							
	合計	5,000								
R4	未来型児童館整備事業 基本構想	5,000								
	合計	5,000								
R5	未来型児童館整備事業	未定								
	合計	0								
R6	未来型児童館整備事業	未定								
	合計	0								
R7	未来型児童館整備事業	未定								
	合計	0								
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分	
児童館施設	目標	0	0	0	0	1	1	箇所	累計	
	実績	—	0							
第2期地域創生戦略アクションプラン	3-06	達成度	—					—		
上記指標の設定理由		親子や子が安心して過ごせる場として、子育て支援拠点施設の整備を行うため。								
第2期地域創生戦略アクションプラン	目標	0								
	実績									
第2期地域創生戦略アクションプラン	達成度	—						—		
上記指標の設定理由										
第2期地域創生戦略アクションプラン	目標	0								
	実績									
第2期地域創生戦略アクションプラン	達成度	—						—		
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策									
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ								
政策	1 新しい家族と出会い、育むための支援の充実								
施策	③ 子育て環境の充実								
施策目標・担当部課									
施策目標	イ 教育・福祉・保健部門が連携した相談支援体制の強化と公営・民営の協調連携による幼児期の教育・保育提供体制の強化に取り組みます。								
担当部課	部名	教育委員会			課名	こども未来課			
目標を達成するための具体的な取り組み									
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題						
R3	利用者支援事業委託料	20,987	未就園児の子育て相談から発達（療育）等専門的な相談やこども園訪問相談等、幅広い分野で支援を行うため、専門事業者へ委託を実施した。 障がい児保育事業については、私立園5園で対象児12名を受入れ、11名の加配職員に補助金交付を行った。 保育教諭就労支援一時金では申請者10名中8名に支給を行った。						
	障がい児保育事業	14,390							
	保育教諭就労支援一時金	2,060							
	地域型保育施設整備事業	—							
	合計	37,437							
R4	利用者支援事業委託料	25,000	自己評価	B…ほぼ目標を達成					
	障がい児保育事業	30,300							
	保育教諭就労支援一時金	6,000							
	小規模保育所整備事業	52,500							
	北条東すみれこども園民営化	108,261							
合計	222,061								
R5	利用者支援事業委託料	25,000	自己評価						
	障がい児保育事業	30,300							
	保育教諭就労支援一時金	6,000							
	小規模保育所整備事業	—							
	北条東すみれこども園民営化	108,261							
合計	169,561								
R6	利用者支援事業委託料	25,000	自己評価						
	障がい児保育事業	30,300							
	保育教諭就労支援一時金	6,000							
	小規模保育所整備事業	—							
	北条東すみれこども園民営化	108,261							
合計	169,561								
R7	利用者支援事業委託料	25,000	自己評価						
	障がい児保育事業	30,300							
	保育教諭就労支援一時金	6,000							
	小規模保育所整備事業	—							
	北条東すみれこども園民営化	108,261							
合計	169,561								
目標を達成するための主な指標（KPI）									
指標	区分	基準値(R円)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
待機児童数	目標	0	0	0	0	0	0	人	単年減少指標
	実績	0	2						
第2期地域創生戦略アクションプラン	3-09	達成度	0.0%						
上記指標の設定理由		子育て世帯の負担軽減には、待機児童がないことが重要となるため。							
民間施設を活用した子育て支援施設	目標	0	2	2	2	2	2	箇所	単年
	実績	0	1						
第2期地域創生戦略アクションプラン	3-10	達成度	100.0%						
上記指標の設定理由		家庭的保育事業等の設置により、待機児童解消を目指すため。							
合同研修会開催数	目標	3	3	3	3	3	3	回	単年
	実績	3	2						
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	66.7%						
上記指標の設定理由		公私立園職員対象に研修を実施することが、保育力向上を図るのに欠かせないため。							

基本方針・政策・施策									
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ								
政策	1 新しい家族と出会い、育むための支援の充実								
施策	③ 子育て環境の充実								
施策目標・担当部課									
施策目標	ウ 遊びながら学べる屋内遊具施設を設置し、雨の日でも遊ぶことができる環境を整備します。								
担当部課	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課			
目標を達成するための具体的な取り組み									
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題						
R3	屋内型遊戯施設&テレワークセンター整備費	176,000	地域再生計画に基づき、地域創生拠点整備交付金を活用し、北条町駅前の商業施設であるアステアかさい2階に同施設を4/25（月）にオープンさせた。同施設では、保育士の常駐、未就学児の一時預かりを行い、子育て支援の新たな場となっている。（3月オープンからは遅れた） 今後は、同施設を知っていただくためのPRや利用者増、さらには、利用者の満足度向上にむけた取組みが課題である。						
	屋内型遊戯施設&テレワークセンター運営費	9,000							
	合計	185,000							
			自己評価	B…ほぼ目標を達成					
R4	屋内型遊戯施設&テレワークセンター運営費	30,180							
	合計	30,180							
			自己評価						
R5	屋内型遊戯施設&テレワークセンター運営費	30,180							
	合計	30,180							
			自己評価						
R6	屋内型遊戯施設&テレワークセンター運営費	30,180							
	合計	30,180							
			自己評価						
R7	屋内型遊戯施設&テレワークセンター運営費	30,180							
	合計	30,180							
			自己評価						
目標を達成するための主な指標（KPI）									
指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
屋内型遊戯施設&テレワークセンターの利用者数	目標	12,000	12,000	48,000	50,000	52,000	54,000	人	単年
	実績	—	0						
第2期地域創生戦略アクションプラン	3-08	達成度	0.0%						
上記指標の設定理由	アステアかさい2階の空き店舗に、地域創生拠点整備交付金を活用して、ポストコロナ時代の新しい働き方の推進と子育て支援、駅前のにぎわい創出を目的とした施設を整備し、R4年3月オープン予定後の利用者数とするため。								
	目標								
	実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度							
上記指標の設定理由									
	目標								
	実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度							
上記指標の設定理由									

基本方針・政策・施策									
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ								
政策	2 子どもの教育の充実								
施策	④ 教育の質の向上								
施策目標・担当部課									
施策目標	ア 小・中・特別支援学校における国際理解を深める教育や一人ひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実に取り組むなど、特色ある学習活動によって、生きる力を育む教育を推進します。								
担当部課	部名	教育委員会			課名	学校教育課			
目標を達成するための具体的な取り組み									
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題						
R3	外国語教育充実事業	32,302	SDGs等に関する課題学習を取り入れた外国語教育は十分な広がりを見せていない。趣旨を踏まえた丁寧な周知を図りたい。教師の専門性を高めるための研修会や連携を深めるためのネットワーク会議により、理解が深り、支援体制が整ってきた。さらなる充実を図る。部活動指導員は、全中学校での運用を実現した。社会的な要請である地域移行や現場のニーズを大切にして、さらなる増員を目指す。						
	特別支援教育コーディネーター部会等の開催	185							
	部活動指導員の配置	2,454							
	合計	34,941							
			自己評価	C…目標を下回っている					
R4	外国語教育充実事業	32,302							
	特別支援教育コーディネーター部会等の開催	185							
	部活動指導員の配置	3,681							
	合計	36,168							
			自己評価						
R5	外国語教育充実事業	32,302							
	特別支援教育コーディネーター部会等の開催	185							
	部活動指導員の配置	3,681							
	合計	36,168							
			自己評価						
R6	外国語教育充実事業	32,302							
	特別支援教育コーディネーター部会等の開催	185							
	部活動指導員の配置	3,681							
	合計	36,168							
			自己評価						
R7	外国語教育充実事業	32,302							
	特別支援教育コーディネーター部会等の開催	185							
	部活動指導員の配置	3,681							
	合計	36,168							
			自己評価						
目標を達成するための主な指標（KPI）									
指標	区分	基準値(R円)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
SDGs等に関する課題学習を取り入れた外国語教育実施校数	目標	△	3	5	7	10	15	校	単年
	実績	—	2						
第2期地域創生戦略アクションプラン	4-09	達成度	66.7%						
上記指標の設定理由	SDGs等に関する課題学習を取り入れた外国語教育を実施することによって、児童生徒の自己の確立をめざし、国際的視野に立って主体的に行動するために必要な態度・能力を育成するため。								
部活動外部人材の活用人数	目標	△	6	7	7	8	8	人	単年
	実績	4	5						
第2期地域創生戦略アクションプラン	4-12	達成度	83.3%						
上記指標の設定理由	外部人材を活用した部活動運営を通じた、地域とともに生きる力を育む教育を推進するため。								
特別支援教育研修会等の実施回数	目標	△	50	50	60	60	60	回	単年
	実績	48	48						
第2期地域創生戦略アクションプラン	4-13	達成度	96.0%						
上記指標の設定理由	研修によって特別支援教育コーディネーターを中心とした校園内支援体制を充実させ、すべての教職員の指導力向上を図ることが期待できるため。								

基本方針・政策・施策									
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ								
政策	2 子どもの教育の充実								
施策	④ 教育の質の向上								
施策目標・担当部課									
施策目標	イ 小・中学校において連携した教育を実現するため、学校間及び各校種間の連携強化を図ります。								
担当部課	部名	教育委員会			課名	総合教育センター			
目標を達成するための具体的な取り組み									
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題						
R3	小・中学校の連携強化	1,500	中学校からの乗り入れ授業や中学校での授業体験は、中1ギャップの軽減につながっている。アンケート調査でも、中1生徒の90%以上が戸惑いの軽減につながったと回答している。また、研修講座における小中教員の意見交流が、それぞれの指導理念の共通理解や交流につながっている。課題としては、コロナ禍により対面での意見交流が難しいことである。オンライン等による交流によって連携強化を図りたい。						
	研修講座の開催	900							
	合計	2,400							
			自己評価	B…ほぼ目標を達成					
R4	小・中学校の連携強化	2,000							
	研修講座の開催	1,300							
	合計	3,300							
			自己評価						
R5	小・中学校の連携強化	2,000							
	研修講座の開催	1,300							
	合計	3,300							
			自己評価						
R6	小・中学校の連携強化	2,000							
	研修講座の開催	1,300							
	合計	3,300							
			自己評価						
R7	小・中学校の連携強化	1,500							
	研修講座の開催	900							
	合計	2,400							
			自己評価						
目標を達成するための主な指標 (KPI)									
指標	区分	基準値(R円)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
市内小中学校における小中連携をねらいとした活動回数	目標	20	20	20	20	20	20	回	単年
	実績	21	18						
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	90.0%						
上記指標の設定理由	小中合同研修会や体験入学など、中学校区で開催することで児童生徒や教員が交流し、施策目標の達成が期待できると考えると、年間を通して計画すべき回数であるため。								
小中教員が交流や意見交換ができ、小中連携へつながる研修	目標	30	30	30	30	30	30	回	単年
	実績	34	37						
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	123.3%						
上記指標の設定理由	研修講座に参加した小中教員が同じ研修テーマで考え、意見交流をすることで、それぞれの考え方や指導方法に触れることができ、結果として施策目標達成につながるため。								
	目標								
	実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度							
上記指標の設定理由									

基本方針・政策・施策									
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ								
政策	2 子どもの教育の充実								
施策	④ 教育の質の向上								
施策目標・担当部課									
施策目標	ウ 地元高校との連携を強化し、活性化に向けた支援を行います。								
担当部課	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課			
目標を達成するための具体的な取り組み									
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題						
R3	北条高校活性化協議会への支援	10,000	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となった事業も多々あるが、ワクチン接種も進み、withコロナ、afterコロナを迎える中で、状況を適切に判断し、手厚い支援を実施していく。						
	播磨農業高校への支援	800							
	合計	10,800							
R4	北条高校活性化協議会への支援	8,500	自己評価						
	播磨農業高校への支援	800							
	合計	9,300							
R5	北条高校活性化協議会への支援	8,500	自己評価						
	播磨農業高校への支援	800							
	合計	9,300							
R6	北条高校活性化協議会への支援	8,500	自己評価						
	播磨農業高校への支援	800							
	合計	9,300							
R7	北条高校活性化協議会への支援	8,500	自己評価						
	播磨農業高校への支援	800							
	合計	9,300							
目標を達成するための主な指標（KPI）									
指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
アフタースクールゼミの受講者率	目標	30	32	34	36	38	40	%	単年
	実績	30	15						
第2期地域創生戦略アクションプラン	4-14	達成度	46.9%						
上記指標の設定理由	アフタースクールゼミを更に浸透させて学力向上を目指し、1年に受講率を2%ずつ増加させる。								
第2期地域創生戦略アクションプラン	目標	30							
	実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン	達成度	30							
上記指標の設定理由	上記指標の設定理由								
第2期地域創生戦略アクションプラン	目標	30							
	実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン	達成度	30							
上記指標の設定理由	上記指標の設定理由								

基本方針・政策・施策									
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ								
政策	2 子どもの教育の充実								
施策	④ 教育の質の向上								
施策目標・担当部課									
施策目標	エ タブレット端末を活用し、オンライン授業の普及など情報教育の環境を整備し、子どもたちの情報活用力の向上を図ります。								
担当部課	部名	教育委員会			課名	学校教育課			
目標を達成するための具体的な取り組み									
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題						
R3	ICT教育支援プロジェクト事業	10,515	指導者側が「分かりやすい授業」を目指し、GIGAスクール端末を活用する場面はかなり増えている。しかし、次の段階として、教師用デジタル教科書および文部科学省による実証事業による学習者用デジタル教科書を、学習者にとって有効な活用となる手法や単元開発も含めた研究や研修が必要である。						
	教師用デジタル教科書整備（中学校）※4年更新	5,210							
	合計	15,725							
R4	ICT教育支援プロジェクト事業	5,935							
	教師用デジタル教科書整備（小学校）	1,452							
	合計	7,387							
R5	ICT教育支援プロジェクト事業	5,935							
	合計	5,935							
R6	ICT教育支援プロジェクト事業	5,935							
	教師用デジタル教科書整備（小学校）	12,700							
	合計	18,635							
R7	ICT教育支援プロジェクト事業	5,935							
	デジタル教科書整備（中学校）	5,210							
	合計	11,145							
目標を達成するための主な指標（KPI）									
指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
児童・生徒用PCの使用率	目標	60	60	80	100	100	100	%	単年
	実績	—	49.29						
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	82.2%						
上記指標の設定理由	児童生徒が日常的に学習や情報収集でのICT活用や、双方向による多様な人々と学び合う学習を行い、各教科等における学習活動の充実を図るため。								
	目標								
	実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン	達成度								
上記指標の設定理由									
	目標								
	実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン	達成度								
上記指標の設定理由									

基本方針・政策・施策										
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ									
政策	2 子どもの教育の充実									
施策	⑤ 教育環境の充実									
施策目標・担当部課										
施策目標	ア 安全な教育環境を実現するため、感染症対策に努めるとともに市内小中学校の老朽校舎の改修等を進めています。									
担当部課	部名	教育委員会				課名	教育総務課			
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題							
R3	教育施設環境整備事業	64,600	富田小学校体育館改修と宇仁小学校体育館改修を実施した。今後も計画的な維持管理・修繕が必要である。							
									
	合計	64,600								
R4	教育施設環境整備事業	34,300								
									
	合計	34,300								
R5	教育施設環境整備事業	113,600								
									
	合計	113,600								
R6	教育施設環境整備事業	252,000								
									
	合計	252,000								
R7	教育施設環境整備事業	355,000								
									
	合計	355,000								
目標を達成するための主な指標 (KPI)										
指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分	
改修工事の完了棟数	目標	1	3	5	8	12	13	棟	累計	
	実績	1	3							
第2期地域創生戦略アクションプラン	4-11	達成度	100.0%							
上記指標の設定理由	昭和56年度以前に建築された建物は耐震化工事に併せて改修工事を実施しているが、昭和56年度以降に建設された建物は改修を行っておらず、老朽化が進んでいるため。									
	目標	1								
	実績									
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度	1							
上記指標の設定理由										
	目標	1								
	実績									
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度	1							
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ									
政策	2 子どもの教育の充実									
施策	⑤ 教育環境の充実									
施策目標・担当部課										
施策目標	イ 小・中学校のあり方の検討を進め、これからの地域に相応しい学校の環境整備を図ります。									
担当部課	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課				
	部名	教育委員会			課名	教育総務課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	小・中学校のあり方の検討			0	市長と教育委員が協議を行う、「総合教育会議」を開催し、学校あり方について意見交換を行うとともに、「未来の学校構想検討委員会」を教育委員会とともに運営し、素案について保護者・地域代表・教職員と多様な関係者からの意見を聴取できるよう、アンケートの設計を行った。今後、より丁寧に議論を重ねつつ、構想案を作成し、市民の理解を深めていくため、綿密な進行管理を行う必要がある。					
	「未来の学校構想検討委員会」の運営			0						
	「未来の学校構想(素案)」アンケートの設計			0						
	合計			0						
R4	「未来の学校構想検討委員会」の運営			0						
	「未来の学校構想(素案)」アンケートの実施・報告書作成			1,500						
	学校あり方についての市民ワークショップ開催			2,000						
	合計			3,500						
R5										
	合計			0						
R6										
	合計			0						
R7										
	合計			0						
目標を達成するための主な指標 (KPI)										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
加西市総合教育会議の開催数		目標	2	2	2	2	2	2	回	単年
		実績	2	2						
第2期地域創生戦略アクションプラン		—	達成度	100.0%						
上記指標の設定理由		市長部局と教育委員会との協議を行い、市全体の施策としての方向性を検討するため。								
		目標	2							
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度	2							
上記指標の設定理由										
		目標	2							
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度	2							
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ									
政策	2 子どもの教育の充実									
施策	⑤ 教育環境の充実									
施策目標・担当部課										
施策目標	イ 小・中学校のあり方の検討を進め、これからの地域に相応しい学校の環境整備を図ります。									
担当部課	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課				
	部名	教育委員会			課名	教育総務課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業				経費(千円)	取組実績と今後の課題				
R3	小・中学校のあり方の検討				374	市内小中学校の将来のあり方を有識者らで検討する「加西市未来の学校構想検討委員会」を設置し、市長から諮問を受けて翌年9月に答申を行うこととし、令和3年度は計3回の会議を開催した。中学校再編と小学校の学園構想を柱とする素案を発表し、連合PTA、教職員等へアンケート調査の説明を行った。令和4年度はアンケート結果の分析、答申作成に向けて9月末までの会議開催数を増やす必要がある。				
	合計				374					
R4	小・中学校のあり方の検討				1,132					
	合計				1,132					
R5										
	合計				0					
R6										
	合計				0					
R7										
	合計				0					
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分	
検討委員会、説明会、学習会の開催数	目標	5	5	10	11	11	11	回	単年	
	実績	—	5							
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	100.0%							
上記指標の設定理由	地域や学校等の関係者や住民の意見聴取を行い検討を行うため、各会議の開催回数を指標とする。									
	目標	5								
	実績									
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										
	目標	5								
	実績									
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策									
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ								
政策	2 子どもの教育の充実								
施策	⑥ 地域で子どもを守り、育てる仕組みの充実								
施策目標・担当部課									
施策目標	ア いじめ・不登校対策として、スクールカウンセラーや学校サポートチームによる相談・支援等を行います。								
担当部課	部名	教育委員会			課名	総合教育センター			
目標を達成するための具体的な取り組み									
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題						
R3	スクールソーシャルワーカーによる相談・家庭訪問等の支援	4,851	令和3年度よりスクールソーシャルワーカーを1名増員し、2名体制をとった。その結果、学校との連携や家庭訪問、相談等について、令和2年度と比べ1000件以上対応した。また、各学校への各種支援を周知することで、スクールソーシャルワーカー等の活用が認知されるようになり、各種相談や派遣依頼が増加している。支援が必要だがつなぐことができていない家庭をどのように支援していくかが課題である。						
	発達臨床心理士による検査・相談等の支援	3,002							
	適応教室による不登校支援	6,356							
	総合教育センター臨床心理士による教育相談	1,400							
	スクールカウンセラーによる教育相談	県費							
	合計	15,609							
R4	スクールソーシャルワーカーによる相談・家庭訪問等の支援	4,851	自己評価						
	発達臨床心理士による検査・相談等の支援	3,002							
	適応教室による不登校支援	6,356							
	総合教育センター臨床心理士による教育相談	2,250							
	スクールカウンセラーによる教育相談	県費							
	合計	16,459							
R5	スクールソーシャルワーカーによる相談・家庭訪問等の支援	4,851	自己評価						
	発達臨床心理士による検査・相談等の支援	3,002							
	適応教室による不登校支援	6,356							
	総合教育センター臨床心理士による教育相談	2,250							
	スクールカウンセラーによる教育相談	県費							
	合計	16,459							
R6	スクールソーシャルワーカーによる相談・家庭訪問等の支援	4,851	自己評価						
	発達臨床心理士による検査・相談等の支援	3,002							
	適応教室による不登校支援	6,356							
	総合教育センター臨床心理士による教育相談	2,250							
	スクールカウンセラーによる教育相談	県費							
	合計	16,459							
R7	スクールソーシャルワーカーによる相談・家庭訪問等の支援	4,851	自己評価						
	発達臨床心理士による検査・相談等の支援	3,002							
	適応教室による不登校支援	6,356							
	総合教育センター臨床心理士による教育相談	1,400							
	スクールカウンセラーによる教育相談	県費							
	合計	15,609							
目標を達成するための主な指標（KPI）									
指標	区分	基準値(R円)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
市内16校のスクールソーシャルワーカーの活用率（活用した学校/学校数×100）	目標	94	100	100	100	100	100	%	単年
	実績	94	100						
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	100.0%						
上記指標の設定理由	相談件数が増えることが必ずしも支援できている評価につながるとはいえないが、実際の対応率であれば不登校の相談・支援の活動状況が把握できるため。								
市内16校の発達臨床心理士の活用率（活用した学校/学校数×100）	目標	94	100	100	100	100	100	%	単年
	実績	94	100						
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	100.0%						
上記指標の設定理由	相談件数が増えることが必ずしも支援できている評価につながるとはいえないが、実際の対応率であれば発達に課題を抱える児童生徒の相談・支援の活動状況が把握できるため。								
総合教育センター臨床心理士による教育相談回数	目標	121	130	130	130	130	130	回	単年
	実績	121	190						
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	146.2%						
上記指標の設定理由	指標として新規相談者数等も検討したが、継続相談者も多く、継続的な支援が必要であり、全体の教育相談回数の方がより取組に合った効果の反映が期待できるため。								

基本方針・政策・施策									
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ								
政策	2 子どもの教育の充実								
施策	⑥ 地域で子どもを守り、育てる仕組みの充実								
施策目標・担当部課									
施策目標	イ 地域全体での学校の支援や、地域に信頼される学校づくりの推進に取り組みます。								
担当部課	部名	教育委員会			課名	学校教育課			
目標を達成するための具体的な取り組み									
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題						
R3	加西学校づくり応援事業	5,300	新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、参加者を限定するなど各校において工夫し、可能な限りでオープンスクールを開催することができた。ゲストティーチャーの活用や学校評議員会の実施回数は目標に到達しなかったが、より地域との連携強化を図り、特色ある学校づくりをするために、地域との対話の場を設定していく。						
	オープンスクールの実施	0							
	学校評議員会の開催	530							
	合計	5,830							
R4	加西学校づくり応援事業	8,000							
	オープンスクールの実施	0							
	学校評議員会の開催	550							
	合計	8,550							
R5	加西学校づくり応援事業	8,000							
	オープンスクールの実施	0							
	学校評議員会の開催	550							
	合計	8,550							
R6	加西学校づくり応援事業	8,000							
	オープンスクールの実施	0							
	学校評議員会の開催	550							
	合計	8,550							
R7	加西学校づくり応援事業	8,000							
	オープンスクールの実施	0							
	学校評議員会の開催	550							
	合計	8,550							
目標を達成するための主な指標（KPI）									
指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
学校における地域人材（ゲストティーチャー）の活用人数	目標		850	850	900	900	900	人	単年
	実績	810	672						
第2期地域創生戦略アクションプラン	2-17	達成度	79.1%						
上記指標の設定理由	SDGsの視点に基づき、地域の特性をいかした学習素材や地域人材を活用したSTEAM教育の推進を図るため。								
オープンスクール開催日数	目標		90	100	100	110	110	日	単年
	実績	85	111						
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	123.3%						
上記指標の設定理由	社会に開かれた教育課程の具現化し、地域から信頼される学校づくりを推進するため。								
学校評議員会の実施回数	目標		32	32	40	40	48	回	単年
	実績	32	29						
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	90.6%						
上記指標の設定理由	オープンスクールに参加した保護者や地域住民からの意見や感想をもとに省察し、地域から信頼される学校づくりを推進するため。								

基本方針・政策・施策										
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ									
政策	2 子どもの教育の充実									
施策	⑥ 地域で子どもを守り、育てる仕組みの充実									
施策目標・担当部課										
施策目標	ウ 地域との連携・協力のもと、子どもの学習支援・体験活動の推進に取り組みます。									
担当部課	部名	教育委員会				課名	総合教育センター			
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題							
R3	土曜チャレンジ学習事業	3,086	土曜チャレンジ学習事業では、それぞれの実施校区における体験や学習を通して、地域の方々や家族とのふれあいを深めたり、地域の良さを発見することができた。学校支援活動事業においても、すべての学校において地域を学習の場として生かしたり、地域人材を活用したりして、学校では実現できない体験学習を展開している。ただ、コロナによる制限や、活動を実施するための計画立案や連絡調整、準備に多くの時間と労力を要するため、負担軽減が課題である。							
	学校支援活動事業	580								
	合計	3,666								
		自己評価								
R4	土曜チャレンジ学習事業	3,036								
	学校支援活動事業	583								
	合計	3,619								
		自己評価								
R5	土曜チャレンジ学習事業	3,036								
	学校支援活動事業	583								
	合計	3,619								
		自己評価								
R6	土曜チャレンジ学習事業	3,036								
	学校支援活動事業	583								
	合計	3,619								
		自己評価								
R7	土曜チャレンジ学習事業	3,086								
	学校支援活動事業	580								
	合計	3,666								
		自己評価								
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分	
土曜チャレンジ学習事業実施箇所数	目標		6	6	6	6	6	箇所	単年	
	実績	6	4							
第2期地域創生戦略アクションプラン	4-10	達成度	66.7%							
上記指標の設定理由	市内11小学校区の半数以上が開催することを目指し、多くの児童生徒の学習支援や体験活動の場を提供するため。									
地域による学習支援回数	目標		320	320	320	320	320	回	単年	
	実績	320	297							
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	92.8%							
上記指標の設定理由	継続した学習支援の実施が必要と考え、年間320回は上限に近い回数であり、この状態を継続することを目標とする。									
	目標									
	実績									
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策									
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ								
政策	3 生涯にわたって学び、楽しめる環境づくり								
施策	⑦ 生涯学習の充実								
施策目標・担当部課									
施策目標	ア 公民館を中心とした学習の機会を充実させるとともに、自主的に学ぶ公民館登録グループによる社会貢献活動を推進し、幅広い年代の方が利用しやすい環境を整えます。								
担当部課	部名	教育委員会			課名	生涯学習課			
目標を達成するための具体的な取り組み									
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題						
R3	公民館主催講座・市民教養講座の開催	3,000	通年開催の連続講座36講座（394回）、子ども・親子講座など単発講座9講座（13回）を開催した。高齢者の参加者が多くシニアカレッジ「かしの木学園」受講生は年々増加している。また、市民教養講座ではデジタルデバイス解消を目的とした「初めてのスマホ講座」など3講座を実施した。今後は、社会問題や地域課題をテーマにした講座やリカレント教育、STEAM教育にも目を向けるとともに、幅広い世代に参加いただくため、ウェブ講座など開催方法を検討する。						
	公民館まちづくり出前講座の拡大とコーディネート	0							
	合計	3,000							
R4	公民館主催講座・市民教養講座の開催	3,200							
	公民館まちづくり出前講座の拡大とコーディネート	0							
	合計	3,200							
R5	公民館主催講座・市民教養講座の開催	3,200							
	公民館まちづくり出前講座の拡大とコーディネート	0							
	合計	3,200							
R6	公民館主催講座・市民教養講座の開催	3,300							
	公民館まちづくり出前講座の拡大とコーディネート	0							
	合計	3,300							
R7	公民館主催講座・市民教養講座の開催	3,300							
	公民館まちづくり出前講座の拡大とコーディネート	0							
	合計	3,300							
目標を達成するための主な指標（KPI）									
指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
公民館等主催講座総数	目標		410	410	410	420	420	回	単年
	実績	406	407						
第2期地域創生戦略アクションプラン	4-15	達成度	99.3%						
上記指標の設定理由	公民館主催講座からの登録グループ化を目指していることから、活動のきっかけ作りとして主催講座を増やすことが目標達成につながると考えたため。								
	目標								
	実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度							
上記指標の設定理由									
	目標								
	実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度							
上記指標の設定理由									

基本方針・政策・施策										
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ									
政策	3 生涯にわたって学び、楽しめる環境づくり									
施策	⑦ 生涯学習の充実									
施策目標・担当部課										
施策目標	イ 幅広く高度な情報が提供できるよう、図書館サービスの拡充に努め、図書館の活性化を図ります。									
担当部課	部名	教育委員会			課名	図書館				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	図書資料の充実			15,903	定期的におはなし会（295名）、えほんのひろば（142名）、映画会（1,112名）を開催しました。コロナ禍のため、少数参加のイベントを数多く実施した。 来館者の目に留まるように、3階にミニ展示コーナーを設け、図書資料を借りやすい環境づくりに努めた。 今後は、イベント参加人数の定員を増やすことも検討する。					
	視聴覚資料の充実			12,871						
	電子図書館の推進			0						
	図書館活性化イベントの開催			498						
	合計			29,272						自己評価
R4	図書資料の充実			14,731	自己評価					
	視聴覚資料の充実			1,560						
	電子図書館の推進			5,998						
	図書館活性化イベントの開催			412						
	合計			22,701						
R5	図書資料の充実			15,280	自己評価					
	視聴覚資料の充実			1,560						
	電子図書館の推進			8,800						
	図書館活性化イベントの開催			730						
	合計			26,370						
R6	図書資料の充実			15,280	自己評価					
	視聴覚資料の充実			1,560						
	電子図書館の推進			8,800						
	図書館活性化イベントの開催			730						
	合計			26,370						
R7	図書資料の充実			15,280	自己評価					
	視聴覚資料の充実			1,560						
	電子図書館の推進			8,800						
	図書館活性化イベントの開催			730						
	合計			26,370						
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R円)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
図書館来館者数		目標		210.9	213.2	215.4	217.7	220.0	千人	単年
		実績	208.7	174.9						
第2期地域創生戦略アクションプラン		-	達成度	82.9%						
上記指標の設定理由		図書館の活性化を測る指標として、賑わいを表す来館者数が適していると判断し、目標値はコロナ禍の影響を受ける以前のH30年度の数値を設定した。								
図書館サービス利用者数		目標		100.0	100.5	101.0	101.5	102.0	千人	単年
		実績	99.5	98.1						
第2期地域創生戦略アクションプラン		-	達成度	98.1%						
上記指標の設定理由		図書館サービスの充実度を測る指標として、図書資料の貸出と視聴覚資料の視聴等のサービスを利用した合計人数とし、目標値はサービスの拡充を図ることで基準値（R円）より増となる数値とした。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン			達成度							
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策									
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ								
政策	3 生涯にわたって学び、楽しめる環境づくり								
施策	⑧ 芸術・スポーツの振興								
施策目標・担当部課									
施策目標	ア 生活の様々な場面において芸術文化を感じることでできる環境づくりやイベントの開催など、高齢者や障がい者を含めたスポーツ、レクリエーション活動の推進に取り組みます。								
担当部課	部名	ふるさと創造部			課名	文化・観光・スポーツ課			
目標を達成するための具体的な取り組み									
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題						
R3	アスリート等によるスポーツ教室の開催及びスポーツ観戦	7,647	街角コンサートについては、12回の開催を予定していたが感染拡大対策のため8回の開催となった。プロサッカーチームのチェントクオーレハリマやヴィッセル神戸によるサッカー教室9回開催。日ノ本学園新体操部による新体操教室の開催。ヴィクトリーナ姫路応援ツアー4回開催。大人のテニス教室4回開催。新型コロナウイルス拡大防止のため中止した事業あり。						
	芸術文化に触れる機会の創出（文化祭、街角コンサート等）	1,187							
	合計	8,834							
R4	アスリート等によるスポーツ教室の開催及びスポーツ観戦	7,786							
	芸術文化に触れる機会の創出（文化祭、街角コンサート等）	1,187							
	市制55周年記念 加藤登紀子コンサート	4,000							
	市制55周年記念 ふれあいの祭典—兵庫県いけばな展（地域展）	709							
	加西サイサイ囃子普及事業	1,300							
合計	14,982	自己評価							
R5	アスリート等によるスポーツ教室の開催及びスポーツ観戦	7,786							
	芸術文化に触れる機会の創出（文化祭、街角コンサート等）	1,187							
	合計	8,973							
R6	アスリート等によるスポーツ教室の開催及びスポーツ観戦	7,786							
	芸術文化に触れる機会の創出（文化祭、街角コンサート等）	1,187							
	合計	8,973							
R7	アスリート等によるスポーツ教室の開催及びスポーツ観戦	7,200							
	芸術文化に触れる機会の創出（文化祭、街角コンサート等）	1,187							
	合計	8,387							
目標を達成するための主な指標（KPI）									
指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
スポーツ教室開催回数	目標		18	18	19	19	20	回	単年
	実績	17	18						
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	100.0%						
上記指標の設定理由	参加人数も検討しましたが、種目によって開催規模（募集人数）が異なるため、実施回数を設定しました。								
文化祭・街角コンサート等参加人数	目標		1,600	1,700	1,800	1,900	2,000	人	単年
	実績	2,851	2,569						
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	160.6%						
上記指標の設定理由	事業開催回数にとまらず内容の魅力拡大を含めた検証を行うため、単なる回数ではなく参加人数を設定しました。								
	目標								
	実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度							
上記指標の設定理由									

基本方針・政策・施策									
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ								
政策	3 生涯にわたって学び、楽しめる環境づくり								
施策	⑧ 芸術・スポーツの振興								
施策目標・担当部課									
施策目標	イ 総合体育館の整備や既存施設の改修を行い、身近な場所で芸術やスポーツを楽しむ機会を拡充します。								
担当部課	部名	ふるさと創造部			課名	文化・観光・スポーツ課			
目標を達成するための具体的な取り組み									
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題						
R3	住民ニーズに合った体育施設の有効活用（施設修繕）	900	市民会館では、自主事業として11本を計画し全事業を実施、4,648人の参加があった。ランドマーク展望台登山道修繕。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休館日や開館時間の短縮があったため体育施設の利用者数は目標に達していないが、前年度比においては114%と増加している。						
	指定管理者による体育事業の展開	29,547							
	体育館耐震診断、長寿命計画	10,335							
	指定管理者による文化事業の展開	55,481							
	市民会館駐車場整備によるバリアフリー化の推進	8,250							
	合計	104,513	自己評価	C…目標を下回っている					
R4	住民ニーズに合った体育施設の有効活用（施設修繕）	5,000	自己評価						
	指定管理者による体育事業の展開	29,547							
	体育館耐震基本計画	1,800							
	指定管理者による文化事業の展開	55,770							
	市民会館北側駐車場整備	30,000							
	合計	122,117							
R5	住民ニーズに合った体育施設の有効活用（施設修繕）	1,000	自己評価						
	指定管理者による体育事業の展開	29,547							
	体育館耐震実施設計	3,658							
	指定管理者による文化事業の展開	56,273							
	合計	90,478							
R6	住民ニーズに合った体育施設の有効活用（施設修繕）	1,000	自己評価						
	指定管理者による体育事業の展開	29,547							
	体育館耐震改修	56,544							
	指定管理者による文化事業の展開	56,273							
	合計	143,364							
R7	住民ニーズに合った体育施設の有効活用（施設修繕）	1,000	自己評価						
	指定管理者による体育事業の展開	29,547							
	指定管理者による文化事業の展開	56,273							
		合計							
目標を達成するための主な指標（KPI）									
指標	区分	基準値(R円)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
文化・スポーツ活動の参加者数	目標		188	220	220	250	270	千人	単年
	実績	188	141						
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	75.0%						
上記指標の設定理由	施設の適切な管理運営による文化スポーツ各分野の一般利用者増加と、指定管理者によるより魅力的で多彩なメニューによる新たな施設利用者獲得の相乗効果を算るため。								
	目標								
	実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度							
上記指標の設定理由									
	目標								
	実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度							
上記指標の設定理由									

基本方針・政策・施策									
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ								
政策	3 生涯にわたって学び、楽しめる環境づくり								
施策	⑧ 芸術・スポーツの振興								
施策目標・担当部課									
施策目標	ウ 地域に密着して活動するスポーツ団体や芸術団体の指導者を養成し、活動を支援します。								
担当部課	部名	ふるさと創造部			課名	文化・観光・スポーツ課			
目標を達成するための具体的な取り組み									
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題						
R3	スポーツ団体リーダー・指導者の養成	500	文化連盟所属団体へ、活動補助金を交付。スポーツ教室を通じて一流のコーチの指導を学ぶ機会の創出を図った。一方、多くの団体で高齢化が進んでおり、いかに活動を活性化し新規入会を募るかが課題といえる。						
	文化団体活性化に向けた活動推進(文化連盟)	580							
	合計	1,080							
R4	スポーツ団体リーダー・指導者の養成	500							
	文化団体活性化に向けた活動推進(文化連盟)	800							
	合計	1,300							
R5	スポーツ団体リーダー・指導者の養成	500							
	文化団体活性化に向けた活動推進(文化連盟)	800							
	合計	1,300							
R6	スポーツ団体リーダー・指導者の養成	500							
	文化団体活性化に向けた活動推進(文化連盟)	800							
	合計	1,300							
R7	スポーツ団体リーダー・指導者の養成	500							
	文化団体活性化に向けた活動推進(文化連盟)	800							
	合計	1,300							
目標を達成するための主な指標 (KPI)									
指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
スポーツ指導者研修会の開催数	目標	1	1	1	1	2	2	回	単年
	実績	1	1						
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	100.0%						
上記指標の設定理由	内容の充実を図りつつ、研修会の複数開催を目指すため。								
文化団体による自主事業開催回数	目標	20	45	54	56	58	回	単年	
	実績	54	34						
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	170.0%						
上記指標の設定理由	広く一般市民向け事業を積極的に実施し、ゆくゆくは芸術分野の裾野拡大及びリーダー育成に繋げるため。								
第2期地域創生戦略アクションプラン	目標								
	実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度							
上記指標の設定理由									

基本方針・政策・施策									
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ								
政策	3 生涯にわたって学び、楽しめる環境づくり								
施策	⑧ 芸術・スポーツの振興								
施策目標・担当部課									
施策目標	Ⅰ 郷土愛の醸成と伝統の継承を目的として、加西市こども狂言塾や加西能など、市独自の活動の促進に取り組みます。								
担当部課	部名	ふるさと創造部			課名	文化・観光・スポーツ課			
目標を達成するための具体的な取り組み									
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題						
R3	播磨国風土記事業（こども狂言塾・加西能・風土記講座等）	11,700	こども狂言塾は、新規入塾者が5名あったが、卒業生との比率ではマイナスとなっており、現行募集方法での頭打ち感が出ている。 加西能はコロナ影響で、5月から8月に開催を変更し実施した（参加者：650人）。 風土記講座は令和2年度持ち越し分3回、入門編1回、本講座4回の計8回開催したが、コロナの影響もあり、大きくは伸びなかった。						
	合計	11,700	自己評価	B…ほぼ目標を達成					
R4	播磨国風土記事業（こども狂言塾・加西能・風土記講座等）	11,000							
	合計	11,000	自己評価						
R5	播磨国風土記事業（こども狂言塾・加西能・風土記講座等）	11,700							
	合計	11,700	自己評価						
R6	播磨国風土記事業（こども狂言塾・加西能・風土記講座等）	11,700							
	合計	11,700	自己評価						
R7	播磨国風土記事業（こども狂言塾・加西能・風土記講座等）	13,000							
	合計	13,000	自己評価						
目標を達成するための主な指標（KPI）									
指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
こども狂言塾塾生数	目標		30	30	30	30	30	人	単年
	実績	29	22						
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	73.3%						
上記指標の設定理由	指導体制と塾生個々の習熟バランスを踏まえた、こども狂言塾の規模を継続し、取り組みを継承するため。								
風土記講座参加者数	目標		630	640	650	660	670	人	単年
	実績	631	671						
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	106.5%						
上記指標の設定理由	風土記講座の受講者が播磨国風土記と加西との関わりを理解し、郷土愛を醸成することを目指すため。								
	目標								
	実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度							
上記指標の設定理由									

基本方針・政策・施策									
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを楽しむ								
政策	3 生涯にわたって学び、楽しめる環境づくり								
施策	⑨ 健康増進の推進								
施策目標・担当部課									
施策目標	ア 市民の健康づくりに対する意識醸成に取り組むほか、こころの健康についての支援体制を整えます。								
担当部課	部名	健康福祉部			課名	健康課			
目標を達成するための具体的な取り組み									
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題						
R3	こころの健康相談（電話・対面）の実施	1,711	こころの健康相談（電話・対面）について、電話（実：34人 延：96回）、対面（実14人、延19回）相談を実施した。必要時には関係機関等と連携し、支援につないでいる。ゲートキーパー研修はコロナ禍により一般市民対象とすることが困難となり、市役所職員を対象に実施した。こころのケアセミナーはコロナ禍により実施できなかった。臨床心理士退職に伴い、次年度以降は同内容での相談体制の継続が困難なため、保健師で対応しうる範囲で継続し、今まで構築してきた関係機関との連携を深め、必要な支援へつないでいく。						
	相談窓口の普及啓発	392							
	ゲートキーパー研修・こころのケアセミナーの開催	120							
	合計	2,223							
R4	こころの健康相談（電話・対面）の実施	1,575	こころの健康相談（電話・対面）について、電話（実：34人 延：96回）、対面（実14人、延19回）相談を実施した。必要時には関係機関等と連携し、支援につないでいる。ゲートキーパー研修はコロナ禍により一般市民対象とすることが困難となり、市役所職員を対象に実施した。こころのケアセミナーはコロナ禍により実施できなかった。臨床心理士退職に伴い、次年度以降は同内容での相談体制の継続が困難なため、保健師で対応しうる範囲で継続し、今まで構築してきた関係機関との連携を深め、必要な支援へつないでいく。						
	相談窓口の普及啓発	412							
	ゲートキーパー研修・こころのケアセミナーの開催	120							
	健幸都市推進事業	2,762							
合計	4,869	自己評価							
R5	こころの健康相談（電話・対面）の実施	1,711	こころの健康相談（電話・対面）について、電話（実：34人 延：96回）、対面（実14人、延19回）相談を実施した。必要時には関係機関等と連携し、支援につないでいる。ゲートキーパー研修はコロナ禍により一般市民対象とすることが困難となり、市役所職員を対象に実施した。こころのケアセミナーはコロナ禍により実施できなかった。臨床心理士退職に伴い、次年度以降は同内容での相談体制の継続が困難なため、保健師で対応しうる範囲で継続し、今まで構築してきた関係機関との連携を深め、必要な支援へつないでいく。						
	相談窓口の普及啓発	392							
	ゲートキーパー研修・こころのケアセミナーの開催	120							
	健幸都市推進事業	4,000							
合計	6,223	自己評価							
R6	こころの健康相談（電話・対面）の実施	1,711	こころの健康相談（電話・対面）について、電話（実：34人 延：96回）、対面（実14人、延19回）相談を実施した。必要時には関係機関等と連携し、支援につないでいる。ゲートキーパー研修はコロナ禍により一般市民対象とすることが困難となり、市役所職員を対象に実施した。こころのケアセミナーはコロナ禍により実施できなかった。臨床心理士退職に伴い、次年度以降は同内容での相談体制の継続が困難なため、保健師で対応しうる範囲で継続し、今まで構築してきた関係機関との連携を深め、必要な支援へつないでいく。						
	相談窓口の普及啓発	392							
	ゲートキーパー研修・こころのケアセミナーの開催	120							
	健幸都市推進事業	5,000							
合計	7,223	自己評価							
R7	こころの健康相談（電話・対面）の実施	1,711	こころの健康相談（電話・対面）について、電話（実：34人 延：96回）、対面（実14人、延19回）相談を実施した。必要時には関係機関等と連携し、支援につないでいる。ゲートキーパー研修はコロナ禍により一般市民対象とすることが困難となり、市役所職員を対象に実施した。こころのケアセミナーはコロナ禍により実施できなかった。臨床心理士退職に伴い、次年度以降は同内容での相談体制の継続が困難なため、保健師で対応しうる範囲で継続し、今まで構築してきた関係機関との連携を深め、必要な支援へつないでいく。						
	相談窓口の普及啓発	392							
	ゲートキーパー研修・こころのケアセミナーの開催	120							
	合計	2,223							
目標を達成するための主な指標（KPI）									
指標	区分	基準値(R円)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
こころの健康相談利用者数	目標	20	30	35	40	45	50	件	単年
	実績	20	48						
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	160.0%						
上記指標の設定理由	こころの健康に関する悩み事を一人で抱え込まずに相談して適切に対処できる市民が増えることは、市民のこころの健康増進に結び付くと考えられるため。								
ゲートキーパー研修参加者数	目標	103	140	170	200	230	260	人	累計
	実績	103	125						
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	89.3%						
上記指標の設定理由	ゲートキーパーはこころの健康や自殺抑止に関する知識を備えた市民の身近な相談相手であり、この研修参加者数が増えるほどこころの健康に関する支援体制の層が厚くなることに結び付くと考えられるため。								
第2期地域創生戦略アクションプラン	目標								
	実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度							
上記指標の設定理由									

基本方針・政策・施策									
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ								
政策	3 生涯にわたって学び、楽しめる環境づくり								
施策	⑨ 健康増進の推進								
施策目標・担当部課									
施策目標	イ 市民が歩いて暮らす健康づくりのための拠点整備や環境の整備を推進します。								
担当部課	部名	健康福祉部			課名	健康課			
目標を達成するための具体的な取り組み									
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題						
R3	運動ポイント事業	10,663	運動ポイント事業については、順調に参加者数を増やしており、令和2年度から約1,000人増となった。運動教室については、新型コロナウイルス感染症の集団接種会場が健康福祉会館となったことにより、会場をオークタウン加西に変更して開催したが、利用者数を大きく減らす結果となった。「会場が遠い」との意見が多かったため、令和4年度は、各公民館（北部、南部、善防）も借用し、地域の施設で教室に参加できる環境を整え、参加者増に取り組む。						
	健康福祉会館運動教室・自主トレーニング	1,867							
	合計	12,530							
R4	運動ポイント事業	10,000							
	健康福祉会館運動教室・自主トレーニング	1,896							
	合計	11,896							
R5	運動ポイント事業	11,313							
	健康福祉会館運動教室・自主トレーニング	1,900							
	合計	13,213							
R6	運動ポイント事業	11,930							
	健康福祉会館運動教室・自主トレーニング	1,920							
	合計	13,850							
R7	運動ポイント事業	10,076							
	健康福祉会館運動教室・自主トレーニング	1,867							
	合計	11,943							
目標を達成するための主な指標（KPI）									
指標	区分	基準値(R円)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
運動ポイント事業参加者数	目標		3,000	3,250	3,500	3,750	4,000	人	単年
	実績	2,231	4,234						
第2期地域創生戦略アクションプラン	4-06	達成度	141.1%						
上記指標の設定理由	「市民が歩いて暮らす健康づくり」の推進において、市民全体へのポピュレーションアプローチを目的とする運動ポイント事業の実績が指標として最も適しているため。								
健康福祉会館の「トレーニング利用証」保有者数	目標		290	305	320	335	350	人	累計
	実績	337	234						
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	80.7%						
上記指標の設定理由	健康づくりの拠点整備の成果としては、健康福祉会館の利用状況を計る利用実人員（「トレーニング利用証」保有者数）が指標として適しているため。								
	目標								
	実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度							
上記指標の設定理由									

基本方針・政策・施策														
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ													
政策	3 生涯にわたって学び、楽しめる環境づくり													
施策	⑨ 健康増進の推進													
施策目標・担当部課														
施策目標	ウ 市民の各種健診への受診率向上を図るとともに、地域の健康づくりを目的とした、自主的な地区組織活動を支援します。													
担当部課	部名	健康福祉部			課名	健康課								
	部名	健康福祉部			課名	国保医療課								
目標を達成するための具体的な取り組み														
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題									
R3	ウォーキングやラジオ体操等の出前講座の開催			44	がん検診無料クーポン券の配布を行い、クーポン券未利用者への受診勧奨を行った。また、乳がん検診の受診率向上にスポットをあて、40～50代の女性全員に、国立がん研究センターの勧奨資材を用いた受診勧奨を行った。希望者全員が受診できるよう、受け入れ枠を増やして対応した。出前講座については、令和2年度に新型コロナウイルス感染症の影響で依頼数が減少したが、令和3年度は令和元年度水準まで回復した。									
	がん検診無料クーポン券の配布とクーポン券未利用者への受診勧奨			734										
	町ぐるみ（集団）・医療機関（個別）健診の実施（がん検診）			43,797										
	合計			44,575						自己評価	C…目標を下回っている			
	合計			44,575						自己評価	C…目標を下回っている			
R4	ウォーキングやラジオ体操等の出前講座の開催			48	自己評価									
	がん検診無料クーポン券の配布とクーポン券未利用者への受診勧奨			861										
	町ぐるみ（集団）・医療機関（個別）健診の実施（がん検診）			41,129										
	がん患者アピアランスサポート事業			950										
	合計			42,988										
R5	ウォーキングやラジオ体操等の出前講座の開催			52	自己評価									
	がん検診無料クーポン券の配布とクーポン券未利用者への受診勧奨			900										
	町ぐるみ（集団）・医療機関（個別）健診の実施（がん検診）			42,000										
	がん患者アピアランスサポート事業			950										
	合計			43,902										
R6	ウォーキングやラジオ体操等の出前講座の開催			56	自己評価									
	がん検診無料クーポン券の配布とクーポン券未利用者への受診勧奨			900										
	町ぐるみ（集団）・医療機関（個別）健診の実施（がん検診）			43,000										
	がん患者アピアランスサポート事業			950										
	合計			44,906										
R7	ウォーキングやラジオ体操等の出前講座の開催			60	自己評価									
	がん検診無料クーポン券の配布とクーポン券未利用者への受診勧奨			5,355										
	町ぐるみ（集団）・医療機関（個別）健診の実施（がん検診）			42,284										
	合計			47,699										
	合計			47,699										
目標を達成するための主な指標（KPI）														
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分				
出前講座の延べ利用団体数		目標		11	12	13	14	15	団体	単年				
		実績	13	14										
第2期地域創生戦略アクションプラン		—	達成度	127.3%										
上記指標の設定理由		健康づくりを目的とした自主的な地区組織活動の支援方法として出前講座があり、活動支援を評価する指標としては、講座の利用数に適しているため。												
女性ががん検診の受診率（子宮頸がん）		目標		17	20	23	26	30	%	単年				
		実績	14	14.1										
第2期地域創生戦略アクションプラン		4-07	達成度	82.9%										
上記指標の設定理由		兵庫県は目標受診率を30%と定めている。加西市では子宮頸がん検診受診率向上に向け無料クーポン券配布等を実施しており、施策目標を達成するための指標に適しているため。												
女性がん検診の受診率（乳がん）		目標		20	22	26	28	30	%	単年				
		実績	17.6	18.5										
第2期地域創生戦略アクションプラン		4-07	達成度	92.5%										
上記指標の設定理由		兵庫県は目標受診率30%と定めている。加西市では乳がん検診受診率向上に向け無料クーポン券配布等を実施しており、施策目標を達成するための指標に適しているため。												

基本方針・政策・施策														
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ													
政策	3 生涯にわたって学び、楽しめる環境づくり													
施策	⑨ 健康増進の推進													
施策目標・担当部課														
施策目標	ウ 市民の各種健診への受診率向上を図るとともに、地域の健康づくりを目的とした、自主的な地区組織活動を支援します。													
担当部課	部名	健康福祉部			課名	健康課								
	部名	健康福祉部			課名	国保医療課								
目標を達成するための具体的な取り組み														
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題									
R3	特定健康診査事業			4,279	特定健診未受診者対策については、加西市老人クラブ連合会と連携した戸別訪問や県の国保ヘルスアップ支援事業（電話勧奨事業、受診勧奨通知事業）を活用し積極的に受診勧奨を行った。また、集団健診の実施にあたっては、感染症対策を徹底し、受診控えが起こらないように努めた上で昨年度よりも予約枠を増やした。その結果、昨年度よりも受診者数を増加させることができた。来年度も引き続き積極的に未受診者対策を実施し、受診率の向上を目指す。									
	未受診者対策委託事業			1,440										
	合計			5,719						自己評価	B…ほぼ目標を達成			
R4	特定健康診査事業			4,486	自己評価									
	未受診者対策委託事業			1,440										
	合計			5,926										
R5	特定健康診査事業			4,642	自己評価									
	未受診者対策委託事業			1,440										
	合計			6,082										
R6	特定健康診査事業			4,300	自己評価									
	未受診者対策委託事業			1,440										
	合計			5,740										
R7	特定健康診査事業			4,150	自己評価									
	未受診者対策委託事業			1,440										
	合計			5,590										
目標を達成するための主な指標（KPI）														
指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分					
特定健診受診率	目標		52.0	56.0	60.0	60.0	60.0	%	単年					
	実績	38.3	34.1											
第2期地域創生戦略アクションプラン	-	達成度	65.6%											
上記指標の設定理由	厚生労働省の指針に基づいて策定した『第3期加西市国民健康保険特定健康診査等実施計画』の目標値に合わせているため。													
	目標													
	実績													
第2期地域創生戦略アクションプラン	達成度													
上記指標の設定理由														
	目標													
	実績													
第2期地域創生戦略アクションプラン	達成度													
上記指標の設定理由														

基本方針・政策・施策										
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ									
政策	3 生涯にわたって学び、楽しめる環境づくり									
施策	⑨ 健康増進の推進									
施策目標・担当部課										
施策目標	Ⅰ 学校給食などでの地産地消、食の安全確保や、食育、健康教育の推進を図ります。									
担当部課	部名	教育委員会			課名	教育総務課				
	部名	健康福祉部			課名	健康課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	食育セミナーの開催			470	国の食育推進会議の委員である服部幸應氏を招き、教職員を対象にSDGsをテーマとした講演会を7月30日に開催した。センターの調理員、栄養教諭に対してはイタリア料理店のシェフによる地元野菜を活用した調理員講習会を8月26日に開催した。また、親子で参加できる魚と食に関する体験学習One Day Fishを1月30日に開催した。					
	合計			470						自己評価
R4	食育セミナーの開催			500						
	合計			500						自己評価
R5	食育セミナーの開催			500						
	合計			500						自己評価
R6	食育セミナーの開催			500						
	合計			500						自己評価
R7	食育セミナーの開催			500						
	合計			500						自己評価
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
食育セミナーの参加人数		目標	100	100	100	100	100	100	人	単年
		実績	—	383						
第2期地域創生戦略アクションプラン		—	達成度	383.0%						
上記指標の設定理由		食育推進のため、教職員や調理員を対象とした食育セミナーの参加者を指標としました。								
		目標	100						%	単年
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		—	達成度							
上記指標の設定理由										
		目標	100							
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		—	達成度							
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ									
政策	3 生涯にわたって学び、楽しめる環境づくり									
施策	⑨ 健康増進の推進									
施策目標・担当部課										
施策目標	Ⅰ 学校給食などでの地産地消、食の安全確保や、食育、健康教育の推進を図ります。									
担当部課	部名	教育委員会			課名	教育総務課				
	部名	健康福祉部			課名	健康課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	食育推進事業			929	コロナ禍により教室等が中止・縮小したため、教育の機会や面接での相談件数は減少しているが、子どもの健診や各園での食育教室などで朝食や野菜の摂取について啓発しました。また、出前講座や健康相談で正しい食生活の普及、食育月間に合わせて展示コーナーを設け食育の啓発を行った。例年のような実施は出来なかったが、市民やいずみ会員の健康と安全を優先して健康づくり普及活動に取り組んだ。					
	いずみ会活動負担金			120						
	合計			1,049						
										自己評価
R4	食育推進事業			3,342	自己評価					
	いずみ会活動負担金			120						
	合計			3,462						
R5	食育推進事業			600	自己評価					
	いずみ会活動負担金			120						
	合計			720						
R6	食育推進事業			600	自己評価					
	いずみ会活動負担金			120						
	合計			720						
R7	食育推進事業			929	自己評価					
	いずみ会活動負担金			120						
	合計			1,049						
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
食に関する健康教育実施回数		目標		70	71	72	73	74	回	単年
		実績	70	66						
第2期地域創生戦略アクションプラン		—	達成度	94.3%						
上記指標の設定理由		子どもやその保護者が食育について学ぶ機会を確保することが必要と考え、食に関する健康教育の実施回数を指標とすることが適しているため。								
第2期地域創生戦略アクションプラン		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										
第2期地域創生戦略アクションプラン		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策									
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ								
政策	4 暮らしを支える福祉・医療の充実								
施策	⑩ 高齢者福祉の推進								
施策目標・担当部課									
施策目標	ア 配慮を必要とする方やその介護者及び家族を支援するための総合的な支援体制を構築するとともに、高齢者が孤立することのないよう、地域に密着した取り組みを推進します。								
担当部課	部名	健康福祉部			課名	長寿介護課			
目標を達成するための具体的な取り組み									
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題						
R3	高齢者向け配食サービス	7,990	配食サービスはR1年4月より補助事業に変更となり社協に事務委託している。配食事業に現在まで4事業所が参入しR3年度は平均で月275人が利用した。またICTを活用した認知症見守りサービスについては、R2年度設置は30箇所、R3年度は計画通り55箇所、加西市内の施設に合計85箇所の見守り感知器の設置が完了。今後は高齢者が一人で外出した際に早期発見に繋がることが出来るようBLEタグの周知や見守り感知器を加西市内の公共施設、介護事業所を中心にR4年度は55箇所の新規設置予定。R5年度までに感知器を170箇所設置し見守りサービスを周知、普及させていく。						
	総合的な相談支援体制の強化	65,447							
	ICTを活用した認知症高齢者見守りサービスの促進	2,647							
	あったか声かけ作戦の促進	330							
	合計	76,414							
R4	高齢者向け配食サービス	7,990							
	総合的な相談支援体制の強化	66,184							
	ICTを活用した認知症高齢者見守りサービスの促進	2,599							
	あったか声かけ作戦の促進	330							
	合計	77,103							
R5	高齢者向け配食サービス	7,990							
	総合的な相談支援体制の強化	67,000							
	ICTを活用した認知症高齢者見守りサービスの促進	2,667							
	あったか声かけ作戦の促進	330							
	合計	77,987							
R6	高齢者向け配食サービス	7,990							
	総合的な相談支援体制の強化	68,000							
	ICTを活用した認知症高齢者見守りサービスの促進	2,800							
	あったか声かけ作戦の促進	330							
	合計	79,120							
R7	高齢者向け配食サービス	7,990							
	総合的な相談支援体制の強化	70,000							
	ICTを活用した認知症高齢者見守りサービスの促進	1,510							
	あったか声かけ作戦の促進	330							
	合計	79,830							
目標を達成するための主な指標（KPI）									
指標	区分	基準値(R円)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
配食サービス利用数	目標		295	300	305	310	315	人	単年
	実績	269	275						
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	93.2%						
上記指標の設定理由	R元年度より、委託事業から助成事業に変更したことで民間事業者が参入し、選択肢が増えたことから毎年5人の増加を目標とする。								
高齢者相談件数	目標		5,800	6,000	6,100	6,200	6,300	件	単年
	実績	5,589	5,872						
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	101.2%						
上記指標の設定理由	地域包括支援センターは高齢者の総合相談窓口としてさまざまな相談に対応しており、高齢化や課題の複雑化により相談件数が増加すると推察し、毎年100件の増加を目標とする。								
BLEタグ感知器設置件数	目標		85	130	170	170	170	件	累計
	実績	0	85						
第2期地域創生戦略アクションプラン	4-08	達成度	100.0%						
上記指標の設定理由	見守りサービスの取組を拡張・高度化させていくためには、施設などに設置するBLEタグ感知器を普及させることが重要であるため、R5年度までに早期設置し実施することを目標とする。								

基本方針・政策・施策									
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを楽しむ								
政策	4 くらしを支える福祉・医療の充実								
施策	⑩ 高齢者福祉の推進								
施策目標・担当部課									
施策目標	イ 高齢者が自分らしく暮らすことができるよう、就業機会の拡充や集いの場での地域活動の推進に取り組みます。								
担当部課	部名	健康福祉部			課名	長寿介護課			
目標を達成するための具体的な取り組み									
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題						
R3	高齢者の就業機会の開拓、拡充	10,459	シルバー人材センターでは、働く意欲のある高齢者が、年齢にかかわらずその能力や経験をいかし生涯現役で活躍し続けられるよう支援した。総合事業(サービスB)の実施を開始した。 きずなカフェは8か所、いきいき体操は51か所にまで増加したが、コロナ禍による活動の自粛のため、社会福祉協議会に活動費用の助成金を申請しているグループは65か所にまで減少した。コロナ禍においても地域活動の必要性があることについて周知していく必要がある。						
	地域住民や学生が参加する高齢者の介護支援(介護予防)	1,507							
	合計	11,966							
R4	高齢者の就業機会の開拓、拡充	10,459							
	地域住民や学生が参加する高齢者の介護支援(介護予防)	2,214							
	合計	12,673							
R5	高齢者の就業機会の開拓、拡充	10,459							
	地域住民や学生が参加する高齢者の介護支援(介護予防)	1,209							
	合計	11,668							
R6	高齢者の就業機会の開拓、拡充	10,459							
	地域住民や学生が参加する高齢者の介護支援(介護予防)	1,209							
	合計	11,668							
R7	高齢者の就業機会の開拓、拡充	10,459							
	地域住民や学生が参加する高齢者の介護支援(介護予防)	1,507							
	合計	11,966							
目標を達成するための主な指標 (KPI)									
指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
シルバー人材センター会員数	目標		340	340	340	340	340	人	累計
	実績	339	312						
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	91.8%						
上記指標の設定理由	65歳までの雇用確保措置や高齢者の就業機会の多様化などの影響で、シルバー人材センターの会員数は減少傾向にあるが、高齢者の就業・社会参加を通じた地域貢献の役割は大きくなっており、今の人数を維持することを目標とする。								
開催件数(きずなカフェ・いきいき体操・サロン等)	目標		146	147	148	149	150	件	単年
	実績	145	124						
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	84.9%						
上記指標の設定理由	R元年度実績(きずなカフェ6か所、いきいき体操42か所、サロン97か所)から、毎年1件増加することを目標とする。								
	目標								
	実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度							
上記指標の設定理由									

基本方針・政策・施策									
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ								
政策	4 くらしを支える福祉・医療の充実								
施策	⑪ 障がい福祉・地域福祉の充実								
施策目標・担当部課									
施策目標	ア 障がいのある人や発達に課題を抱える子どもなど、配慮を必要とする人の地域生活移行や社会参画の促進に向け、発達支援の充実や就労機会の拡充に加え、様々な場面での合理的配慮の提供に取り組みます。								
担当部課	部名	健康福祉部			課名	地域福祉課			
目標を達成するための具体的な取り組み									
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題						
R3	社会参加促進事業	700	社会参加促進事業については、コロナウイルス感染拡大防止の観点から事業を実施しない団体があり、縮小となった。今後、事業を休止している団体に改めて事業を実施してもらえるよう、声掛けをしていきたい。 就労継続支援事業については、全国的な利用者の増加に伴い、本市においても利用者が増加している。障がいの理解や制度の認知の拡大に従って、今後も事業規模が拡大していくと思われる。						
	就労継続支援事業（A型、B型）	227,893							
	合計	228,593							
R4	社会参加促進事業	600							
	就労継続支援事業（A型、B型）	276,026							
	合計	276,626							
R5	社会参加促進事業	600							
	就労継続支援事業（A型、B型）	276,026							
	合計	276,626							
R6	社会参加促進事業	600							
	就労継続支援事業（A型、B型）	276,026							
	合計	276,626							
R7	社会参加促進事業	600							
	就労継続支援事業（A型、B型）	276,026							
	合計	276,626							
目標を達成するための主な指標（KPI）									
指標	区分	基準値(R円)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
就労継続支援事業利用者数（A型・B型）	目標		2,660	2,710	2,770	2,820	2,870	人日/月	単年
	実績		2,488	2,918					
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	109.7%						
上記指標の設定理由	就労継続支援B型で利用者の増加傾向がみられ、今後も増加が続くものと見込まれるため。								
第2期地域創生戦略アクションプラン	目標								
	実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン	達成度								
上記指標の設定理由									
第2期地域創生戦略アクションプラン	目標								
	実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン	達成度								
上記指標の設定理由									

基本方針・政策・施策										
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ									
政策	4 くらしを支える福祉・医療の充実									
施策	⑪ 障がい福祉・地域福祉の充実									
施策目標・担当部課										
施策目標	イ 社会福祉協議会や地域との連携のもと、住民の安全・安心な暮らしを支えるため、各町および小学校区単位で行う福祉活動の充実を図ります。									
担当部課	部名	健康福祉部			課名	福祉企画課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	地域福祉活動の推進			34,000	100町以上の自治会が活動をしていたが、今社協の補助金を使って開催している町は71町に減少した。さらに、コロナの影響で、サロンを取りやめる町が多く、令和3年度は目標の半分以下になっている。町によって、自分たちで開催している場合は、社協でも把握できないため、社協の支援を受けながら開催することを再度呼び掛ける必要がある。					
	合計			34,000						自己評価
R4	地域福祉活動の推進			34,000						
	合計			34,000						自己評価
R5	地域福祉活動の推進			34,000						
	合計			34,000						自己評価
R6	地域福祉活動の推進			34,000						
	合計			34,000						自己評価
R7	地域福祉活動の推進			34,000						
	合計			34,000						自己評価
目標を達成するための主な指標 (KPI)										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
地域福祉活動事業実施数		目標	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	回	単年
		実績	-	636						
第2期地域創生戦略アクションプラン		-	達成度	42.4%						
上記指標の設定理由		各町のいきいきサロンや集まりなど、各地域で活動している事業の数が適しているため。								
		目標	1,500							
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン			達成度							
上記指標の設定理由										
		目標	1,500							
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン			達成度							
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策									
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを楽しむ								
政策	4 くらしを支える福祉・医療の充実								
施策	⑪ 障がい福祉・地域福祉の充実								
施策目標・担当部課									
施策目標	ウ 経済的に困窮している方が自立した生活を送ることができるよう、就労支援や経済的支援等の自立支援に取り組みます。また、コミュニティにおける地域の見守りや居場所づくりにも取り組みます。								
担当部課	部名	健康福祉部			課名	地域福祉課			
目標を達成するための具体的な取り組み									
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題						
R3	生活困窮事業	64,826	コロナ禍にも関わらず、大幅に目標を上回った。就労支援については、生活困窮者の受け入れ先企業の開拓の課題がまだある。すぐに受け入れてくれる企業が市内にないので、理解のある企業開拓が課題。子ども食堂についても、当初目標設定時は休止中の子ども食堂しかなかったが、現在4箇所の子ども食堂が新たにでき、目標を大きく上回った。今後ハローズとの連携、市の補助金の創設、意欲的な新たな団体もあるので、さらに増加する見込みである。						
	合計	64,826							
R4	生活困窮事業	47,711							
	合計	47,711							
R5	生活困窮事業	47,711							
	合計	47,711							
R6	生活困窮事業	47,711							
	合計	47,711							
R7	生活困窮事業	47,711							
	合計	47,711							
目標を達成するための主な指標 (KPI)									
指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
就労支援による就職者			25	25	25	25	25	人	単年
	実績	21	45						
第2期地域創生戦略アクションプラン	-	達成度	180.0%						
上記指標の設定理由	稼働能力年齢世代の減少を考慮し、数値を設定しました。								
コミュニティ食堂利用者	目標		80	90	100	110	120	人	累計
	実績	0	550						
第2期地域創生戦略アクションプラン	-	達成度	687.5%						
上記指標の設定理由	コミュニティ食堂を何箇所かで開始される動きがあるため、毎年10人増を目標とします。								
	目標								
	実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度							
上記指標の設定理由									

基本方針・政策・施策									
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ								
政策	4 くらしを支える福祉・医療の充実								
施策	⑫ 保健・医療体制の確保								
施策目標・担当部課									
施策目標	ア 加西病院の改築整備を行い、総合診療の充実を図るとともに、医療従事者の確保と安全な医療体制を構築し、健全で着実な病院運営の実現を目指します。また、近隣病院、診療所との連携を強化します。								
担当部課	部名	加西病院			課名	病院総務課			
目標を達成するための具体的な取り組み									
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題						
R3	加西病院改築に係る調査及び基本設計	95,800	令和3年度は加西市新病院建設工事基本設計をまとめ、概要を病院ホームページにおいて公開した。紹介率は新型コロナウイルス感染症まん延のため、受診控えによる一般外来受診の減と発熱外来による受診増の影響を受け、目標値に届かなかったが、引き続き、地域の医療機関と顔の見える関係を築くよう努め、病病・病診連携を積極的に進めていく。						
	合計	95,800							
R4	加西病院改築に係る実施設計	101,634							
	合計	101,634							
R5	加西病院改築工事	156,213							
	合計	156,213							
R6	加西病院改築工事	2,096,621							
	システム導入費	190,000							
	合計	2,286,621							
R7	加西病院改築工事	4,880,454							
	医療機器・什器等導入費	466,850							
	システム導入費	191,150							
	移転費等	300,000							
合計	5,838,454	自己評価							
目標を達成するための主な指標 (KPI)									
指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
市立加西病院への紹介率	目標		45	47	48	49	50	%	単年
	実績	44	43						
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	95.6%						
上記指標の設定理由	地域医療に貢献する病院であることが求められることから、地域の医療機関と密に連携がとれていることを示す紹介率が適しているため。								
	目標								
	実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度							
上記指標の設定理由									
	目標								
	実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度							
上記指標の設定理由									

基本方針・政策・施策										
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを楽しむ									
政策	4 くらしを支える福祉・医療の充実									
施策	⑫ 保健・医療体制の確保									
施策目標・担当部課										
施策目標	イ 県や医師会等との連携強化や、保健・医療・福祉・介護等の関係機関との連携により、サービスが適切に受けられる地域医療体制を確保します。									
担当部課	部名	健康福祉部			課名	健康課				
	部名	健康福祉部			課名	福祉企画課				
	部名	健康福祉部			課名	国保医療課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	保健事業検討会の開催（加西市医師会・加西市歯科医師会）			100	自己評価	B…ほぼ目標を達成	定例事業、新規事業の実施及び感染症対策を図りながら保健事業を実施するために、加西市医師会、加西市歯科医師会と会議を開催し、安全に事業実施ができた。加西市医師会、加西市歯科医師会に年末年始の診療体制の整備を依頼し、加西市医師会には年間を遠し休日の診療にも協力を仰ぎ、市民が安心して必要な医療を受けられる体制を確保することができた。			
	休日・年末年始の診療体制の維持（加西市医師会）			4,700						
	年末年始の診療体制の維持（加西市歯科医師会）			180						
	合計			4,980						
R4	保健事業検討会の開催（加西市医師会・加西市歯科医師会）			100	自己評価					
	休日・年末年始の診療体制の維持（加西市医師会）			4,700						
	年末年始の診療体制の維持（加西市歯科医師会）			180						
	合計			4,980						
R5	保健事業検討会の開催（加西市医師会・加西市歯科医師会）			100	自己評価					
	休日・年末年始の診療体制の維持（加西市医師会）			4,700						
	年末年始の診療体制の維持（加西市歯科医師会）			180						
	合計			4,980						
R6	保健事業検討会の開催（加西市医師会・加西市歯科医師会）			100	自己評価					
	休日・年末年始の診療体制の維持（加西市医師会）			4,700						
	年末年始の診療体制の維持（加西市歯科医師会）			180						
	合計			4,980						
R7	保健事業検討会の開催（加西市医師会・加西市歯科医師会）			100	自己評価					
	休日・年末年始の診療体制の維持（加西市医師会）			4,700						
	年末年始の診療体制の維持（加西市歯科医師会）			180						
	合計			4,980						
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R円)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
休日・年末年始の医療体制協力団体数		目標	2	2	2	2	2	2	団体	単年
		実績	2	2						
第2期地域創生戦略アクションプラン		－	達成度	100.0%						
上記指標の設定理由		年末年始や休日の医療機関の休診が増加する際に、市民が安心して必要な医療を受けられる体制確保が必要であり、協力団体数が地域医療体制の評価に適しているため。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン			達成度							
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン			達成度							
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを楽しむ									
政策	4 暮らしを支える福祉・医療の充実									
施策	⑫ 保健・医療体制の確保									
施策目標・担当部課										
施策目標	イ 県や医師会等との連携強化や、保健・医療・福祉・介護等の関係機関との連携により、サービスが適切に受けられる地域医療体制を確保します。									
担当部課	部名	健康福祉部	課名	健康課						
	部名	健康福祉部	課名	福祉企画課						
	部名	健康福祉部	課名	国保医療課						
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題							
R3	地域包括ケアシステム推進部会の開催	549	コロナワクチン接種のため、医師等が多忙で開催に至らなかった。 コロナ禍が収束し、平常に戻ってからの開催となる。							
	保健医療福祉推進協議会の開催	183								
	合計	732								
	自己評価	C…目標を下回っている								
R4	地域包括ケアシステム推進部会の開催	549	自己評価							
	保健医療福祉推進協議会の開催	183								
	合計	732								
	自己評価									
R5	地域包括ケアシステム推進部会の開催	549	自己評価							
	保健医療福祉推進協議会の開催	183								
	合計	732								
	自己評価									
R6	地域包括ケアシステム推進部会の開催	549	自己評価							
	保健医療福祉推進協議会の開催	183								
	合計	732								
	自己評価									
R7	地域包括ケアシステム推進部会の開催	549	自己評価							
	保健医療福祉推進協議会の開催	183								
	合計	732								
	自己評価									
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分	
地域包括ケアシステム推進部会の開催	目標	3	1	1	1	1	1	回	単年	
	実績	3	0							
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	0.0%							
上記指標の設定理由	地域包括ケアシステム推進部会のワーキンググループで取り組んだことについて、上位の推進部会で情報共有する会議のため。									
保健医療福祉推進協議会の開催	目標	1	1	1	1	1	1	回	単年	
	実績	1	0							
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	0.0%							
上記指標の設定理由	医療・福祉関係者が集まり、地域包括ケアシステム推進部会で話し合われた課題や、保健・医療・福祉分野の喫緊の課題について協議するため。									
第2期地域創生戦略アクションプラン	目標									
	実績									
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策									
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを楽しむ								
政策	4 くらしを支える福祉・医療の充実								
施策	⑫ 保健・医療体制の確保								
施策目標・担当部課									
施策目標	イ 県や医師会等との連携強化や、保健・医療・福祉・介護等の関係機関との連携により、サービスが適切に受けられる地域医療体制を確保します。								
担当部課	部名	健康福祉部	課名	健康課					
	部名	健康福祉部	課名	福祉企画課					
	部名	健康福祉部	課名	国保医療課					
目標を達成するための具体的な取り組み									
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題						
R3	精神障害者保健福祉手帳2級取得者への医療費助成	9,148	障害をお持ちの方にかかる経済的負担の軽減になり、適切に医療を受けられる体制を確保できた。令和4年度からは、より安心して医療を受けられるように、精神障害者保健福祉手帳3級取得者まで医療費助成対象者を拡大する。						
	合計	9,148							
	自己評価	B…ほぼ目標を達成							
R4	精神障害者保健福祉手帳2級取得者への医療費助成の継続、及び3級取得者への医療費助成拡充	10,925							
	合計	10,925							
	自己評価								
R5	精神障害者保健福祉手帳2、3級取得者への医療費助成継続	11,925							
	合計	11,925							
	自己評価								
R6	精神障害者保健福祉手帳2、3級取得者への医療費助成継続	11,925							
	合計	11,925							
	自己評価								
R7	精神障害者保健福祉手帳2、3級取得者への医療費助成継続	11,925							
	合計	11,925							
	自己評価								
目標を達成するための主な指標（KPI）									
指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
受診件数	目標		2,800	3,100	3,300	3,300	3,300	件	単年
	実績	2,560	2,320						
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	82.9%						
上記指標の設定理由	医療費助成の拡充により、障害をお持ちの方にかかる経済的負担の軽減になり、適切に医療を受けられる体制を確保できるため。								
第2期地域創生戦略アクションプラン	目標								
	実績								
	達成度								
上記指標の設定理由									
第2期地域創生戦略アクションプラン	目標								
	実績								
	達成度								
上記指標の設定理由									

基本方針・政策・施策										
基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む									
政策	5 農業の再生と活性化									
施策	⑬ 農業従事者の確保と育成									
施策目標・担当部課										
施策目標	ア 生産者を対象とした経営の指導のほか、6次産業化*に向けた支援の充実を図り、資質向上に取り組みます。									
担当部課	部名	地域振興部				課名	農政課			
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題							
R3	地元ブランド品開発事業	10,000	今年度は12件の申請があり、補助を行った。商品開発やパッケージデザインの経費に補助した結果、令和4年4月オープンของSORAかさい内での店舗でも販売されている商品が誕生した。今後は、予算が減額されるが、継続して支援する。かさい農力向上クラスの開催については、市内全域に広がっている獣害対策の講演会を開催し、有効な対策等を大学教授を交え市内での取組を公表し、全域に広げる取組を行った。今後は、若手農家の経営に向けての講演などを行いたいと考えている。							
	かさい農力向上クラスの開催	0								
	合計	10,000								
R4	特産品開発委託料	500								
	かさい農力向上クラスの開催	0								
	合計	500								
R5	特産品開発委託料	500								
	かさい農力向上クラスの開催	0								
	合計	500								
R6	特産品開発委託料	500								
	かさい農力向上クラスの開催	0								
	合計	500								
R7	特産品開発委託料	500								
	かさい農力向上クラスの開催	0								
	合計	500								
目標を達成するための主な指標 (KPI)										
指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分	
かさい農力向上クラスの開催数	目標		1	2	2	2	2	回	単年	
	実績	0	1							
第2期地域創生戦略アクションプラン	1-22	達成度	100.0%							
上記指標の設定理由	新規就農者や兼業農家の育成を進めていくためには、学びと交流の機会を作ることが多くの農産物の生産に繋がるため。									
高付加価値農作物の品種数	目標		2	2	2	2	3	品種	累計	
	実績	1	1							
第2期地域創生戦略アクションプラン	1-16	達成度	50.0%							
上記指標の設定理由	栽培指導から販売までの流れを作っていくためには、1品種3~4年の期間をかける必要があるため。									
	目標									
	実績									
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策									
基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む								
政策	5 農業の再生と活性化								
施策	⑬ 農業従事者の確保と育成								
施策目標・担当部課									
施策目標	イ 若い世代や女性、定年退職者等も含めた新規就農者の支援に努めるとともに、法人の設立と参入を推進し、就農希望者の研修受入制度や市民農園をPRしていきます。								
担当部課	部名	地域振興部			課名	農政課			
目標を達成するための具体的な取り組み									
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題						
R3	女性若者担い手育成奨励金	300	今年度新たに青年等就農計画を認定した農業者は5名になった。今年度から農業次世代人材投資資金の交付対象者となった者も5名いる。1年間研修に行き、就農を目指していた者が多く、今年は多く就農した。以前は果樹での就農が多かったが、ハウスを建てて農業する者が増え、新規就農支援事業も6件の申請があった。新規就農促進協議会として、コロナ禍により相談会が中止になるなどしているが、2回参加し加西市のPRを行った。女性若者担い手として大型特殊免許の取得が伸び悩んでいるので、PRを図って女性の農業参加を進めていく。						
	新規就農支援事業補助事業	8,000							
	農業次世代人材投資資金	12,750							
	新規就農促進協議会負担金	200							
	合計	21,250							
R4	女性若者担い手育成奨励金	150	自己評価						
	新規就農支援事業補助事業	9,000							
	農業次世代人材投資資金	12,000							
	新規就農促進協議会負担金	200							
	合計	21,350							
R5	女性若者担い手育成奨励金	150	自己評価						
	新規就農支援事業補助事業	9,000							
	農業次世代人材投資資金	12,000							
	新規就農促進協議会負担金	200							
	合計	21,350							
R6	女性若者担い手育成奨励金	150	自己評価						
	新規就農支援事業補助事業	9,000							
	農業次世代人材投資資金	12,000							
	新規就農促進協議会負担金	200							
	合計	21,350							
R7	女性若者担い手育成奨励金	300	自己評価						
	新規就農支援事業補助事業	10,000							
	農業次世代人材投資資金	12,750							
	新規就農促進協議会負担金	200							
	合計	23,250							
目標を達成するための主な指標（KPI）									
指標	区分	基準値(R円)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
新規就農者数	目標	1	2	2	2	2	2	人	単年
	実績	1	5						
第2期地域創生戦略アクションプラン	1-17	達成度	250.0%						
上記指標の設定理由	新規就農者数は、新規就農促進協議会等において相談会に参加し、真剣に就農することを考える農家を誘致できたかの効果測定に適しているため。								
研修生受入人数	目標	1	2	2	3	4	5	人	単年
	実績	1	5						
第2期地域創生戦略アクションプラン	1-19	達成度	250.0%						
上記指標の設定理由	研修生の受入数を増やすことで、次の担い手の確保と受入農家の指導力を育成していくことができるため。								
	目標								
	実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度							
上記指標の設定理由									

基本方針・政策・施策										
基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む									
政策	5 農業の再生と活性化									
施策	⑭ 農業経営の支援									
施策目標・担当部課										
施策目標	ア 農地の利用集積支援、営農組織化や法人化の推進、農業用機械や施設整備にかかる補助の拡充など、農業経営の持続可能性を確保する支援を進めていきます。									
担当部課	部名	地域振興部			課名	農政課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	担い手育成施設整備支援事業			15,000	市単事業の担い手育成施設整備支援事業にて、営農組合や認定農業者に対して、機械等の購入の一部補助を実施した。申込多数の為、関係機関により審査を行い交付対象者を決定した。県事業の農業経営スマート化促進事業では、農業法人からの申請を受け、雇用等の拡大を目指す取り組みに支援した。農地集積については、現在、事業検討が進んでいるインター周辺の3町のほか、9町において、農地中間管理事業を活用した集積事業を行った。					
	法人化促進総合対策事業			7,500						
	農地集積協力金			3,800						
	合計			26,300						自己評価
R4	担い手育成施設整備支援事業			15,000						
	法人化促進総合対策事業			7,500						
	農地集積協力金			3,800						
	合計			26,300						自己評価
R5	担い手育成施設整備支援事業			15,000						
	法人化促進総合対策事業			7,500						
	農地集積協力金			3,800						
	合計			26,300						自己評価
R6	担い手育成施設整備支援事業			15,000						
	法人化促進総合対策事業			7,500						
	農地集積協力金			3,800						
	合計			26,300						自己評価
R7	担い手育成施設整備支援事業			15,000						
	法人化促進総合対策事業			7,500						
	農地集積協力金			3,800						
	合計			26,300						自己評価
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R円)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
担い手への集積面積		目標	1,220	1,220	1,235	1,250	1,275	1,300	ha	単年
		実績	1,215	1,255						
第2期地域創生戦略アクションプラン		—	達成度	102.9%						
上記指標の設定理由		認定農業者等への農地の集積面積が農業経営の安定や健全化を確認できるため。								
農地利用率		目標	89	89	89	90	90	91	%	単年
		実績	89	87						
第2期地域創生戦略アクションプラン		—	達成度	97.8%						
上記指標の設定理由		法人化を目指す農家数を検討したが、専業農家と兼業農家のいずれもが農地を適正に管理していくという観点から農地を活用している割合を指標にすることが適しているため。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		—	達成度							
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策																
基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む															
政策	5 農業の再生と活性化															
施策	⑭ 農業経営の支援															
施策目標・担当部課																
施策目標	イ 農業の所得拡大とまちのPRを目的として、地元農作物のブランディングを進めるとともに、主要農作物生産者に対して助成を行います。															
担当部課	部名	地域振興部			課名	農政課										
目標を達成するための具体的な取り組み																
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題													
R3	農業団体育成事業	432	特産品開発や集落営農組織の資質向上の為に、各協議会等に支援を行った。加西市の特産であるぶどうの生産継続に向けて、棚の改修新設やベリーAや大粒系品種への改植を進める為に苗木の購入補助を行った。市場ニーズがシャインマスカットを始めとする皮ごと食べられる大粒品種を求められている中、加西ゴールデンベリーA（品種名マスカットベリーA）の生産面積の減少をどのように対処するかが課題になってきている。													
	ぶどう生産推進補助事業	2,000														
	合計	2,432								自己評価	B…ほぼ目標を達成					
R4	農業団体育成事業	532														
	ぶどう生産推進補助事業	1,500														
	合計	2,032								自己評価						
R5	農業団体育成事業	532														
	ぶどう生産推進補助事業	1,500														
	合計	2,032								自己評価						
R6	農業団体育成事業	532														
	ぶどう生産推進補助事業	1,500														
	合計	2,032								自己評価						
R7	農業団体育成事業	432														
	ぶどう生産推進補助事業	3,000														
	合計	3,432								自己評価						
目標を達成するための主な指標（KPI）																
指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分							
直売所売上高	目標		198,000	199,000	200,000	202,000	204,000	千円	単年							
	実績	196,930	242,002													
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	122.2%													
上記指標の設定理由	各生産者部会員の増加を目標にすることも検討したが、専業・兼業問わず販売できる直売所の売上額を指数とし、農家の大多数が組合員となっておるJAの直売所の売上高とすることが適しているため。															
	目標															
	実績															
第2期地域創生戦略アクションプラン	達成度															
上記指標の設定理由																
	目標															
	実績															
第2期地域創生戦略アクションプラン	達成度															
上記指標の設定理由																

基本方針・政策・施策									
基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む								
政策	5 農業の再生と活性化								
施策	⑭ 農業経営の支援								
施策目標・担当部課									
施策目標	ウ 地元農産物を食材利用する事業者への支援や学校給食への提供などにより、地産地消や食育を推進します。								
担当部課	部名	地域振興部			課名	農政課			
目標を達成するための具体的な取り組み									
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題						
R3	地産地消推進事業	2,200	神戸大学食資源センターや県立播磨農業高等学校の学生が栽培した野菜やJA兵庫みらい愛菜館を通じて市内産農作物を市内の学校給食に使用している。今年度は次年度以降からもっと安定的に野菜などの供給を行う為に、播磨農業高校と協定を締結した。また、加西ゴールデンベリーAを使用したゼリー、加西とまとのピューレを使ったハンバーグ、冬かぼちゃターホースを使ったコロッケなどが販売になった。今後の課題としては、学校給食用の野菜を生産する農家を増やすことが課題となっている。						
	合計	2,200							
R4	地産地消推進事業	2,000							
	合計	2,000							
R5	地産地消推進事業	2,000							
	合計	2,000							
R6	地産地消推進事業	2,000							
	合計	2,000							
R7	地産地消推進事業	2,680							
	合計	2,680							
目標を達成するための主な指標 (KPI)									
指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
学校給食市内産野菜使用日数	目標		95	100	100	110	120	日	単年
	実績		92	136					
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	143.2%						
上記指標の設定理由	市内飲食店での市内産農産物の使用店舗数も検討したが、食育や地域を知る学習への連携等も考え、学校給食での市内産農作物使用日数が適しているため。								
第2期地域創生戦略アクションプラン	目標								
	実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン	達成度								
上記指標の設定理由									
第2期地域創生戦略アクションプラン	目標								
	実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン	達成度								
上記指標の設定理由									

基本方針・政策・施策										
基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む									
政策	5 農業の再生と活性化									
施策	⑮ 農業環境の充実									
施策目標・担当部課										
施策目標	ア ICT技術を活用したスマート農業等、省力・高品質生産を実現する新たな農業の普及に取り組みます。									
担当部課	部名	地域振興部				課名	農政課			
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業				経費(千円)	取組実績と今後の課題				
R3	施設園芸設備整備支援事業				1,000	老朽化したハウスを撤去し、新たに露天において管理する花壇苗用の為に、ベンチを新設し、高さなどを調整し作業効率を高める事業を支援した。また、県予算を活用して、環境制御技術を導入し、気温、湿度などを測定し、ハウス内の加温機やハウスの袖の自動巻き上げに連動し、作業効率を上げ、農業者労働時間の軽減に支援した。資材等の高騰により、整備意欲の減退と労働意欲の減退を招かないように補助制度を検討していく必要がある。				
	合計				1,000					
R4	施設園芸設備整備支援事業				1,000					
	合計				1,000					
R5	施設園芸設備整備支援事業				1,000					
	合計				1,000					
R6	施設園芸設備整備支援事業				1,000					
	合計				1,000					
R7	施設園芸設備整備支援事業				1,000					
	合計				1,000					
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
ICT等導入事業者数		目標	2	2	2	2	2	3	経営体	累計
		実績	2	3						
第2期地域創生戦略アクションプラン	1-18	達成度	150.0%	150.0%						
上記指標の設定理由		農業へのICT技術を進め、作業の効率化等を検討する施設園芸農家数が適しているため。								
第2期地域創生戦略アクションプラン		目標	2							
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度	2							
上記指標の設定理由										
第2期地域創生戦略アクションプラン		目標	2							
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度	2							
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む									
政策	5 農業の再生と活性化									
施策	⑮ 農業環境の充実									
施策目標・担当部課										
施策目標	イ 耕種農家と畜産農家の連携や、生物多様性等の環境に配慮した生産等の推進により、持続可能な農業の発展を目指します。									
担当部課	部名	地域振興部				課名	農政課			
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題							
R3	環境保全型農業直接支払対策交付金	8,040	水稲作付で有機資材である堆肥の散布や中干の期間を短くしてオタマジャクシなど水生昆虫の生育を助け、また温暖化ガスであるメタンガスの発生抑制などに取組み環境にやさしい農業に取り組む農家の支援を行った。また、畜産農家に稲わらやWCS用稲を供給し、その農地へ堆肥を散布するという循環農業に取り組む農家も増えている。今後は、畜産や酪農の事業者を誘致し、自然にやさしい農業に取り組める環境を整えていくことが課題になっている。							
	合計	8,040								
R4	環境保全型農業直接支払対策交付金	8,460								
	合計	8,460								
R5	環境保全型農業直接支払対策交付金	8,460								
	合計	8,460								
R6	環境保全型農業直接支払対策交付金	8,460								
	合計	8,460								
R7	環境保全型農業直接支払対策交付金	10,000								
	合計	10,000								
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標	区分	基準値(R円)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分	
環境保全型農業取組実施者	目標	7	7	7	8	8	9	団体	単年	
	実績	7	8							
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	114.3%							
上記指標の設定理由	有機農業など環境を意識した水稲作付農家を支援するとともに、畜産や酪農農家との連携も進むため。									
第2期地域創生戦略アクションプラン	目標	7								
	実績									
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	7							
上記指標の設定理由										
第2期地域創生戦略アクションプラン	目標	7								
	実績									
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	7							
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む									
政策	5 農業の再生と活性化									
施策	⑮ 農業環境の充実									
施策目標・担当部課										
施策目標	ウ たため池の耐震化、農地維持・改良や農業用施設の長寿命化のほか、有害鳥獣対策の強化など、安定した農業経営を実現するための環境づくりに取り組みます。									
担当部課	部名	地域振興部			課名	農政課・農林整備課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業				経費(千円)	取組実績と今後の課題				
R3	多面的機能支払交付金事業				301,926	加西市全体に広がっている猪や鹿、アライグマの被害軽減に向けて、資材を提供し地域で金網柵などを設置する事業を行った。1つの集落をモデルとして、点検方法や管理の重要性を地域住民と一緒に取り組む活動を行った。スクミングガイ対策として、水管理や薬剤散布の効果を上げる実証として、農地の均平を行った。市内109組織が多面的機能支払交付金を活用し、農地維持活動や農業用施設の長寿命化を行った。金網柵の設置後の管理の徹底と集落で獣害捕獲を実施していく体制づくりが課題となっている。				
	たため池等整備事業				30,000					
	獣害防護柵補助金				25,000					
	鳥獣害駆除事業				11,000					
	水稲損害防止事業				2,000					
	合計				369,926					自己評価
R4	多面的機能支払交付金事業				300,000	自己評価				
	たため池等整備事業				40,000					
	獣害防護柵補助金				25,000					
	鳥獣害駆除事業				11,000					
	水稲損害防止事業				2,000					
	合計				378,000					
R5	多面的機能支払交付金事業				300,000	自己評価				
	たため池等整備事業				30,000					
	獣害防護柵補助金				25,000					
	鳥獣害駆除事業				11,000					
	水稲損害防止事業				2,000					
	合計				368,000					
R6	多面的機能支払交付金事業				300,000	自己評価				
	たため池等整備事業				30,000					
	獣害防護柵補助金				25,000					
	鳥獣害駆除事業				11,000					
	水稲損害防止事業				2,000					
	合計				368,000					
R7	多面的機能支払交付金事業				300,000	自己評価				
	たため池等整備事業				30,000					
	獣害防護柵補助金				25,000					
	鳥獣害駆除事業				10,000					
	水稲損害防止事業				2,990					
	合計				367,990					
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
防護柵新設延長		目標	6	6	6	6	6	6	km	単年
		実績	6	5						
第2期地域創生戦略アクションプラン		—	達成度	83.3%						
上記指標の設定理由		鳥獣の捕獲頭数を検討したが、地域主体での対策を進めていくために、最初の手段としての防御策の設置距離を指標として、柵の設置をきっかけに今後の点検や捕獲へと繋げていくため。								
第2期地域創生戦略アクションプラン		目標	6							
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度	6							
上記指標の設定理由										
第2期地域創生戦略アクションプラン		目標	6							
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度	6							
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策									
基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む								
政策	6 商工業の振興と新展開								
施策	⑩ 商工業の振興								
施策目標・担当部課									
施策目標	ア 持続可能な商工業の振興と地域経済の活性化を目指して、情報通信基盤を整備するとともに、企業のデジタル化等の設備投資や事業拡大に向けた支援にも取り組みます。								
担当部課	部名	地域振興部			課名	産業振興課			
目標を達成するための具体的な取り組み									
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題						
R3	新産業創出支援事業	15,000	制度の周知ができており、補助制度の利用が促進されている。ポストコロナ、ウイズコロナを見据え企業のデジタル化、持続化、販路開拓の取組に対して支援を行った。						
	小規模事業者持続化事業	5,000							
	合計	20,000							
R4	新産業創出支援事業	15,000							
	小規模事業者持続化事業	5,000							
	合計	20,000							
R5	新産業創出支援事業	15,000							
	小規模事業者持続化事業	5,000							
	合計	20,000							
R6	新産業創出支援事業	15,000							
	小規模事業者持続化事業	5,000							
	合計	20,000							
R7	新産業創出支援事業	15,000							
	小規模事業者持続化事業	5,000							
	合計	20,000							
目標を達成するための主な指標 (KPI)									
指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
製造品出荷額	目標		3,321	3,463	3,605	3,747	3,900	億円	単年
	実績	3,321	3,213						
第2期地域創生戦略アクションプラン	1-21・23	達成度	96.7%						
上記指標の設定理由	設備投資や従業員数の増加による生産体制の拡充が進んだ効果の反映が期待されるため。								
新産業創出支援事業助成件数	目標		10	10	10	10	10	件	単年
	実績	—	11						
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	110.0%						
上記指標の設定理由	ポストコロナを見据え、企業のデジタル化は急務であることから積極的な支援を目指すため。								
	目標								
	実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度							
上記指標の設定理由									

基本方針・政策・施策															
基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む														
政策	6 商工業の振興と新展開														
施策	⑩ 商工業の振興														
施策目標・担当部課															
施策目標	イ 市内消費の喚起とキャッシュレス決済の普及促進のため、ポイントカード事業や市内共通商品券の発行及び電子化等に取り組みます。														
担当部課	部名	地域振興部			課名	産業振興課									
目標を達成するための具体的な取り組み															
年度	事業	経費(千円)		取組実績と今後の課題											
R3	ポイントカード事業	1,000		ポイントカードや住宅リフォーム助成事業、市内共通商品券を発行し市内消費の喚起に努めた。コロナ対策として、市内共通商品券に関してプレミアム率を通常10%を20%にし、発行額も大幅に増やして実施した。また、県の商店街お買い物券・ポイントシール事業を活用した消費喚起の取組も実施した。											
	住宅リフォーム助成事業	5,000													
	プレミアム付市内商品券事業	7,000													
	合計	13,000								自己評価	A…目標を上回って達成				
R4	ポイントカード事業	1,000													
	地域通貨による地域経済循環促進事業	36,000													
	合計	37,000								自己評価					
	合計	37,000								自己評価					
R5	ポイントカード事業	1,000													
	地域通貨による地域経済循環促進事業	36,000													
	合計	37,000								自己評価					
	合計	37,000								自己評価					
R6	ポイントカード事業	1,000													
	地域通貨による地域経済循環促進事業	36,000													
	合計	37,000								自己評価					
	合計	37,000								自己評価					
R7	ポイントカード事業	1,000													
	地域通貨による地域経済循環促進事業	36,000													
	合計	37,000								自己評価					
	合計	37,000								自己評価					
目標を達成するための主な指標 (KPI)															
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分					
卸売業・小売業販売額		目標		710	720	730	740	750	億円	単年					
		実績	783	752											
第2期地域創生戦略アクションプラン	2-03	達成度		105.9%											
上記指標の設定理由		第三次産業の成長の反映が期待されるため、年間10億円の増加を設定した。													
		目標													
		実績													
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度													
上記指標の設定理由															
		目標													
		実績													
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度													
上記指標の設定理由															

基本方針・政策・施策															
基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む														
政策	6 商工業の振興と新展開														
施策	⑩ 商工業の振興														
施策目標・担当部課															
施策目標	ウ 魅力ある商業施設の誘致を進めるとともに、市外からの観光客を受け入れるための宿泊施設等のさらなる充実に取り組みます。														
担当部課	部名	地域振興部			課名	産業振興課									
	部名	都市整備部			課名	都市計画課									
目標を達成するための具体的な取り組み															
年度	事業				経費(千円)	取組実績と今後の課題									
R3	商業施設・宿泊施設誘致に係る調査研究				0	都市計画課との連携により西高室地区（南区画）への商業施設、アステリアかさいへの屋内型遊戯施設&テレワークセンターの誘致に成功した。引き続き、西高室地区（北区画）への商業施設誘致を進めていく。また、宿泊施設誘致を積極的に実施する。									
	合計				0						自己評価	B…ほぼ目標を達成			
	商業施設・宿泊施設誘致に係る調査研究				0										
R4	合計				0	自己評価									
	商業施設・宿泊施設誘致に係る調査研究				0										
	R5	合計									0	自己評価			
商業施設・宿泊施設誘致				0											
R6		合計								0	自己評価				
	商業施設・宿泊施設誘致									0					
	R7	合計				0	自己評価								
商業施設・宿泊施設誘致				0											
合計				0						自己評価					
目標を達成するための主な指標（KPI）															
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分					
卸売業・小売業販売額		目標		710	720	730	740	750	億円	単年					
		実績	783	752											
第2期地域創生戦略アクションプラン	2-03	達成度		105.9%											
上記指標の設定理由		第三次産業の成長の反映が期待されるため、年間10億円の増加を設定した。													
商業施設・宿泊施設誘致件数		目標		0	0	0	1	1	件	累計					
		実績	0	2											
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度		100.0%											
上記指標の設定理由		誘致件数を指標とし、少なくとも1件誘致することを設定した。													
		目標													
		実績													
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度													
上記指標の設定理由															

基本方針・政策・施策									
基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む								
政策	6 商工業の振興と新展開								
施策	⑩ 商工業の振興								
施策目標・担当部課									
施策目標	ウ 魅力ある商業施設の誘致を進めるとともに、市外からの観光客を受け入れるための宿泊施設等のさらなる充実に取り組みます。								
担当部課	部名	地域振興部			課名	産業振興課			
	部名	都市整備部			課名	都市計画課			
目標を達成するための具体的な取り組み									
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題						
R3	用途地域変更、地区計画等を活用した商業施設等の立地促進	0	過年度より誘致を進めていた東高室商業ゾーンのオープンモールについて、進出テナントの開発・建築計画の協議を進め、第1弾のテナントの開店がR4年4月27日に決まった。 三木穴栗線沿道の工場跡地の活用について、第2種低層住居専用地域から商業施設の誘致が可能になる第2種住居地域への変更案を検討した。						
	合計	0	自己評価	A…目標を上回って達成					
R4	用途地域変更、地区計画等を活用した商業施設等の立地促進	0							
	合計	0	自己評価						
R5	用途地域変更、地区計画等を活用した商業施設等の立地促進	0							
	合計	0	自己評価						
R6	用途地域変更、地区計画等を活用した商業施設等の立地促進	0							
	合計	0	自己評価						
R7	用途地域変更、地区計画等を活用した商業施設等の立地促進	0							
	合計	0	自己評価						
目標を達成するための主な指標（KPI）									
指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
卸売業・小売業販売額	目標		710	720	730	740	750	億円	単年
	実績	783	752						
第2期地域創生戦略アクションプラン	2-03	達成度	105.9%						
上記指標の設定理由	総合計画のアンケート調査で明らかとなり、魅力ある商業施設の充実が「子育て世代に選ばれるまち」となるために必要不可欠な要素であり、商業販売額の増加は市民生活の充実を示す指数でもあるため。								
第2期地域創生戦略アクションプラン	目標								
	実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン	達成度								
上記指標の設定理由									
第2期地域創生戦略アクションプラン	目標								
	実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン	達成度								
上記指標の設定理由									

基本方針・政策・施策															
基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む														
政策	6 商工業の振興と新展開														
施策	⑰ 創業支援と働く場の拡大														
施策目標・担当部課															
施策目標	ア 創業希望者に対して、関係機関との連携のもと、相談や指導助言、空き店舗やオフィス補助などの創業支援を実施します。														
担当部課	部名	地域振興部			課名	産業振興課									
	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課									
目標を達成するための具体的な取り組み															
年度	事業				経費(千円)	取組実績と今後の課題									
R3	産業活性化センター事業委託				4,000	かさい創業塾やビジネスグランプリ等を通じて制度の周知ができており、補助制度利用が促進されている。									
	空き店舗活用補助				17,600										
	オフィス立地補助				0										
	合計				21,600						自己評価	A…目標を上回って達成			
R4	産業活性化センター事業委託				4,000										
	空き店舗活用補助				3,200										
	オフィス立地補助				500										
	定住自立圏共生ビジョン創業支援事業				101										
	合計				7,801						自己評価				
R5	産業活性化センター事業委託				4,000										
	空き店舗活用補助				6,000										
	オフィス立地補助				1,000										
	定住自立圏共生ビジョン創業支援事業				101										
	合計				11,101						自己評価				
R6	産業活性化センター事業委託				4,000										
	空き店舗活用補助				6,000										
	オフィス立地補助				1,000										
	定住自立圏共生ビジョン創業支援事業				101										
	合計				11,101						自己評価				
R7	産業活性化センター事業委託				4,000										
	空き店舗活用補助				6,000										
	オフィス立地補助				1,000										
	定住自立圏共生ビジョン創業支援事業				101										
	合計				11,101						自己評価				
目標を達成するための主な指標（KPI）															
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分					
空き店舗活用関連補助助成件数		目標		4	4	4	4	4	件	単年					
		実績	3	10											
第2期地域創生戦略アクションプラン		1-14	達成度	250.0%											
上記指標の設定理由		空き店舗関連補助を利用する多くは創業者であり、創業支援の取り組みの指標として適切であるため。													
		目標													
		実績													
第2期地域創生戦略アクションプラン			達成度												
上記指標の設定理由															
		目標													
		実績													
第2期地域創生戦略アクションプラン			達成度												
上記指標の設定理由															

基本方針・政策・施策										
基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む									
政策	6 商工業の振興と新展開									
施策	⑰ 創業支援と働場の拡大									
施策目標・担当部課										
施策目標	ア 創業希望者に対して、関係機関との連携のもと、相談や指導助言、空き店舗やオフィス補助などの創業支援を実施します。									
担当部課	部名	地域振興部			課名	産業振興課				
	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業				経費(千円)	取組実績と今後の課題				
R3	店舗・オフィス立地のための宅地供給促進補助				0	R3の制度利用はなかったが、R4には2件の制度利用が予定されている。				
									
	合計				0					
R4	店舗・オフィス立地のための宅地供給促進補助				1,500					
									
	合計				1,500					
R5	店舗・オフィス立地のための宅地供給促進補助				1,500					
									
	合計				1,500					
R6	店舗・オフィス立地のための宅地供給促進補助				1,500					
									
	合計				1,500					
R7	店舗・オフィス立地のための宅地供給促進補助				1,500					
									
	合計				1,500					
目標を達成するための主な指標 (KPI)										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
新設店舗数		目標	0	1	1	1	1	1	店舗	単年
		実績	0	0						
第2期地域創生戦略アクションプラン		1-11	達成度	0.0%						
上記指標の設定理由		市街地地域の土地の流動化を図ることにより年間1件程度の店舗新設を目標としました。								
		目標	0							
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン			達成度							
上記指標の設定理由										
		目標	0							
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン			達成度							
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策																
基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む															
政策	6 商工業の振興と新展開															
施策	⑰ 創業支援と働場の拡大															
施策目標・担当部課																
施策目標	イ 若者等の起業や事業承継のための支援に努めます。															
担当部課	部名	ふるさと創造部			課名	ふるさと創造課										
	部名	地域振興部			課名	産業振興課										
目標を達成するための具体的な取り組み																
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題											
R3	若者起業調査助成事業			150	若者起業調査助成事業はここ数年申請が無かったが、R3年度は2件30万円の申請があった。起業支援セミナーは開催出来ていない。											
	起業支援セミナー			90												
	合計			240							自己評価	C…目標を下回っている				
R4	若者起業調査助成事業			300												
	起業支援セミナー			90												
	合計			390							自己評価					
R5	若者起業調査助成事業			300												
	起業支援セミナー			60												
	合計			360							自己評価					
R6	若者起業調査助成事業			300												
	起業支援セミナー			60												
	合計			360							自己評価					
R7	若者起業調査助成事業			300												
	起業支援セミナー			90												
	合計			390							自己評価					
目標を達成するための主な指標（KPI）																
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分						
起業支援セミナー参加者数		目標	14	20	25	30	35	40	人	単年						
		実績	14	0												
第2期地域創生戦略アクションプラン		—	達成度	0.0%												
上記指標の設定理由		起業支援セミナーは支援活動の中心となるものであるため。														
若者・女性起業調査助成金交付件数		目標	0	1	2	2	2	2	件	単年						
		実績	0	2												
第2期地域創生戦略アクションプラン		1-13	達成度	200.0%												
上記指標の設定理由		若者・女性起業助成金交付件数は、支援拡大の目安として分かりやすい指標であるため。														
		目標	0													
		実績														
第2期地域創生戦略アクションプラン			達成度													
上記指標の設定理由																

基本方針・政策・施策										
基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む									
政策	6 商工業の振興と新展開									
施策	⑰ 創業支援と働く場の拡大									
施策目標・担当部課										
施策目標	イ 若者等の起業や事業承継のための支援に努めます。									
担当部課	部名	ふるさと創造部			課名	ふるさと創造課				
	部名	地域振興部			課名	産業振興課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業				経費(千円)	取組実績と今後の課題				
R3	産業活性化センター事業委託				4,000	制度の周知ができており、補助制度の利用が促進されている。特定創業支援事業やビジネスグランプリにおいて積極的に制度のアピールを行っており、年々利用者（創業者）が増えている。				
	特定創業支援事業				上記委託料を含む					
	起業・創業スタートアップ支援事業補助				6,000					
	合計				10,000					
R4	産業活性化センター事業委託				4,000	自己評価				
	特定創業支援事業				上記委託料を含む					
	起業・創業スタートアップ支援事業補助				4,500					
	ビジネスコンテスト運営業務委託				9,300					
合計				17,800	自己評価					
R5	産業活性化センター事業委託				4,000	自己評価				
	特定創業支援事業				上記委託料を含む					
	起業・創業スタートアップ支援事業補助				2,000					
	ビジネスコンテスト運営業務委託				10,000					
合計				16,000	自己評価					
R6	産業活性化センター事業委託				4,000	自己評価				
	特定創業支援事業				上記委託料を含む					
	起業・創業スタートアップ支援事業補助				2,000					
	ビジネスコンテスト運営業務委託				10,000					
合計				16,000	自己評価					
R7	産業活性化センター事業委託				4,000	自己評価				
	特定創業支援事業				上記委託料を含む					
	起業・創業スタートアップ支援事業補助				2,000					
	ビジネスコンテスト運営業務委託				10,000					
合計				16,000	自己評価					
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R円)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
創業者数		目標	7	7	7	7	7	7	件	単年
		実績	7	13						
第2期地域創生戦略アクションプラン		1-15	達成度	185.7%						
上記指標の設定理由		起業実態を表すものとして一番適しているため。								
起業・創業スタートアップ支援事業補助金助成件数		目標	1	1	1	1	1	1	件	単年
		実績	—	1						
第2期地域創生戦略アクションプラン		—	達成度	100.0%						
上記指標の設定理由		創業者数に加えて、補助事業の利用動向の数値化であるため。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン			達成度							
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む									
政策	6 商工業の振興と新展開									
施策	⑰ 創業支援と働く場の拡大									
施策目標・担当部課										
施策目標	ウ 地元企業も進出しやすい産業用地の整備の支援、市内企業の拡張・移転の支援に取り組みます。									
担当部課	部名	都市整備部				課名	都市計画課（開発推進課）			
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業	経費(千円)		取組実績と今後の課題						
R3	特別指定区域制度等を活用した事業所拡張等の支援	0		東高室の民間産業用地はR1.6に地区計画決定後、R3.8に開発工事完了。全3区画で進出企業が決定し、うち2区画は市内企業の拡張・移転であり、施策目標を達成した。						
	民間による産業用地の創設（東高室）	0								
	合計	0								
R4	特別指定区域制度等を活用した事業所拡張等の支援	0								
	合計	0								
R5	特別指定区域制度等を活用した事業所拡張等の支援	0								
	合計	0								
R6	特別指定区域制度等を活用した事業所拡張等の支援	0								
	合計	0								
R7	特別指定区域制度等を活用した事業所拡張等の支援	0								
	合計	0								
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分	
特別指定区域制度等を活用した規制緩和による事業所建築可能用地の拡大面積	目標	3	3	6	9	12	15	ha	累計	
	実績	—	5.4							
第2期地域創生戦略アクションプラン	1-10・24	達成度	180.0%							
上記指標の設定理由	既存事業所が多数立地し、多額の製造品出荷額を生み出している市街化調整区域内事業所の拡張・移転支援を進めることは、事業継承促進と本市の経済基盤の安定化に繋がるため。									
	目標									
	実績									
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										
	目標									
	実績									
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む									
政策	6 商工業の振興と新展開									
施策	⑰ 創業支援と働く場の拡大									
施策目標・担当部課										
施策目標	Ⅰ 加西インター産業団地整備を進め、企業誘致等について計画的に取り組みます。									
担当部課	部名	都市整備部				課名	開発推進課			
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題							
R3	加西インター産業団地整備事業	941,133	1-2工区は進出企業のリスクバック㈱が新工場の建築工事に着工。 1-1,2,4工区はR2年度に2社の事業協力者と官民連携協定締結。 1-1工区は先行、1期、2期の3期計画とし、R3年度は先行開発を完了。進出企業の㈱千石に引渡し、建築工事に着工。1期開発の進出企業の誘致を進めた。2・4工区は地権者との用地買収を完了。進出企業の誘致を進めた。							
	合計	941,133								
R4	加西インター産業団地整備事業	172,961								
	合計	172,961								
R5	加西インター産業団地整備事業	未定								
	合計	0								
R6	加西インター産業団地整備事業	未定								
	合計	0								
R7	加西インター産業団地整備事業	未定								
	合計	0								
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分	
分譲面積（1-1・1-2・2・4工区）	目標	△	7	14	14	19	23	ha	累計	
	実績	0	7.84							
第2期地域創生戦略アクションプラン	1-09	達成度	112.0%							
上記指標の設定理由	産業団地の分譲面積は、企業誘致等の取組実績を直接的に反映する数値であるため。									
第2期地域創生戦略アクションプラン	目標	△								
	実績									
第2期地域創生戦略アクションプラン	達成度	△								
上記指標の設定理由										
第2期地域創生戦略アクションプラン	目標	△								
	実績									
第2期地域創生戦略アクションプラン	達成度	△								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む									
政策	6 商工業の振興と新展開									
施策	⑱ 雇用・勤労者福祉の充実									
施策目標・担当部課										
施策目標	ア 多様な媒体を通じて就職に関する情報提供を進め、市内における雇用の促進を図ります。									
担当部課	部名	地域振興部			課名	産業振興課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業	経費(千円)			取組実績と今後の課題					
R3	ふるさとハローワークの運営	12,640			インターンシップ促進事業を実施するなど、雇用の促進に努めている。製造業の労働力不足が益々高まる中、採用企業の見せ方、採用の方法など時代に合わせた検討改善の必要がある。また、高校生の採用についても、学校での企業説明会を実施するなど工夫が必要。					
	若者就職支援事業補助（就職ポータルサイトの運営）	1,500								
	雇用安定対策事業補助（JOBフェア開催）	300								
	合計	14,440								自己評価
R4	ふるさとハローワークの運営	14,689			自己評価					
	若者就職支援事業補助（就職ポータルサイトの運営）	1,500								
	雇用安定対策事業補助（JOBフェア開催）	300								
	合計	16,489								
R5	ふるさとハローワークの運営	12,974			自己評価					
	若者就職支援事業補助（就職ポータルサイトの運営）	1,500								
	雇用安定対策事業補助（JOBフェア開催）	300								
	合計	14,774								
R6	ふるさとハローワークの運営	12,974			自己評価					
	若者就職支援事業補助（就職ポータルサイトの運営）	1,500								
	雇用安定対策事業補助（JOBフェア開催）	300								
	合計	14,774								
R7	ふるさとハローワークの運営	12,974			自己評価					
	若者就職支援事業補助（就職ポータルサイトの運営）	1,500								
	雇用安定対策事業補助（JOBフェア開催）	300								
	合計	14,774								
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
就職支援セミナーの開催数		目標		12	12	12	12	12	回	単年
		実績	12	13						
第2期地域創生戦略アクションプラン		1-07	達成度	108.3%						
上記指標の設定理由		兵庫労働局との協定に基づき、求職者向け就職支援セミナーを月1回開催することを目標とする。								
第2期地域創生戦略アクションプラン		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										
第2期地域創生戦略アクションプラン		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む									
政策	6 商工業の振興と新展開									
施策	⑱ 雇用・勤労者福祉の充実									
施策目標・担当部課										
施策目標	イ 関係機関と連携し、若者や高齢者、障がいのある人などの就職に向けた支援を実施します。									
担当部課	部名	地域振興部				課名	産業振興課			
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題							
R3	ふるさとハローワークの運営	12,640	兵庫労働局との雇用対策協定のもと、求職者の就職支援に取り組んでいる。 コロナの影響で、職業講話は、市内1校のみの開催となった。 出張相談においては、相談件数こそ少ないものの、確実に就労に結びつけることができている。							
	若者サポートステーション出張相談の開催	132								
	高校生向け職業講話の実施	0								
	合計	12,772								
			自己評価	B…ほぼ目標を達成						
R4	ふるさとハローワークの運営	14,689								
	若者サポートステーション出張相談の開催	132								
	高校生向け職業講話の実施	0								
	合計	14,821								
			自己評価							
R5	ふるさとハローワークの運営	12,974								
	高校生向け職業講話の実施	0								
	合計	12,974								
R6	ふるさとハローワークの運営	12,974								
	高校生向け職業講話の実施	0								
	合計	12,974								
R7	ふるさとハローワークの運営	12,974								
	高校生向け職業講話の実施	0								
	合計	12,974								
目標を達成するための主な指標 (KPI)										
指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分	
市内事業所高校生新卒正規社員採用者数	目標		70	70	70	70	70	人	単年	
	実績	66	46							
第2期地域創生戦略アクションプラン	1-01	達成度	65.7%							
上記指標の設定理由		高卒者の市外企業への流出が課題となっているため、市内事業所の高校生新卒正規社員採用者数を設定した。								
第2期地域創生戦略アクションプラン	目標									
	実績									
	達成度									
上記指標の設定理由										
第2期地域創生戦略アクションプラン	目標									
	実績									
	達成度									
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策									
基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む								
政策	6 商工業の振興と新展開								
施策	⑱ 雇用・勤労者福祉の充実								
施策目標・担当部課									
施策目標	ウ U J I ターンによる就職・起業など、市外からの就業に向けた取り組みを推進し、定住促進を図ります。								
担当部課	部名	地域振興部			課名	産業振興課			
目標を達成するための具体的な取り組み									
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題						
R3	大学訪問	0	兵庫労働局との雇用対策協定のもと、求職者の就職支援に取り組んでいる。 インターンシップの促進においては、啓発を行うものの実施企業が少ない。選ばれる製造業のイメージづくりと地方への就労希望者を増やす取り組みが必要と思われる。						
	インターンシップ雇用促進モデル事業	849							
	起業・創業スタートアップ支援事業補助	6,000							
	合計	6,849							
R4	大学訪問	0	自己評価						
	ふるさと就職支援事業	800							
	起業・創業スタートアップ支援事業補助	4,500							
	合計	5,300							
R5	大学訪問	0	自己評価						
	ふるさと就職支援事業	800							
	起業・創業スタートアップ支援事業補助	2,000							
	合計	2,800							
R6	大学訪問	0	自己評価						
	ふるさと就職支援事業	800							
	起業・創業スタートアップ支援事業補助	2,000							
	合計	2,800							
R7	大学訪問	0	自己評価						
	ふるさと就職支援事業	800							
	起業・創業スタートアップ支援事業補助	2,000							
	合計	2,800							
目標を達成するための主な指標 (KPI)									
指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
就職支援セミナーの開催数	目標		12	12	12	12	12	回	単年
	実績	12	13						
第2期地域創生戦略アクションプラン	1-07	達成度	108.3%						
上記指標の設定理由	兵庫労働局との協定に基づき、求職者向け就職支援セミナーを月1回開催することを目標とする。								
市内事業所従業員市内居住率	目標		32	34	36	38	40	%	単年
	実績	30	43						
第2期地域創生戦略アクションプラン	1-03	達成度	134.4%						
上記指標の設定理由	特に製造業においては、労働力不足が続いており、市外からも労働力の流入を図る必要があるが、必ずしも定住に直結しているとは言えないため、市内への定着を目指す。								
	目標								
	実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度							
上記指標の設定理由									

基本方針・政策・施策										
基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む									
政策	7 地域資源の活用と人の流れの創出									
施策	⑭ 歴史・文化の再発見と交流拡大									
施策目標・担当部課										
施策目標	ア 歴史文化遺産を活かしたまちづくりと、計画的な保存・活用を推進します。									
担当部課	部名	教育委員会			課名	生涯学習課				
	部名	ふるさと創造部			課名	鶉野未来課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	歴史文化遺産を活かした活動への補助制度の新設			1,000	補助制度を活用し、活用事業9団体・美化事業8団体が、地域文化財の修理・公開・清掃等に取り組んだ。住民主体の文化財の活用・維持による地域活性化を推進出来るよう、さらなる制度の周知を図る。史跡整備においては、クワンス塚古墳の墳丘・外堤部の崩落が確認されたため、令和4年度崩落地点の調査及び緊急修理を実施する。近代戦争遺産調査は、神戸大学と連携し、『加西市近代遺産調査報告書1・2』の印刷製本を行った。本件は継続し実施する。					
	史跡玉丘古墳の整備（整備計画改正）			64						
	近代戦争遺産の調査と資料の拡充			2,000						
	合計			3,064						
R4	歴史文化遺産を活かした活動への補助制度の拡充			1,000	自己評価					
	史跡玉丘古墳群の整備			3,001						
	近代戦争遺産の調査と資料の拡充			900						
	合計			4,901						
R5	歴史文化遺産を活かした活動への補助制度の拡充			1,500	自己評価					
	史跡玉丘古墳群の整備			15,000						
	近代戦争遺産の調査と資料の拡充			未定						
	合計			16,500						
R6	歴史文化遺産を活かした活動への支援			2,000	自己評価					
	史跡玉丘古墳群の整備			27,000						
	近代戦争遺産の調査と資料の拡充			未定						
	合計			29,000						
R7	歴史文化遺産を活かした活動への支援			2,000	自己評価					
	史跡玉丘古墳群の整備			28,500						
	近代戦争遺産の調査と資料の拡充			未定						
	合計			30,500						
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
地域団体等による歴史文化遺産を活かした活動への支援		目標	10	15	20	20	20	件	単年	
		実績	0	17						
第2期地域創生戦略アクションプラン		—	達成度	170.0%						
上記指標の設定理由		地域団体等による歴史文化遺産を活かした活動への支援件数が、目標達成度を見るための指標として適しているため。								
第2期地域創生戦略アクションプラン		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		—	達成度							
上記指標の設定理由										
第2期地域創生戦略アクションプラン		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		—	達成度							
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む									
政策	7 地域資源の活用と人の流れの創出									
施策	⑱ 歴史・文化の再発見と交流拡大									
施策目標・担当部課										
施策目標	ア 歴史文化遺産を活かしたまちづくりと、計画的な保存・活用を推進します。									
担当部課	部名	教育委員会			課名	生涯学習課				
	部名	ふるさと創造部			課名	鶉野未来課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	加西市地域活性化拠点施設建設工事			170,000	加西市地域活性化拠点施設「soraかさい」建設工事・外構工事・駐車場工事、祈念碑移設工事、巨大防空壕駐車場整備工事、巨大防空壕雨水対策整備工事を行った。増加する来訪者の利便性向上を図るとともに近隣住民の生活圏を守る。また、昨年度策定の道の駅基本構想を踏まえ、道の駅整備を推進する基本計画として取りまとめ、さらなる地域振興を図る。					
	加西市地域活性化拠点施設外構・駐車場工事			59,400						
	巨大防空壕駐車場整備工事			2,900						
	巨大防空壕雨水対策整備工事			700						
	鶉野飛行場案内看板設置工事			3,000						
合計			236,000	自己評価	B…ほぼ目標を達成					
R4	地域活性化拠点施設屋外トイレ建設工事			50,000	自己評価					
	爆弾庫活用整備事業			24,000						
	鶉野飛行場活用整備工事（wifi、かろ、看板、機銃模型移設）			10,000						
	RVパーク試行及び基本計画策定業務			3,500						
合計			87,500							
R5	展望施設兼トイレ設計			5,000	自己評価					
	RVパーク設計			3,000						
	滑走路跡LED照明設置			9,350						
	巨大防空壕シアターコンテンツ制作			10,000						
	案内看板設置工事			3,000						
合計			30,350							
R6	展望施設兼トイレ建設工事			100,000	自己評価					
	RVパーク整備			30,000						
	エプロン跡活用整備			10,000						
	コンクリート防空壕活用整備			10,000						
	I型防空壕活用整備			10,000						
合計			160,000							
R7	フィールドミュージアム維持管理委託			3,000	自己評価					
	合計			3,000						
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
鶉野飛行場跡の観光誘客数		目標		40,000	100,000	110,000	115,000	120,000	人	単年
		実績	32,596	20,894						
第2期地域創生戦略アクションプラン		2-01	達成度	52.2%						
上記指標の設定理由		令和4年春にオープンを予定している鶉野フィールドミュージアムの拠点「soraかさい」の整備計画において、施設の完成及び鶉野飛行場線の完成により「soraかさい」の年間来場者数120,000人になるという試算データを参考に設定した。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								

基本方針・政策・施策									
基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む								
政策	7 地域資源の活用と人の流れの創出								
施策	⑭ 歴史・文化の再発見と交流拡大								
施策目標・担当部課									
施策目標	イ 加西市独自の地域資源を活用した観光サービスを展開するとともに、観光拠点のネットワーク化など、観光振興の仕組みづくりにも取り組みます。								
担当部課	部名	ふるさと創造部			課名	文化・観光・スポーツ課			
目標を達成するための具体的な取り組み									
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題						
R3	「気球の飛ばまち加西」の推進	9,300	<気球> 市内企業からの寄附金を活用し、2機目となる気球を製作。2名のパイロット養成を実施。引き続きプロモーションを続ける。<滞在ツアー> 宿泊に導く持続自走型観光コンテンツ造成事業を民間に委託して実施。<サイクル> カサイチfanライド2021を実施し全国から307名が参加した他、デジタルスタンプラリーには246名が参加した。<観光ガイド> 「ふるさと加西の歴史講座」を開講し3名が会員登録。観光協会と共催で「鶴野ガイド養成塾」を開催し33名が受講。<飲食店> ふーど記店舗をめぐるスタンプラリーを開催。6,775件の応募（市内5,499、市外1,276）						
	滞在ツアーの構築	5,000							
	サイクルツーリズムの推進	5,000							
	観光ガイドの育成	800							
	飲食店への誘客	2,000							
	合計	22,100	自己評価	B…ほぼ目標を達成					
R4	「気球の飛ばまち加西」の推進	4,300							
	サイクルツーリズムの推進	2,500							
	観光ガイドの育成	500							
	飲食店への誘客	2,500							
	合計	9,800	自己評価						
R5	「気球の飛ばまち加西」の推進	4,300							
	サイクルツーリズムの推進	2,500							
	観光ガイドの育成	500							
	飲食店への誘客	2,500							
	合計	9,800	自己評価						
R6	「気球の飛ばまち加西」の推進	4,300							
	サイクルツーリズムの推進	2,500							
	観光ガイドの育成	500							
	飲食店への誘客	2,500							
	合計	9,800	自己評価						
R7	「気球の飛ばまち加西」の推進	3,000							
	サイクルツーリズムの推進	3,000							
	観光ガイドの育成	300							
	飲食店への誘客	2,000							
	合計	8,300	自己評価						
目標を達成するための主な指標（KPI）									
指標	区分	基準値(R円)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
加西市内宿泊者数	目標		70	72	74	76	78	千人	単年
	実績	75	53						
第2期地域創生戦略アクションプラン	2-05	達成度	75.7%						
上記指標の設定理由	市内滞在時間すなわち経済波及効果の拡大に繋げるため、毎年2千人の増加を目標とした。								
観光ガイド実施回数	目標		250	270	280	290	300	回	単年
	実績	212	200						
第2期地域創生戦略アクションプラン	2-04	達成度	80.0%						
上記指標の設定理由	市民ガイドがおもてなしの精神で観光客を案内し、加西市をより深く理解していただける仕組み作りにつなげるための指標として、適しているため。								
「加西ふーど記」登録店舗数	目標		65	70	75	75	80	店	累計
	実績	75	95						
第2期地域創生戦略アクションプラン	1-20	達成度	146.2%						
上記指標の設定理由	市最大の飲食店ネットワークの構築度合いを計り、観光と連動した経済促進活動の拡大につなげるため、毎年5店舗の増加を目標とした。								

基本方針・政策・施策										
基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む									
政策	7 地域資源の活用と人の流れの創出									
施策	⑭ 歴史・文化の再発見と交流拡大									
施策目標・担当部課										
施策目標	ウ 北条旧市街地の活性化や市内宿泊施設の活用などを進め、まちのにぎわいづくりに取り組みます。									
担当部課	部名	地域振興部				課名	きてみて住んで課			
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題							
R3	空き家活用支援事業（事業所型）	2,250	R3年度に活用候補となる旧市街地内の空き家を2件、空き家バンクに新たに登録したが、空き家を事業所として改修を行う事業は令和3年度においては無かった（内1件は住宅用地として成約）。引き続き、活用候補となる物件を空き家バンクに登録していくと同時に、起業を検討している相談者に支援制度の周知を図っていく。							
	合計	2,250								
R4	空き家活用支援事業（事業所型）	2,250								
	合計	2,250								
R5	空き家活用支援事業（事業所型）	2,250								
	合計	2,250								
R6	空き家活用支援事業（事業所型）	2,250								
	合計	2,250								
R7	空き家活用支援事業（事業所型）	2,250								
	合計	2,250								
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分	
空き家・空き店舗助成数	目標	0	1	2	3	4	5	件	累計	
	実績	0	0							
第2期地域創生戦略アクションプラン	2-12	達成度	0.0%							
上記指標の設定理由	旧市街地の空き家等を改修し、店舗や事業所等として活用していくことが、にぎわいづくりにつながると考え、改修費用の助成件数を指標とし、毎年1件の実施を目標値した。									
第2期地域創生戦略アクションプラン	目標	0								
	実績									
第2期地域創生戦略アクションプラン	達成度	0								
上記指標の設定理由										
第2期地域創生戦略アクションプラン	目標	0								
	実績									
第2期地域創生戦略アクションプラン	達成度	0								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む									
政策	7 地域資源の活用と人の流れの創出									
施策	⑳ 移住・定住の支援									
施策目標・担当部課										
施策目標	ア 転出の抑制と移住の促進のため、奨学金返還補助など各種支援に取り組みます。									
担当部課	部名	ふるさと創造部				課名	人口増政策課			
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題							
R3	U J I ターン促進補助金	12,000	令和元年度より所得制限を設けたことにより、令和2年度以降の新規申請者数が減少している。各種移住施策を総合的にPRすることで、本制度利用者数の増加を図る。							
	合計	12,000								
R4	U J I ターン促進補助金	11,000								
	合計	11,000								
R5	U J I ターン促進補助金	12,000								
	合計	12,000								
R6	U J I ターン促進補助金	13,000								
	合計	13,000								
R7	U J I ターン促進補助金	14,000								
	合計	14,000								
目標を達成するための主な指標 (KPI)										
指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分	
U J I ターン者数 (新規申請者数)	目標		57	60	63	66	69	人	単年	
	実績	54	32							
第2期地域創生戦略アクションプラン	1-06	達成度	56.1%							
上記指標の設定理由	新たに「UJIターン促進補助金」の交付を受けたUJIターン者を指標とし、年間3名の増加を目標としました。									
第2期地域創生戦略アクションプラン	目標									
	実績									
	達成度									
上記指標の設定理由										
第2期地域創生戦略アクションプラン	目標									
	実績									
	達成度									
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策									
基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む								
政策	7 地域資源の活用と人の流れの創出								
施策	⑳ 移住・定住の支援								
施策目標・担当部課									
施策目標	イ 若者の住居確保をサポートする取り組みを推進します。								
担当部課	部名	地域振興部			課名	きてみて住んで課			
目標を達成するための具体的な取り組み									
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題						
R3	若者定住促進住宅補助事業	40,000	若者定住促進住宅補助事業については、目標件数を達成した。一方で、新婚世帯向け家賃補助事業と新結婚新生活支援事業は目標件数を下回っており、婚姻数や新婚世帯の転入件数を増やしていく必要があるため、子育て支援のPRに併せて、本制度についても様々な方法で周知を図っていく。						
	新婚世帯向け家賃補助事業	18,000							
	結婚新生活支援事業	4,000							
	合計	62,000							
R4	若者定住促進住宅補助事業	40,000	自己評価						
	新婚世帯向け家賃補助事業	19,000							
	結婚新生活支援事業	4,400							
	合計	63,400							
R5	若者定住促進住宅補助事業	40,000	自己評価						
	新婚世帯向け家賃補助事業	19,700							
	結婚新生活支援事業	5,000							
	合計	64,700							
R6	若者定住促進住宅補助事業	40,000	自己評価						
	新婚世帯向け家賃補助事業	20,400							
	結婚新生活支援事業	5,400							
	合計	65,800							
R7	若者定住促進住宅補助事業	40,000	自己評価						
	新婚世帯向け家賃補助事業	21,100							
	結婚新生活支援事業	6,000							
	合計	67,100							
目標を達成するための主な指標 (KPI)									
指標	区分	基準値(R円)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
加西市若者世帯持家促進補助金助成件数	目標	△	80	80	80	80	80	件	単年
	実績		67	80					
第2期地域創生戦略アクションプラン	3-21	達成度	100.0%						
上記指標の設定理由	若者世帯の定住人口を把握するための指標として、市内に住宅を新築・購入して居住する若者世帯に対して補助を行う本制度の受給者数を使用するもので、過去の実績から目標値を設定した。								
新婚世帯向け家賃補助金新規助成件数	目標	△	48	55	60	65	70	件	単年
	実績		39	36					
第2期地域創生戦略アクションプラン	3-22	達成度	75.0%						
上記指標の設定理由	若者世帯の定住促進状況を把握するための指標として、市内の民間賃貸住宅に居住する新婚世帯に対して家賃を補助する本制度の受給数を使用するもので、市内に居住する新婚世帯を毎年5件以上増やしていくことを目標とした。								
結婚新生活支援事業補助金助成件数	目標	△	20	22	25	27	30	件	単年
	実績		-	5					
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	25.0%						
上記指標の設定理由	若者の結婚にかかる初期費用（新居の敷金・礼金や引越費用）を補助する本制度の受給者数を使用するもので、市内に居住する新婚世帯を毎年2～3件ずつ（補助対象者の約50%が該当するため）増やしていくことを目標とした。								

基本方針・政策・施策										
基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む									
政策	7 地域資源の活用と人の流れの創出									
施策	㊹ 移住・定住の支援									
施策目標・担当部課										
施策目標	ウ 若い世代の定住を促進するため、若者の夢の実現を支える支援を進めます。									
担当部課	部名	地域振興部			課名	きてみて住んで課				
	部名	ふるさと創造部			課名	ふるさと創造課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	移住相談（随時）			0	新型コロナウイルス感染症による地方への移住の流れに合わせて、移住希望者の住まいの主な候補となる空き家の積極的なバンク登録の実施や、移住定住特設サイトの新設により、当初の予定より大幅に相談件数を伸ばすことができました。					
	合計			0						
R4	移住定住相談業務（委託）			2,500	自己評価					
	古民家再生お試し居住による地域交流活性化事業			12,000						
	合計			14,500						
						A…目標を上回って達成				
R5	移住定住相談業務（委託）			2,500	自己評価					
	古民家再生お試し居住による地域交流活性化事業			36,000						
	合計			38,500						
R6	移住定住相談業務（委託）			2,500	自己評価					
	古民家再生お試し居住による地域交流活性化事業			13,000						
	合計			15,500						
R7	移住定住相談業務（委託）			2,500	自己評価					
	合計			2,500						
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
お試し滞在施設設置数		目標	0	0	1	1	2	2	件	累計
		実績	0	0						
第2期地域創生戦略アクションプラン		—	達成度	0.0%						
上記指標の設定理由		空き家を活用した中・長期間滞在できるお試し滞在施設を設置することで、若者の移住定住促進につなげていくこととし、R4・R6年度にそれぞれ1件ずつ設置することを目標とした。								
移住相談件数		目標	160	170	180	190	200	件	単年	
		実績	152	327						
第2期地域創生戦略アクションプラン		2-08	達成度	204.4%						
上記指標の設定理由		移住定住の促進状況の指標として、移住相談件数を使用するもので、コロナ禍の影響により地方への移住希望者が増加することを考慮し、相談件数を年間10件ずつ増やすことを目標とした。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン			達成度							
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む									
政策	7 地域資源の活用と人の流れの創出									
施策	⑳ 移住・定住の支援									
施策目標・担当部課										
施策目標	ウ 若い世代の定住を促進するため、若者の夢の実現を支える支援を進めます。									
担当部課	部名	地域振興部			課名	きてみて住んで課				
	部名	ふるさと創造部			課名	ふるさと創造課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業				経費(千円)	取組実績と今後の課題				
R3	若者チャレンジ事業				400	申請数は近年と比較して増加した。増加理由としては、ふるさと創造課をはじめとする別事業の関係者への周知ができたためと考えている。更なる周知に努める。				
									
	合計				400					
R4	若者チャレンジ事業				500					
									
	合計				500					
R5	若者チャレンジ事業				500					
									
	合計				500					
R6	若者チャレンジ事業				500					
									
	合計				500					
R7	若者チャレンジ事業				500					
									
	合計				500					
目標を達成するための主な指標 (KPI)										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
若者チャレンジ助成件数		目標	1	4	5	5	5	5	件	単年
		実績	1	3						
第2期地域創生戦略アクションプラン		1-12	達成度	75.0%						
上記指標の設定理由		若者チャレンジ助成件数をあげることが、本事業の推進状況を図る最もよい指標になるため。								
		目標	1							
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン			達成度	1						
上記指標の設定理由										
		目標	1							
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン			達成度	1						
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策									
基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む								
政策	7 地域資源の活用と人の流れの創出								
施策	㊸ 空き家・空き店舗の利活用								
施策目標・担当部課									
施策目標	ア 関係団体との連携のもと、空き家相談体制の強化や空き家バンク制度の定着を図ります。								
担当部課	部名	地域振興部			課名	きてみて住んで課			
目標を達成するための具体的な取り組み									
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題						
R3	空き家バンク事業	132	空き家所有者へのアンケート実施や、不動産事業者への声掛け等、物件のバンク登録に向けた積極的な取り組みを実施した。その結果、物件のバンク新規登録数は目標を大幅に超え、家財道具等処分支援補助事業も11件実施し、成約数も25件（R2は10件）と大きく増加した。また、え〜がい加西と連携し、定期相談会を5回開催した。また、地域と連携した空き家相談を実施するために西在田地区でセミナーを開催した。						
	空き家家財道具等処分支援補助事業	1,000							
	え〜がい加西による空き家相談（個別、定期相談会）	250							
	合計	1,382							
			自己評価	A…目標を上回って達成					
R4	空き家バンク事業	0							
	空き家家財道具等処分支援補助事業	1,100							
	え〜がい加西による空き家相談（個別、定期相談会）	250							
	合計	1,350							
			自己評価						
R5	空き家バンク事業	0							
	空き家家財道具等処分支援補助事業	1,200							
	え〜がい加西による空き家相談（個別、定期相談会）	250							
	合計	1,450							
			自己評価						
R6	空き家バンク事業	0							
	空き家家財道具等処分支援補助事業	1,300							
	え〜がい加西による空き家相談（個別、定期相談会）	250							
	合計	1,550							
			自己評価						
R7	空き家バンク事業	0							
	空き家家財道具等処分支援補助事業	1,500							
	え〜がい加西による空き家相談（個別、定期相談会）	250							
	合計	1,750							
			自己評価						
目標を達成するための主な指標（KPI）									
指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
空き家バンク新規登録数	目標	15	15	15	15	15	15	件	単年
	実績	13	36						
第2期地域創生戦略アクションプラン	2-10	達成度	240.0%						
上記指標の設定理由	市内空き家の利活用の促進状況の指標として、空き家バンク新規登録数を使用するもので、令和元年度の実績以上の15件を目標値とした。								
「え〜がい加西」相談引渡件数	目標	5	5	5	5	5	5	件	単年
	実績	4	5						
第2期地域創生戦略アクションプラン	2-11	達成度	100.0%						
上記指標の設定理由	空き家相談体制強化の指標として、市内の専門家により組織された「え〜がい加西」に相談を引き渡した件数を使用するもので、令和元年度の実績件数から、年間5件を目標値とした。								
	目標								
	実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度							
上記指標の設定理由									

基本方針・政策・施策																		
基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む																	
政策	7 地域資源の活用と人の流れの創出																	
施策	㊸ 空き家・空き店舗の利活用																	
施策目標・担当部課																		
施策目標	イ 空き家・空き店舗を幅広く活用したまちづくりを進めます。																	
担当部課	部名	地域振興部				課名	きてみて住んで課											
目標を達成するための具体的な取り組み																		
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題															
R3	空き家改修補助事業	2,000	空き家バンクの物件登録件数や成約数の大幅な増加に合わせて、空き家改修補助事業も目標件数を大きく超えることができた。															
	合計	2,000									自己評価	A…目標を上回って達成						
R4	空き家改修補助事業	2,500																
	合計	2,500									自己評価							
R5	空き家改修補助事業	2,500																
	合計	2,500									自己評価							
R6	空き家改修補助事業	3,000																
	合計	3,000									自己評価							
R7	空き家改修補助事業	3,000																
	合計	3,000									自己評価							
目標を達成するための主な指標 (KPI)																		
指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分									
空き家改修補助事業助成件数	目標	4	4	5	5	6	6	件	単年									
	実績	4	7															
第2期地域創生戦略アクションプラン	2-09	達成度	175.0%															
上記指標の設定理由	空き家の利活用や加西市への移住定住促進状況の指標として、空き家の改修費用を補助する本制度の助成数を使用するもので、令和元年度の実績から、R3年度を4件とし、さらに段階的に増やしていくことを目標とした。																	
第2期地域創生戦略アクションプラン	目標	4																
	実績																	
第2期地域創生戦略アクションプラン	達成度	4																
上記指標の設定理由																		
第2期地域創生戦略アクションプラン	目標	4																
	実績																	
第2期地域創生戦略アクションプラン	達成度	4																
上記指標の設定理由																		

基本方針・政策・施策										
基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む									
政策	7 地域資源の活用と人の流れの創出									
施策	㊸ 空き家・空き店舗の利活用									
施策目標・担当部課										
施策目標	ウ 移住・定住の促進を目的として、お試し居住や社宅利用、事務所、リモートワーク等に適した空き家・空き店舗の活用を図ります。									
担当部課	部名	地域振興部				課名	きてみて住んで課			
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題							
R3	お試し滞在補助制度	200	移住相談件数の増加に合わせて、お試し滞在補助制度の件数も増加した。一方で、緊急事態宣言やまん延防止期間と重なり、利用者が申請を取りやめるケースもあったため、感染状況が落ち着けば、さらに件数は増加するものとする。							
	合計	200								
		自己評価								
R4	お試し滞在補助制度	200								
	合計	200								
		自己評価								
R5	お試し滞在補助制度	240								
	合計	240								
		自己評価								
R6	お試し滞在補助制度	240								
	合計	240								
		自己評価								
R7	お試し滞在補助制度	280								
	合計	280								
		自己評価								
目標を達成するための主な指標 (KPI)										
指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分	
お試し滞在補助金	目標		5	5	6	6	7	件	単年	
	実績	1	4							
第2期地域創生戦略アクションプラン	2-07	達成度	80.0%							
上記指標の設定理由	移住定住の促進状況の指標として、市内宿泊施設を利用したお試し滞在を補助する本事業の件数を使用するもので、コロナ禍の影響による地方への移住の流れがあるため、R3年度を5件とし、段階的に増やしていくことを目標とした。									
第2期地域創生戦略アクションプラン	目標									
	実績									
第2期地域創生戦略アクションプラン	達成度									
上記指標の設定理由										
第2期地域創生戦略アクションプラン	目標									
	実績									
第2期地域創生戦略アクションプラン	達成度									
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策									
基本方針	3 快適に暮らせる安全な社会をつくる								
政策	8 市民が安全・安心に暮らせる環境の充実								
施策	② 防災・感染症対策の充実								
施策目標・担当部課									
施策目標	ア 防災訓練や災害対策に関する情報提供、災害時要援護者の登録促進や防災リーダーの育成を図り、防災体制の強化に取り組みます。								
担当部課	部名	総務部			課名	危機管理課			
目標を達成するための具体的な取り組み									
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題				
R3	要援護者台帳の更新・個別支援計画の策定			300	防災ネットは昨年度は火災情報、外国語自動翻訳を含めて241件のメール配信を行っており、効果的に情報発信を行っていると言える。要援護者台帳の更新については、新規追加調査を行ったことから台帳登載者が増加した。個別支援計画の策定については、令和3年に災害対策基本法に努力義務規定されたことから、今後とも積極的に取り組んでいきたい。				
	防災ネット等使用料			1,570					
	県防災ネットワーク運営協議会分担金			840					
	情報伝達システム実施設計単価更正費委託料			1,000					
	合計			3,710					
R4	要援護者台帳の更新・個別支援計画の策定			300					
	防災ネット等使用料			1,570					
	県防災ネットワーク運営協議会分担金			840					
	コミュニティ無線工事			未定					
	合計			2,710					
R5	要援護者台帳の更新・個別支援計画の策定			300					
	防災ネット等使用料			1,570					
	県防災ネットワーク運営協議会分担金			840					
	コミュニティ無線工事			未定					
	情報伝達システム実施設計委託料			未定					
合計			2,710	自己評価					
R6	要援護者台帳の更新・個別支援計画の策定			300					
	防災ネット等使用料			1,570					
	県防災ネットワーク運営協議会分担金			840					
	情報伝達システム工事			未定					
	合計			2,710					
R7	要援護者台帳の更新・個別支援計画の策定			300					
	防災ネット等使用料			1,570					
	県防災ネットワーク運営協議会分担金			840					
	情報伝達システム工事			未定					
	合計			2,710					
目標を達成するための主な指標 (KPI)									
指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
災害時要援護者台帳登載率	目標		67.0	68.0	69.0	70.0	71.0	%	単年
	実績	52.8	70.2						
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	104.8%						
上記指標の設定理由	災害時要援護者名簿における県内の市町村平均登録率が70.3%であるため、それを上回る水準を目標とした。								
第2期地域創生戦略アクションプラン	目標								
	実績								
	達成度								
上記指標の設定理由									
第2期地域創生戦略アクションプラン	目標								
	実績								
	達成度								
上記指標の設定理由									

基本方針・政策・施策										
基本方針	3 快適に暮らせる安全な社会をつくる									
政策	8 市民が安全・安心に暮らせる環境の充実									
施策	② 防災・感染症対策の充実									
施策目標・担当部課										
施策目標	イ 自主防災組織の活動促進や地域の消防団への支援等、地域防災力の向上に努めます。									
担当部課	部名	総務部				課名	危機管理課			
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	自主防災訓練費補助			500	令和3年度は新型コロナウイルス感染症の関係で土のう作り訓練が年2回実施予定が1回のみとなり、自主防災訓練補助もコロナ禍前には20~30件の申請があったが、令和3年度は11件の申請に留まっている。逆に資機材整備費は、例年増加傾向にあり、地元の防災設備の更新でかなり需要があると言える。今後は、感染症対策と防災訓練の共存を図る必要があると考える。					
	資器材整備費補助			2,010						
	土のう作り訓練			495						
	合計			3,005						
				自己評価						
R4	自主防災訓練費補助			500	自己評価					
	資器材整備費補助			2,010						
	土のう作り訓練			495						
	合計			3,005						
				自己評価						
R5	自主防災訓練費補助			500	自己評価					
	資器材整備費補助			2,010						
	土のう作り訓練			495						
	合計			3,005						
				自己評価						
R6	自主防災訓練費補助			500	自己評価					
	資器材整備費補助			2,010						
	土のう作り訓練			495						
	合計			3,005						
				自己評価						
R7	自主防災訓練費補助			500	自己評価					
	資器材整備費補助			2,010						
	土のう作り訓練			495						
	合計			3,005						
				自己評価						
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R円)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
防災訓練・研修回数		目標		71	72	73	74	75	回	単年
		実績	57	55						
第2期地域創生戦略アクションプラン		4-16	達成度	77.5%						
上記指標の設定理由		平成29年度から令和元年度の実績平均が74.3であるため、それを上回る水準を目標としました。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン			達成度							
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン			達成度							
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策																
基本方針	3 快適に暮らせる安全な社会をつくる															
政策	8 市民が安全・安心に暮らせる環境の充実															
施策	② 防災・感染症対策の充実															
施策目標・担当部課																
施策目標	ウ 関係機関との連携体制を強化し、情報共有及び感染症患者の入院受入体制の確保等に取り組みます。															
担当部課	部名	加西病院			課名	病院総務課										
	部名	健康福祉部			課名	健康課										
目標を達成するための具体的な取り組み																
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題											
R3	県加東健康福祉事務所と情報共有の実施			0	令和3年度は前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症への対応を行い、その情報を加東健康福祉事務所と共有した。 地域の感染状況に対応するため、新型コロナウイルス感染症患者の受入れ病床を増床（年度当初は17床、5月に2床増、9月にさらに2床増、計21床）し、対応した。											
	合計			0							自己評価	A…目標を上回って達成				
	県加東健康福祉事務所と情報共有の実施			0												
R4	合計			0	自己評価											
	県加東健康福祉事務所と情報共有の実施			0												
	R5	合計									0	自己評価				
県加東健康福祉事務所と情報共有の実施			0													
R6		合計								0	自己評価					
	県加東健康福祉事務所と情報共有の実施									0						
	R7	合計			0	自己評価										
県加東健康福祉事務所と情報共有の実施			0													
合計			0							自己評価						
目標を達成するための主な指標（KPI）																
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分						
感染症病床数		目標	6	6	6	6	6	6	床	単年						
		実績	6	21												
第2期地域創生戦略アクションプラン		—	達成度	350.0%												
上記指標の設定理由		地域医療を下支えする公立病院の役割として、地域の感染症に対応のできる体制を維持することが必要であるため、感染症病床数が適していると判断した。														
第2期地域創生戦略アクションプラン		目標														
		実績														
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度														
上記指標の設定理由																
第2期地域創生戦略アクションプラン		目標														
		実績														
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度														
上記指標の設定理由																

基本方針・政策・施策										
基本方針	3 快適に暮らせる安全な社会をつくる									
政策	8 市民が安全・安心に暮らせる環境の充実									
施策	② 防災・感染症対策の充実									
施策目標・担当部課										
施策目標	ウ 関係機関との連携体制を強化し、情報共有及び感染症患者の入院受入体制の確保等に取り組みます。									
担当部課	部名	加西病院			課名	病院総務課				
	部名	健康福祉部			課名	新型コロナウイルスワクチン接種対策室				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業			0	初回接種は、5月から集団接種、6月から個別接種を開始。10月末に集団接種を終了、個別接種は継続。3回目の追加接種は12月から開始し現在継続中。接種にあたっては集団接種に加え、個別接種による接種体制の確保、おまかせ予約やLINE予約などアクセシビリティ向上に努めている。今後は、国から、早期に、明確な長期方針が示されることを希望する。事業が長期化すると集団接種会場の確保が課題となる。					
	合計			0	自己評価	A…目標を上回って達成				
R4										
	合計			0	自己評価					
R5										
	合計			0	自己評価					
R6										
	合計			0	自己評価					
R7										
	合計			0	自己評価					
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
接種率（年度末の2回目接種率：VRS登録を母数）		目標	70.0%						%	
		実績	83.7%							
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度	119.6%							
上記指標の設定理由		新型コロナウイルス感染症の発症予防、重症化予防のためには、速やかな接種を行う必要があり、指標としては一番直接的なものと思われる。								
集団接種体制（初回接種週あたり最大接種回数）		目標	1200						回	
		実績	2989							
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度	249.1%							
上記指標の設定理由		新型コロナウイルス感染症の発症予防、重症化予防のためには、速やかな接種を行う必要があり、接種体制の確保状況は、その指標として適当と思われる。								
個別接種体制（初回接種週あたり最大接種回数）		目標	40						回	
		実績	1441							
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度	3602.5%							
上記指標の設定理由		新型コロナウイルス感染症の発症予防、重症化予防のためには、速やかな接種を行う必要があり、接種体制の確保状況は、その指標として適当と思われる。								

基本方針・政策・施策														
基本方針	3 快適に暮らせる安全な社会をつくる													
政策	8 市民が安全・安心に暮らせる環境の充実													
施策	② 防犯・交通安全の向上													
施策目標・担当部課														
施策目標	ア 防犯灯や防犯カメラなどの機器設置に加え、地域と連携した見守り体制の強化により、安全安心な地域づくりに取り組みます。													
担当部課	部名	総務部			課名	危機管理課								
	部名	都市整備部			課名	土木課								
目標を達成するための具体的な取り組み														
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題									
R3	防犯灯設置事業			8,000	防犯灯については、令和2年度326灯、令和3年度5灯を設置し、市内設置数がほぼ一巡したことから、今後は保守に重点を置いた事業展開になっていくことが考えられる。また、電柱がなく設置が困難な場所への設置を検討する。防犯カメラ設置事業については、地元自治会からの要望も多いため補助事業を継続する。市が市内交差点に設置する防犯カメラについては、設置可能な主要交差点への設置は完了しており、今後は、保守に重点を置いた事業となる。									
	防犯カメラ設置事業			2,400										
	合計			10,400						自己評価	A…目標を上回って達成			
R4	防犯灯設置事業			8,000										
	防犯カメラ設置事業			2,400										
	合計			10,400						自己評価				
R5	防犯灯設置事業			8,000										
	防犯カメラ設置事業			2,400										
	合計			10,400						自己評価				
R6	防犯灯設置事業			8,000										
	防犯カメラ設置事業			2,400										
	合計			10,400						自己評価				
R7	防犯灯設置事業			8,000										
	防犯カメラ設置事業			2,400										
	合計			10,400						自己評価				
目標を達成するための主な指標 (KPI)														
指標		区分	基準値(R円)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分				
LED防犯灯設置数		目標		4,700	5,000	5,300	5,600	5,900	灯	累計				
		実績	4,158	4,839										
第2期地域創生戦略アクションプラン		—	達成度	103.0%										
上記指標の設定理由		市民並びに各種協議会により、設置の要望が多いことから、毎年300灯を市内各所に計画的に増設する。												
防犯カメラ設置数		目標		47	50	55	60	65	台	累計				
		実績	38	50										
第2期地域創生戦略アクションプラン		—	達成度	106.4%										
上記指標の設定理由		各種団体の要望のあった場所や、危険交差点に計画的に設置して行きます。												
第2期地域創生戦略アクションプラン			達成度											
上記指標の設定理由														

基本方針・政策・施策															
基本方針	3 快適に暮らせる安全な社会をつくる														
政策	8 市民が安全・安心に暮らせる環境の充実														
施策	② 防犯・交通安全の向上														
施策目標・担当部課															
施策目標	ア 防犯灯や防犯カメラなどの機器設置に加え、地域と連携した見守り体制の強化により、安全安心な地域づくりに取り組みます。														
担当部課	部名	総務部				課名	危機管理課								
	部名	都市整備部				課名	土木課								
目標を達成するための具体的な取り組み															
年度	事業				経費(千円)	取組実績と今後の課題									
R3	街灯り事業の推進				7,000	街灯り事業では、市内の必要箇所に防犯灯を31器設置した。引き続き年間25機の設置を目指す。 今後の課題としては、予算の確保と執行体制の強化が必要である。									
	合計				7,000						自己評価	C…目標を下回っている			
	街灯り事業の推進				7,000										
R4	街灯り事業の推進				7,000										
	合計				7,000										
	街灯り事業の推進				7,000										
R5	街灯り事業の推進				7,000										
	合計				7,000										
	街灯り事業の推進				7,000										
R6	街灯り事業の推進				7,000										
	合計				7,000										
	街灯り事業の推進				7,000										
R7	街灯り事業の推進				7,000										
	合計				7,000										
	街灯り事業の推進				7,000										
目標を達成するための主な指標（KPI）															
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分					
主要道路の照明器具台数		目標		50	75	100	125	150	灯	累計					
		実績	0	31											
第2期地域創生戦略アクションプラン		—	達成度	62.0%											
上記指標の設定理由		市内主要道路を中心に、年間25灯の増設を目指す。													
		目標													
		実績													
第2期地域創生戦略アクションプラン			達成度												
上記指標の設定理由															
		目標													
		実績													
第2期地域創生戦略アクションプラン			達成度												
上記指標の設定理由															

基本方針・政策・施策									
基本方針	3 快適に暮らせる安全な社会をつくる								
政策	8 市民が安全・安心に暮らせる環境の充実								
施策	②③ 防犯・交通安全の向上								
施策目標・担当部課									
施策目標	イ 警察や交通安全協会等との連携をより強化することで交通安全に関する活動を推進する体制を充実させ、交通事故のないまちを目指します。								
担当部課	部名	総務部			課名	危機管理課			
目標を達成するための具体的な取り組み									
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題						
R3	自転車保険加入事業	1,804	令和3年度については、加西市内の中学生951名を対象とした、自転車保険加入事業を実施した。 交通安全教室については、新型コロナウイルス感染拡大状況を考慮しながら、市内こども園、小中学校において実施する。なお小学校4校で前記事由により実施できなかった。						
	交通安全教室の開催支援	0							
	合計	1,804							
R4	自転車保険加入事業	1,804	自己評価						
	交通安全教室の開催支援	0							
	合計	1,804							
R5	自転車保険加入事業	1,804	自己評価						
	交通安全教室の開催支援	0							
	合計	1,804							
R6	自転車保険加入事業	1,804	自己評価						
	交通安全教室の開催支援	0							
	合計	1,804							
R7	自転車保険加入事業	1,804	自己評価						
	交通安全教室の開催支援	0							
	合計	1,804							
目標を達成するための主な指標 (KPI)									
指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
交通事故件数	目標		1,400	1,370	1,350	1,320	1,300	件	単年減少指標
	実績	1,466	1,262						
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	109.9%						
上記指標の設定理由	小中高等学校を対象とした交通安全教室を実施するなど、交通安全運動を通して交通事故の撲滅を図る。								
第2期地域創生戦略アクションプラン	目標								
	実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン	達成度								
上記指標の設定理由									
第2期地域創生戦略アクションプラン	目標								
	実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン	達成度								
上記指標の設定理由									

基本方針・政策・施策									
基本方針	3 快適に暮らせる安全な社会をつくる								
政策	8 市民が安全・安心に暮らせる環境の充実								
施策	㊸ 市民相談・消費者保護の充実								
施策目標・担当部課									
施策目標	ア 市民の様々な悩みごとに対応するため、市民相談体制の充実を図ります。								
担当部課	部名	ふるさと創造部			課名	ふるさと創造課			
目標を達成するための具体的な取り組み									
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題						
R3	市民相談事業	4,137	土地の境界、家族間の問題、相続等日常生活上の様々なトラブルや悩みを抱える相談者の気持ちに寄り添いながら対応する。 また、高齢者の健康問題や生活苦、野焼き、騒音等行政への相談については、話しを伺い関係部署へ案内する。						
	合計	4,137							
R4	市民相談事業	4,137							
	合計	4,137							
R5	市民相談事業	4,137							
	合計	4,137							
R6	市民相談事業	4,137							
	合計	4,137							
R7	市民相談事業	4,137							
	合計	4,137							
目標を達成するための主な指標 (KPI)									
指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
市民相談件数	目標		150	150	150	150	150	件	単年
	実績	142	150						
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	100.0%						
上記指標の設定理由	市民相談件数をあげることが、本事業の推進状況を図る最もよい指標になると考えるため目標とした。								
第2期地域創生戦略アクションプラン	目標								
	実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン	達成度								
上記指標の設定理由									
第2期地域創生戦略アクションプラン	目標								
	実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン	達成度								
上記指標の設定理由									

基本方針・政策・施策									
基本方針	3 快適に暮らせる安全な社会をつくる								
政策	8 市民が安全・安心に暮らせる環境の充実								
施策	㊸ 市民相談・消費者保護の充実								
施策目標・担当部課									
施策目標	イ 複雑化する消費者被害を防止するため、消費者問題の啓発や情報提供に努めるとともに消費生活相談体制の充実を図ります。								
担当部課	部名	ふるさと創造部			課名	ふるさと創造課			
目標を達成するための具体的な取り組み									
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題						
R3	消費生活相談事業	5,034	若干、消費者相談の件数が減っている。また、消費者講座については、参加者が少なくなっているため講座の内容や方法を検討する必要がある。						
	消費者問題への啓発活動、講座	400							
	合計	5,434							
		自己評価							
R4	消費生活相談事業	6,045	自己評価						
	消費者問題への啓発活動、講座	400							
	合計	6,445							
		自己評価							
R5	消費生活相談事業	6,045	自己評価						
	消費者問題への啓発活動、講座	400							
	合計	6,445							
		自己評価							
R6	消費生活相談事業	6,045	自己評価						
	消費者問題への啓発活動、講座	400							
	合計	6,445							
		自己評価							
R7	消費生活相談事業	5,034	自己評価						
	消費者問題への啓発活動、講座	400							
	合計	5,434							
		自己評価							
目標を達成するための主な指標 (KPI)									
指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
消費生活相談件数	目標		300	300	300	300	300	件	単年
	実績	311	290						
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	96.7%						
上記指標の設定理由	消費生活相談件数をあげることが、本事業の推進状況を図る最もよい指標になると考えるため目標とした。								
	目標								
	実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度							
上記指標の設定理由									
	目標								
	実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度							
上記指標の設定理由									

基本方針・政策・施策																
基本方針	3 快適に暮らせる安全な社会をつくる															
政策	9 快適な都市空間の創出															
施策	㊸ 住環境の整備															
施策目標・担当部課																
施策目標	ア 市街化区域内の未利用地の流動化や土地区画整理事業区域内の住宅化利用の促進を図ることにより、住宅地の供給に取り組むとともに、新たな住宅地の開発を支援します。															
担当部課	部名	総務部			課名	管財課										
	部名	都市整備部			課名	都市計画課（開発推進課）										
目標を達成するための具体的な取り組み																
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題											
R3	北条西保育所跡地売却			0	北条町横尾市有地は、令和3年11月に登記完了 北条西保育所跡地等については、市のホームページを活用し情報発信を行い、購入希望者を募っている。											
	北条西保育所跡地売却（駐車場）			0												
	北条町横尾市有地売却			0												
	合計			0							自己評価	C…目標を下回っている				
R4	北条西保育所跡地売却			0												
	北条西保育所跡地売却（駐車場）			0												
	合計			0							自己評価					
	合計			0							自己評価					
R5	合計			0	自己評価											
	合計			0	自己評価											
	合計			0	自己評価											
	合計			0	自己評価											
R6	合計			0	自己評価											
	合計			0	自己評価											
	合計			0	自己評価											
	合計			0	自己評価											
R7	合計			0	自己評価											
	合計			0	自己評価											
	合計			0	自己評価											
	合計			0	自己評価											
目標を達成するための主な指標（KPI）																
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分						
遊休市街地の積極的な売却		目標	3	3	0	0	0	0	件	単年						
		実績	2	1												
第2期地域創生戦略アクションプラン		—	達成度	33.3%												
上記指標の設定理由		売却予定の物件数を目標とした。														
		目標	3													
		実績														
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度	33.3%													
上記指標の設定理由																
		目標	3													
		実績														
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度	33.3%													
上記指標の設定理由																

基本方針・政策・施策										
基本方針	3 快適に暮らせる安全な社会をつくる									
政策	9 快適な都市空間の創出									
施策	㊟ 住環境の整備									
施策目標・担当部課										
施策目標	ア 市街化区域内の未利用地の流動化や土地区画整理事業区域内の住宅化利用の促進を図ることにより、住宅地の供給に取り組むとともに、新たな住宅地の開発を支援します。									
担当部課	部名	総務部			課名	管財課				
	部名	都市整備部			課名	都市計画課（開発推進課）				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	民間開発による住宅団地整備の推進			0	西高室土地区画整理事業はR2年度の事業完了後も換地部分も順調に宅地化が進んでいる。商業施設の立地など土地利用が進む中野・下宮木地区では、更なる宅地化を促進するための区画道路4号線の工事に着手した（R4年度完成予定）					
	土地区画整理事業区域内での住宅化利用の促進			0						
	中野・下宮木地区の将来へ向けたまちづくり事業			40,000						
	合計			40,000						自己評価
R4	民間開発による住宅団地整備の推進			0	自己評価					
	土地区画整理事業区域内での住宅化利用の促進			0						
	中野・下宮木地区の将来へ向けたまちづくり事業			51,300						
	合計			51,300						
R5	民間開発による住宅団地整備の推進			0	自己評価					
	土地区画整理事業区域内での住宅化利用の促進			0						
	中野・下宮木地区の将来へ向けたまちづくり事業			36,300						
	合計			36,300						
R6	民間開発による住宅団地整備の推進			0	自己評価					
	土地区画整理事業区域内での住宅化利用の促進			0						
	合計			0						
	合計			0						
R7	民間開発による住宅団地整備の推進			0	自己評価					
	土地区画整理事業区域内での住宅化利用の促進			0						
	合計			0						
	合計			0						
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R円)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
市内戸建て新築住宅建築確認受付件数		目標		80	82	85	87	90	戸	単年
		実績	115	95						
第2期地域創生戦略アクションプラン		3-19	達成度	118.8%						
上記指標の設定理由		住宅団地整備だけでなく小規模低未利用地における住宅立地促進を含め住宅地供給増を進めるため、建築確認受付件数が適している。								
中野地区新築住宅建築確認受付件数		目標		0	0	5	10	20	戸	累計
		実績	—	3						
第2期地域創生戦略アクションプラン		3-20	達成度	100.0%						
上記指標の設定理由		中野町上山地区の住・商・工バランスよく配置するまちづくり計画の進展と、周辺市街地の土地利用促進を合わせた目標にしているため、建築確認受付件数が適している。								
中野・鶉野地区事業所建築確認受付件数		目標		1	2	3	4	5	件	累計
		実績	—	8						
第2期地域創生戦略アクションプラン		3-20	達成度	800.0%						
上記指標の設定理由		中野町上山地区の住・商・工バランスよく配置するまちづくり計画の進展と、令和2年度末に市街化区域に編入した隣接する鶉野地区の土地利用促進を合わせた目標としているため、建築確認受付件数が適している。								
西高室土地整理事業地区の住宅戸数		目標		100	140	180	220	250	戸	累計
		実績	70	160						
第2期地域創生戦略アクションプラン		3-28	達成度	160.0%						
上記指標の設定理由		住宅戸数は住宅地供給の取組実績を直接的に反映するため								

基本方針・政策・施策									
基本方針	3 快適に暮らせる安全な社会をつくる								
政策	9 快適な都市空間の創出								
施策	㊸ 住環境の整備								
施策目標・担当部課									
施策目標	イ 市街化調整区域における特別指定区域制度や地区計画制度の活用、線引きの見直し等、規制緩和に向けた働きかけにより地域の活力再生を図ります。								
担当部課	部名	都市整備部			課名	都市計画課			
目標を達成するための具体的な取り組み									
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題						
R3	特別指定区域制度等を活用した住宅、事業所建築の推進	0	産業施設が集積している畑町の三木穴栗線沿道について、事業所の敷地拡張、新規進出が可能になる「工場、店舗等周辺区域 県道三木穴栗線沿道産業集積型」の指定を受けた。また、別府中町、東野田町において地域の小規模な事業所の建築のため「地域活力再生等区域 地縁者小規模事業所型」の指定を受けた。 R4年度中の指定を目指して、空き家の活用促進、地域で働く方も地縁者に加える、新規居住者区域の指定地区増を目指して、住宅系における加西市独自基準の策定について協議を進めた。						
	合計	0	自己評価	D…目標を大きく下回っている					
R4	特別指定区域制度等を活用した住宅、事業所建築の推進	0							
	合計	0	自己評価						
R5	特別指定区域制度等を活用した住宅、事業所建築の推進	0							
	合計	0	自己評価						
R6	特別指定区域制度等を活用した住宅、事業所建築の推進	0							
	合計	0	自己評価						
R7	特別指定区域制度等を活用した住宅、事業所建築の推進	0							
	合計	0	自己評価						
目標を達成するための主な指標（KPI）									
指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
特別指定区域制度を利用した建築許可申請受付件数	目標	40	40	40	40	40	40	件	単年
	実績	39	25						
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	62.5%						
上記指標の設定理由	新しい加西市独自ルール適用を含めた特別指定区域指定の市内全面見直しと周辺地域まちづくりに係る地区計画の策定を検討しており、施策実施後に建築許可増が期待されるため、適していると判断した。								
第2期地域創生戦略アクションプラン	目標	40							
	実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン	達成度	40							
上記指標の設定理由									
第2期地域創生戦略アクションプラン	目標	40							
	実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン	達成度	40							
上記指標の設定理由									

基本方針・政策・施策										
基本方針	3 快適に暮らせる安全な社会をつくる									
政策	9 快適な都市空間の創出									
施策	㊸ 住環境の整備									
施策目標・担当部課										
施策目標	ウ 北条市街地の空き家対策と狭あい道路の整備を行い、住環境整備による定住促進を図ります。									
担当部課	部名	都市整備部				課名	都市計画課			
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題							
R3	北条市街地住環境整備の推進	5,350	道路拡幅工事2件、測量登記1件、用地提供奨励金3件、空き家除却1件を実施した。また、R4年度以降に実施したい対象地の検討と協議を行った。							
	合計	5,350								
R4	北条市街地住環境整備の推進	5,350								
	合計	5,350								
R5	北条市街地住環境整備の推進	5,350								
	合計	5,350								
R6	北条市街地住環境整備の推進	5,350								
	合計	5,350								
R7	北条市街地住環境整備の推進	5,350								
	合計	5,350								
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分	
狭あい道路整備、老朽危険空き家撤去等の実施件数	目標		6	12	18	24	30	件	累計	
	実績	—	7							
第2期地域創生戦略アクションプラン	2-13	達成度	116.7%							
上記指標の設定理由	狭あい道路整備等の実施は、住環境整備の効果として期待されるため、適している。									
第2期地域創生戦略アクションプラン	目標									
	実績									
第2期地域創生戦略アクションプラン	達成度									
上記指標の設定理由										
第2期地域創生戦略アクションプラン	目標									
	実績									
第2期地域創生戦略アクションプラン	達成度									
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策																	
基本方針	3 快適に暮らせる安全な社会をつくる																
政策	9 快適な都市空間の創出																
施策	㊸ 住環境の整備																
施策目標・担当部課																	
施策目標	Ⅰ 高齢化にも対応した住環境づくりに向けて、関係機関とも連携しながらユニバーサルデザインに基づくまちづくりを推進します。																
担当部課	部名	健康福祉部				課名	福祉企画課										
目標を達成するための具体的な取り組み																	
年度	事業	経費(千円)		取組実績と今後の課題													
R3	バリアフリーマップ作成について検討	0		県の基準に該当する市内公共施設に対して状況を照会し、とりまとめた。 来年度は基準外の公共施設に対しても整備状況を照会する。													
	合計	0									自己評価	B…ほぼ目標を達成					
R4	作成するバリアフリーマップの目的の整理	0															
	合計	0									自己評価						
R5	庁内連携体制の構築	0															
	合計	0									自己評価						
R6	関係する事業者や障害者等との連携体制の構築	0															
	合計	0									自己評価						
R7	協議会等の開催やアンケート・ヒアリングを実施	2,000															
	合計	2,000									自己評価						
目標を達成するための主な指標 (KPI)																	
指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分								
バリアフリーマップの進捗率	目標	20	20	40	60	80	100	%	単年								
	実績	0	20														
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	100.0%														
上記指標の設定理由	バリアフリーマップを作成するにあたり、計画立てて作業を進めるため目標とした。																
第2期地域創生戦略アクションプラン	目標																
	実績																
	達成度																
上記指標の設定理由																	
第2期地域創生戦略アクションプラン	目標																
	実績																
	達成度																
上記指標の設定理由																	

基本方針・政策・施策										
基本方針	3 快適に暮らせる安全な社会をつくる									
政策	9 快適な都市空間の創出									
施策	㊸ 住環境の整備									
施策目標・担当部課										
施策目標	オ 地域住民と行政の協働により、北条旧市街地の歴史的街並みなど景観の保全に努めます。									
担当部課	部名	都市整備部			課名	都市計画課				
	部名	都市整備部			課名	土木課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	県指定歴史的景観形成地区内の景観保全に係る調整			0	景観形成地区内における建築行為について適切な指導を行った。					
	合計			0	自己評価	D…目標を大きく下回っている				
	県指定歴史的景観形成地区内の景観保全に係る調整			0						
R4	県指定歴史的景観形成地区内の景観保全に係る調整			0						
	合計			0	自己評価					
	県指定歴史的景観形成地区内の景観保全に係る調整			0						
R5	県指定歴史的景観形成地区内の景観保全に係る調整			0						
	合計			0	自己評価					
	県指定歴史的景観形成地区内の景観保全に係る調整			0						
R6	県指定歴史的景観形成地区内の景観保全に係る調整			0						
	合計			0	自己評価					
	県指定歴史的景観形成地区内の景観保全に係る調整			0						
R7	県指定歴史的景観形成地区内の景観保全に係る調整			0						
	合計			0	自己評価					
	県指定歴史的景観形成地区内の景観保全に係る調整			0						
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
県指定歴史的景観形成地区内の建築届出件数		目標	4	5	5	5	5	5	件	単年
		実績	4	3						
第2期地域創生戦略アクションプラン		—	達成度	60.0%						
上記指標の設定理由		建築物の建築時において景観保全に係る調整を行うことになるため、適している。								
		目標	4							
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度	4							
上記指標の設定理由										
		目標	4							
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度	4							
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策														
基本方針	3 快適に暮らせる安全な社会をつくる													
政策	9 快適な都市空間の創出													
施策	㊸ 住環境の整備													
施策目標・担当部課														
施策目標	オ 地域住民と行政の協働により、北条旧市街地の歴史的街並みなど景観の保全に努めます。													
担当部課	部名	都市整備部			課名	都市計画課								
	部名	都市整備部			課名	土木課								
目標を達成するための具体的な取り組み														
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題									
R3	石畳風舗装の施工			13,001	北条旧市街地の歴史的街並みの景観保全のため、石畳風舗装を179mにわたり整備した。 引き続き年間80mの舗装実施を目指す。									
	合計			13,001						自己評価	B…ほぼ目標を達成			
	合計			13,001						自己評価	B…ほぼ目標を達成			
R4	石畳風舗装の施工			7,000										
	合計			7,000						自己評価				
	合計			7,000						自己評価				
R5	石畳風舗装の施工			7,000										
	合計			7,000						自己評価				
	合計			7,000						自己評価				
R6	石畳風舗装の施工			7,000										
	合計			7,000						自己評価				
	合計			7,000						自己評価				
R7	石畳風舗装の実施			7,000										
	合計			7,000						自己評価				
	合計			7,000						自己評価				
目標を達成するための主な指標 (KPI)														
指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分					
石畳風舗装の実施延長	目標		740	820	900	980	1,060	m	累計					
	実績	566	745											
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	101%											
上記指標の設定理由	北条旧市街地の主要市道を中心に、年間80mの石畳風舗装の実施を目指す。													
	目標													
	実績													
第2期地域創生戦略アクションプラン	達成度													
上記指標の設定理由														
	目標													
	実績													
第2期地域創生戦略アクションプラン	達成度													
上記指標の設定理由														

基本方針・政策・施策									
基本方針	3 快適に暮らせる安全な社会をつくる								
政策	9 快適な都市空間の創出								
施策	㊸ 地球に優しい環境都市の創造								
施策目標・担当部課									
施策目標	ア 地球温暖化問題への対応として、地球環境に配慮した循環型かつ脱炭素社会の構築を推進します。								
担当部課	部名	生活環境部			課名	環境課			
目標を達成するための具体的な取り組み									
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題						
R3	普及啓発費用	0	リサイクル事業については、コスト費用を抑えながら、国の施策に準じ新規のリサイクル品目（廃プラスチックリサイクル）の追加検討を行っていきたい。 また、地球温暖化対策事業については、「エネルギーの地産地消が実現された脱炭素のまちかさい」の実現に向けた2050年までの脱炭素シナリオや再エネ導入目標の設定、経営層に向けてのセミナー、市民への補助を実施した。 太陽光発電設備の設置に伴う自然災害や景観等への懸念が指摘されているため、今後は再エネの普及促進と自然環境との調和を考えていく必要がある。						
	新エネルギー設備設置補助（蓄電池補助）	1,717							
	電気自動車導入補助	1,300							
	リサイクル関連事業	49,090							
	脱炭素地域循環共生圏構築事業	9,350							
	合計	61,457	自己評価	B…ほぼ目標を達成					
R4	普及啓発費用	50	自己評価						
	新エネルギー設備設置補助（太陽光発電設備+蓄電池又は蓄電池設置補助）	3,000							
	電気自動車導入補助	1,500							
	リサイクル関連事業	57,552							
	地域再エネ導入ゾーニング事業	16,800							
	合計	78,902							
R5	普及啓発費用	50	自己評価						
	新エネルギー設備設置補助（太陽光発電設備+蓄電池又は蓄電池設置補助）	3,800							
	電気自動車導入補助	2,000							
	リサイクル関連事業	43,000							
	合計	48,850							
R6	普及啓発費用	50	自己評価						
	新エネルギー設備設置補助（太陽光発電設備+蓄電池又は蓄電池設置補助）	3,800							
	電気自動車導入補助	2,500							
	リサイクル関連事業	43,000							
	合計	49,350							
R7	普及啓発費用	640	自己評価						
	新エネルギー設備設置補助（蓄電池補助）	6,000							
	電気自動車導入補助	1,000							
	リサイクル関連事業	42,028							
	合計	49,668							
目標を達成するための主な指標（KPI）									
指標	区分	基準値(R円)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
市域の温室効果ガス排出量	目標		420	400	390	380	370	千t-co2	単年 減少指標
	実績	441	368						
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	112.4%						
上記指標の設定理由	2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにするゼロカーボンシティを表明したことにより指標として最適であると判断し目標とした。								
市内の太陽光発電設備導入量	目標		113,400	115,300	117,100	118,900	120,800	kw	単年
	実績	109,732	124,944						
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	110.2%						
上記指標の設定理由	指標として市域のエネルギー消費量等も検討したが、企業のエネルギー消費量は社会情勢に影響を受けやすいことから、市内の太陽光発電設備導入量の方がより取組に合った効果の反映が期待されるため目標とした。								
市民一人あたり1日のごみ排出量	目標		796	789	781	774	766	g	単年 減少指標
	実績	793	811						
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	98.1%						
上記指標の設定理由	ごみの減量とリサイクルを進め、循環型社会の構築を図り、生活環境への負担の低減を図るため、適していると判断し目標とした。								

基本方針・政策・施策										
基本方針	3 快適に暮らせる安全な社会をつくる									
政策	9 快適な都市空間の創出									
施策	㊸ 地球に優しい環境都市の創造									
施策目標・担当部課										
施策目標	イ 田園・ため池・森林など豊かな緑と調和した景観の保全に努め、地域と共に生物多様性に育まれた自然環境づくりを推進します。									
担当部課	部名	生活環境部			課名	環境課				
	部名	都市整備部			課名	都市計画課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業				経費(千円)	取組実績と今後の課題				
R3	普及啓発事業				6	普及啓発事業では、人と自然の博物館へのバスツアーを実施した。動植物生態調査事業では、年次計画に沿って6地点の詳細調査を実施した。野生生物保護地区保全事業では周遍寺野生生物保護地区でカタクリを保全するために日照不足を改善するために支障となっている高木等の伐採を実施した。今後も市内の貴重な生物多様性を保全するためには、普及啓発事業や計画的な動植物生態調査が必要となる。				
	動植物生態調査事業				1,166					
	野生生物保護地区保全事業				1,000					
	合計				2,172					
R4	普及啓発事業				131	自己評価				
	動植物生態調査事業				1,000					
	野生生物保護地区保全事業				1,000					
	合計				2,131					
R5	普及啓発事業				131	自己評価				
	動植物生態調査事業				1,000					
	合計				1,131					
	合計				1,131					
R6	普及啓発事業				131	自己評価				
	動植物生態調査事業				1,000					
	合計				1,131					
	合計				1,131					
R7	普及啓発事業				335	自己評価				
	合計				335					
	合計				335					
	合計				335					
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
動植物生態調査実施個所数		目標	6	9	12	15	15	箇所	累計	
		実績	2	8						
第2期地域創生戦略アクションプラン		—	達成度	133.3%						
上記指標の設定理由		市内の貴重な生物多様性を効率的に保全するためには、優先的・重点的に保全すべき場所を抽出したうえで現状の詳細調査を実施する必要があることから指標として最適である。								
第2期地域創生戦略アクションプラン		目標							箇所	累計
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		—	達成度							
上記指標の設定理由										
第2期地域創生戦略アクションプラン		目標							箇所	累計
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		—	達成度							
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	3 快適に暮らせる安全な社会をつくる									
政策	9 快適な都市空間の創出									
施策	⑳ 地球に優しい環境都市の創造									
施策目標・担当部課										
施策目標	イ 田園・ため池・森林など豊かな緑と調和した景観の保全に努め、地域と共に生物多様性に育まれた自然環境づくりを推進します。									
担当部課	部名	生活環境部			課名	環境課				
	部名	都市整備部			課名	都市計画課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	市開発調整条例に基づく事前協議による調整			0	条例に規定する対象事業の実施における事前協議において調整を行った。					
	合計			0	自己評価	B…ほぼ目標を達成				
	市開発調整条例に基づく事前協議による調整			0						
R4	市開発調整条例に基づく事前協議による調整			0						
	合計			0	自己評価					
	市開発調整条例に基づく事前協議による調整			0						
R5	市開発調整条例に基づく事前協議による調整			0						
	合計			0	自己評価					
	市開発調整条例に基づく事前協議による調整			0						
R6	市開発調整条例に基づく事前協議による調整			0						
	合計			0	自己評価					
	市開発調整条例に基づく事前協議による調整			0						
R7	市開発調整条例に基づく事前協議による調整			0						
	合計			0	自己評価					
	市開発調整条例に基づく事前協議による調整			0						
目標を達成するための主な指標 (KPI)										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
市開発調整条例事前協議受付件数		目標		20	20	20	20	20	件	単年
		実績	17	21						
第2期地域創生戦略アクションプラン		—	達成度	105.0%						
上記指標の設定理由		市開発調整条例に基づく事前協議において調整を行うこととなるため。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン			達成度							
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン			達成度							
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策									
基本方針	3 快適に暮らせる安全な社会をつくる								
政策	9 快適な都市空間の創出								
施策	⑳ 地球に優しい環境都市の創造								
施策目標・担当部課									
施策目標	ウ 加西の風土や文化を活かした環境学習を実施し、自然の大切さの理解を深めます。								
担当部課	部名	教育委員会			課名	学校教育課			
目標を達成するための具体的な取り組み									
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題						
R3	環境体験学習（小学3年生）	1,942	地域の里山で動植物の観察や身近な川や池の水質調査、水辺の生き物調査、豆や綿の栽培や米作りに取り組んだ。また、網引湿原の見学及び保全活動には、加西市内の多くの小学校（11校中9校）が参画し、生息する希少水生動植物の生態を学び、ふるさとに愛着をもち、自然を大切にしようとする心情を育んだ。さらには、小・中学校ともに、活動の舞台を地域に広げ、ゴミ拾いや清掃など地域の環境美化に働きかける学習に取り組んだ。今後も、児童生徒が探究心をもって身近な環境に立ち止まり、SDGsの観点を踏まえた次世代型環境学習を進めていきたい。						
	環境学習（小・中学校）	0							
	地域教材を活用した学習（小・中学校）	0							
	合計	1,942							
R4	環境体験学習（小学3年生）	1,942							
	環境学習（小・中学校）	0							
	地域教材を活用した学習（小・中学校）	0							
	合計	1,942							
R5	環境体験学習（小学3年生）	1,942							
	環境学習（小・中学校）	0							
	地域教材を活用した学習（小・中学校）	0							
	合計	1,942							
R6	環境体験学習（小学3年生）	1,942							
	環境学習（小・中学校）	0							
	地域教材を活用した学習（小・中学校）	0							
	合計	1,942							
R7	環境体験学習（小学3年生）	1,942							
	環境学習（小・中学校）	0							
	地域教材を活用した学習（小・中学校）	0							
	合計	1,942							
目標を達成するための主な指標（KPI）									
指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
環境学習実施校数	目標	15	15	15	15	15	15	校	単年
	実績	15	15						
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	100.0%						
上記指標の設定理由	持続可能な社会の実現をめざして、児童生徒一人一人が主体的に行動する力を育成することを目標とするため。								
第2期地域創生戦略アクションプラン	目標								
	実績								
	達成度								
上記指標の設定理由									
第2期地域創生戦略アクションプラン	目標								
	実績								
	達成度								
上記指標の設定理由									

基本方針・政策・施策									
基本方針	3 快適に暮らせる安全な社会をつくる								
政策	10 安全性と利便性が確保された都市基盤の整備								
施策	㊲ 道路・河川の整備・維持管理								
施策目標・担当部課									
施策目標	ア 国道372号や主要幹線道をはじめとする道路網を整備するとともに、通学路・ガードレール等の安全施設の整備を行います。								
担当部課	部名	都市整備部			課名	土木課			
目標を達成するための具体的な取り組み									
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題						
R3	市道鶉野飛行場場線・豊倉日吉線の新設改良	359,918	市道鶉野飛行場場線(道路改良工事) 豊倉日吉線 (実施設計) 市道中野網引線 (実施設計) 市道草刈り補助事業(123町) 道路修繕工事 (68件発注) 修繕要望が増加しており、市道の老朽化も進んでいる。予算・人員の増強が必須である。						
	市道中野網引線の通学路整備	7,942							
	市道草刈り補助事業	13,669							
	道路修繕工事	93,225							
	合計	474,754							
R4	市道鶉野飛行場場線・豊倉日吉線の新設改良	669,688	自己評価						
	市道中野網引線の通学路整備	18,766							
	市道草刈り補助事業	18,000							
	道路修繕・改良工事	167,000							
	合計	873,454							
R5	市道豊倉日吉線の新設改良	40,000	自己評価						
	市道中野網引線の通学路整備	20,000							
	市道草刈り補助事業	18,000							
	道路修繕・改良工事	165,000							
	合計	243,000							
R6	市道中野網引線の通学路整備	20,000	自己評価						
	市道草刈り補助事業	18,000							
	道路修繕・改良工事	165,000							
	合計	203,000							
	合計	203,000							
R7	市道中野網引線の通学路整備	20,000	自己評価						
	市道草刈り補助事業	18,000							
	道路修繕・改良工事	100,000							
	合計	138,000							
	合計	138,000							
目標を達成するための主な指標 (KPI)									
指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
主要幹線道路の整備延長	目標		2.4	3.9	4.9	4.9	4.9	km	累計
	実績	0	0.97						
第2期地域創生戦略アクションプラン	4-01	達成度	40.4%						
上記指標の設定理由	市道鶉野飛行場場線・豊倉日吉線の計画的な事業実施により、幹線道路 (L=4.9km)の早期開通を目指すため目標とした。								
歩道設置の総延長	目標		0	0	0.3	0.6	0.9	km	累計
	実績	0	0						
第2期地域創生戦略アクションプラン	4-01	達成度	0.0%						
上記指標の設定理由	市道中野網引線の通学路整備(L=900m)を計画的に実施するため目標とした。								
	目標								
	実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度							
上記指標の設定理由									

基本方針・政策・施策																		
基本方針	3 快適に暮らせる安全な社会をつくる																	
政策	10 安全性と利便性が確保された都市基盤の整備																	
施策	㉗ 道路・河川の整備・維持管理																	
施策目標・担当部課																		
施策目標	イ 河川や橋梁の維持管理の強化及び未改修河川の整備を進めます。																	
担当部課	部名	都市整備部				課名	土木課											
目標を達成するための具体的な取り組み																		
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題															
R3	市道橋梁の点検・補修の実施	36,727	安全確保のため、橋梁点検49か所、橋梁補修3橋を実施した。また、河川のしゅんせつ要望にも計画的に対応していくこととしている。															
	合計	36,727									自己評価	A…目標を上回って達成						
R4	市道橋梁の点検・補修の実施	58,000																
	合計	58,000									自己評価							
R5	市道橋梁の点検・補修の実施	35,000																
	合計	35,000									自己評価							
R6	市道橋梁の点検・補修の実施	35,000																
	合計	35,000									自己評価							
R7	市道橋梁の点検・補修の実施	35,000																
	合計	35,000									自己評価							
目標を達成するための主な指標（KPI）																		
指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分									
市道橋梁の補修工事の件数	目標	—	2	4	6	8	10	橋	累計									
	実績	—	3															
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	150.0%															
上記指標の設定理由	市道橋約250橋について、5年毎の定期点検を行うとともに、補修箇所が発見されたもの（年間2橋を予定）については、早期の補修を行うため目標とした。																	
第2期地域創生戦略アクションプラン	目標	—																
	実績	—																
第2期地域創生戦略アクションプラン	達成度	—																
上記指標の設定理由																		
第2期地域創生戦略アクションプラン	目標	—																
	実績	—																
第2期地域創生戦略アクションプラン	達成度	—																
上記指標の設定理由																		

基本方針・政策・施策									
基本方針	3 快適に暮らせる安全な社会をつくる								
政策	10 安全性と利便性が確保された都市基盤の整備								
施策	㉗ 道路・河川の整備・維持管理								
施策目標・担当部課									
施策目標	ウ 都市公園等の計画的な管理と保全により、活用を促進します。								
担当部課	部名	都市整備部			課名	都市計画課			
目標を達成するための具体的な取り組み									
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題						
R3	都市公園・一般公園の適正管理	23,433	芝生広場にザイルクライミング、エンドレスターザンロープなど小学校高学年向け遊具を設置、じゃぶじゃぶ池を改修し水遊びができる人工芝生広場と噴水を設置、新田池西側の遊歩道沿いにトイレ1基を設置するなど、幅広い年齢層の利用者に向けた満足度向上に努めた。ローラー滑り台のローラー交換、踊り場改修など、遊具の安全性向上に努めた。日常の草刈り、清掃など適正管理を行った。						
	合計	23,433	自己評価	A…目標を上回って達成					
R4	都市公園・一般公園の適正管理	22,482							
	合計	22,482	自己評価						
R5	都市公園・一般公園の適正管理	22,482							
	合計	22,482	自己評価						
R6	都市公園・一般公園の適正管理	22,482							
	合計	22,482	自己評価						
R7	都市公園・一般公園の適正管理	22,482							
	合計	22,482	自己評価						
目標を達成するための主な指標（KPI）									
指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
丸山総合公園の利用者数	目標		32,500	33,000	33,500	34,000	34,500	人	単年
	実績	31,396	46,042						
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	141.7%						
上記指標の設定理由	市外からも多くの方が訪れる丸山総合公園に対象に絞ることで施策が効果的に反映できるため。								
第2期地域創生戦略アクションプラン	目標								
	実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン	達成度								
上記指標の設定理由									
第2期地域創生戦略アクションプラン	目標								
	実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン	達成度								
上記指標の設定理由									

基本方針・政策・施策									
基本方針	3 快適に暮らせる安全な社会をつくる								
政策	10 安全性と利便性が確保された都市基盤の整備								
施策	㊸ 上下水道の整備・維持管理								
施策目標・担当部課									
施策目標	ア 上下水道事業の効率化、安定化、適正化を進め、持続可能な経営を行います。								
担当部課	部名	生活環境部			課名	上下水道管理課			
目標を達成するための具体的な取り組み									
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題						
R3	兵庫県企業庁・市川町との受水量・単価交渉	0	市川町との受水交渉により令和7年度をもって受水を終了することになり、将来的に受水費が低減される見込みである。 また、前年度に引き続き、水洗化促進補助金交付制度を活用し、未水洗化家屋のうち22戸が新たに水洗化を実施した。						
	水洗化補助金の交付	3,100							
	合計	3,100							
R4	兵庫県企業庁・市川町との受水量・単価交渉	0							
	水洗化補助金の交付	9,600							
	合計	9,600							
R5	兵庫県企業庁・市川町との受水量・単価交渉	0							
	水洗化補助金の交付	10,000							
	合計	10,000							
R6	兵庫県企業庁・市川町との受水量・単価交渉	0							
	水洗化補助金の交付	10,000							
	合計	10,000							
R7	兵庫県企業庁・市川町との受水量・単価交渉	0							
	水洗化補助金の交付	10,000							
	合計	10,000							
目標を達成するための主な指標 (KPI)									
指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
給水原価	目標		199.4	199.1	198.8	198.5	198.2	円/m ³	単年 減少指標
	実績	199.7	199.3						
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	100.1%						
上記指標の設定理由	水道事業の効率経営を数値化するにあたり、給水原価がより取組に合った効果の反映が期待されるため目標とした。								
水洗化率	目標		92.4	92.7	93	93.3	93.6	%	単年
	実績	92.1	92.9						
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	100.5%						
上記指標の設定理由	降雨量等気象条件の影響を受けやすいことから、水洗化率がより取組に合った効果の反映が期待されるため目標とした。								
	目標								
	実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度							
上記指標の設定理由									

基本方針・政策・施策									
基本方針	3 快適に暮らせる安全な社会をつくる								
政策	10 安全性と利便性が確保された都市基盤の整備								
施策	㊸ 上下水道の整備・維持管理								
施策目標・担当部課									
施策目標	イ 上下水道施設の計画的な整備・改修と施設の統廃合を進め、安全な水の供給と安定的な下水処理に努めます。								
担当部課	部名	生活環境部			課名	上下水道課			
目標を達成するための具体的な取り組み									
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題						
R3	水道管路の耐震管への更新事業	0	水道管路の耐震管への更新事業については、計画に基づき順次実施していくこととなり、R3年度は実績なしとなる。 下水統廃合事業については、R2年度に坂本町地区、R3年度には在田地区南部の接続を実施している。						
	下水の処理施設の統廃合事業	248,000							
	合計	248,000							
R4	水道管路の耐震管への更新事業	23,000							
	下水の処理施設の統廃合事業	170,000							
	合計	193,000							
R5	水道管路の耐震管への更新事業	55,000							
	下水の処理施設の統廃合事業	136,200							
	合計	191,200							
R6	水道管路の耐震管への更新事業	67,000							
	下水の処理施設の統廃合事業	85,300							
	合計	152,300							
R7	水道管路の耐震管への更新事業	67,000							
	下水の処理施設の統廃合事業	75,400							
	合計	142,400							
目標を達成するための主な指標 (KPI)									
指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
水道管耐震管率 (耐震管路延長/水道管路延長)	目標		5.85	6.03	6.20	6.38	6.55	%	単年
	実績	5.85	6.1						
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	104.3%						
上記指標の設定理由	事業実施計画(R03～R07)により目標とした。								
下水の処理施設の統廃合施設数	目標		3	3	3	3	4	施設	累計
	実績	1	3						
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	100.0%						
上記指標の設定理由	事業実施計画(R03～R07)により目標とした。								
	目標								
	実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度							
上記指標の設定理由									

基本方針・政策・施策									
基本方針	3 快適に暮らせる安全な社会をつくる								
政策	10 安全性と利便性が確保された都市基盤の整備								
施策	㊸ 公共交通の充実								
施策目標・担当部課									
施策目標	ア 地域の实情に応じた道路交通網の整備や公共交通の導入等を通じて、利便性の高い生活ネットワークを構築します。また、配慮を必要とする方への公共交通利用に関する支援や、わかりやすい情報提供にも取り組みます。								
担当部課	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課			
目標を達成するための具体的な取り組み									
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題						
R3	バスロケーションシステム事業	3,958	分かりやすく利用しやすい情報提供のため、市内施設3か所にデジタルサイネージを追加設置した。また、R2年度に整備したバスロケーションシステムの機能を拡張し、携帯端末等でのバス位置情報等を閲覧可能とするシステムの構築を行った。公共交通ガイド「かさいおでかけナビ」を作成し、北条鉄道、コミバス、路線バス、高速バスなどの時刻表や市内の公共施設、商業施設などへの交通機関でのアクセスを掲載するなど、分かりやすく利用しやすい情報提供に努めた。						
	総合時刻表作成事業	1,870							
	合計	5,828							
R4	バスロケーションシステム事業	402							
	総合時刻表作成事業	2,200							
	地域公共交通計画策定調査事業	5,000							
合計	7,602								
R5	バスロケーションシステム事業	402							
	総合時刻表作成事業	2,200							
	合計	2,602							
R6	バスロケーションシステム事業	402							
	総合時刻表作成事業	2,400							
	合計	2,802							
R7	バスロケーションシステム事業	402							
	総合時刻表作成事業	2,400							
	合計	2,802							
目標を達成するための主な指標（KPI）									
指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
コミュニティバス等の利用者数	目標		32	34	36	38	40	千人	単年
	実績	31.5	26.4						
第2期地域創生戦略アクションプラン	3-01-4-03	達成度	82.5%						
上記指標の設定理由	利用者が安心、安全に利用できる公共交通を目指し、分かりやすい情報発信や利便性の向上したダイヤルート改正、地域主体型交通の導入支援などを行い、利用者の増加を図ることを目的とするため目標設定した。								
	目標								
	実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度							
上記指標の設定理由									
	目標								
	実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度							
上記指標の設定理由									

基本方針・政策・施策										
基本方針	3 快適に暮らせる安全な社会をつくる									
政策	10 安全性と利便性が確保された都市基盤の整備									
施策	㊸ 公共交通の充実									
施策目標・担当部課										
施策目標	イ 北条鉄道の利便性の高い利用環境の整備のため、経営支援と利用促進策を実施します。									
担当部課	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業	経費(千円)		取組実績と今後の課題						
R3	北条鉄道利用促進事業	680		R2年度に引き続き、北条鉄道通勤定期購入特典キャンペーンを実施し、新規定期購入者の増加に努めた。鉄道安全輸送設備（枕木交換、踏切保安設備更新）、車両等整備に対する支援を行った。また、新車両（キハ40形）の導入に当たり車両購入・整備に対し補助を行った。北条鉄道の経常損失部分に対して、運営費補助を行った。						
	北条鉄道設備等整備費補助事業	36,985								
	北条鉄道運営補助事業	22,420								
	合計	60,085								自己評価
R4	北条鉄道利用促進事業	1,500		自己評価						
	北条鉄道設備等整備費補助事業	27,000								
	北条鉄道運営補助事業	23,000								
	合計	51,500								
R5	北条鉄道利用促進事業	1,500		自己評価						
	北条鉄道設備等整備費補助事業	27,000								
	北条鉄道運営補助事業	23,000								
	合計	51,500								
R6	北条鉄道利用促進事業	1,500		自己評価						
	北条鉄道設備等整備費補助事業	27,000								
	北条鉄道運営補助事業	23,000								
	合計	51,500								
R7	北条鉄道利用促進事業	1,500		自己評価						
	北条鉄道設備等整備費補助事業	27,000								
	北条鉄道運営補助事業	23,000								
	合計	51,500								
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
北条鉄道の輸送人員数		目標		300	320	340	360	380	千人	単年
		実績	334	339						
第2期地域創生戦略アクションプラン	4-02	達成度		113.0%						
上記指標の設定理由		市内唯一の鉄軌道の維持確保のため、様々な利用促進施策を行うことで、乗車人数の増加を図ることを目的とするため目標とした。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策									
基本方針	3 快適に暮らせる安全な社会をつくる								
政策	10 安全性と利便性が確保された都市基盤の整備								
施策	㊸ 公共交通の充実								
施策目標・担当部課									
施策目標	ウ 各種バスの増便やバス停周辺の整備等を推進し、利用しやすい環境づくりに取り組みます。								
担当部課	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課			
目標を達成するための具体的な取り組み									
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題						
R3	公共交通結節点整備事業	10,108	九会地区における4つの交通軸（市外連携軸・まちなか巡回軸・市内連携軸・地域内交通）が結節する地域拠点施設の整備を行った。日吉地区ふるさと創造会議が地域主体型交通「ひよたく」の運行をR4.3より開始した。宇仁郷まちづくり協議会「宇仁ふれあいバス」の運行に係る経常損益額に対し補助を行った。富田・賀茂地区にて地域主体型交通導入に向けた住民アンケート調査を実施した。						
	地域主体型交通導入支援事業	11,271							
	合計	21,379							
R4	公共交通結節点整備事業	2,000	自己評価						
	地域主体型交通導入支援事業	13,000							
	合計	15,000							
R5	公共交通結節点整備事業	12,000	自己評価						
	地域主体型交通導入支援事業	13,000							
	合計	25,000							
R6	公共交通結節点整備事業	2,000	自己評価						
	地域主体型交通導入支援事業	17,000							
	合計	19,000							
R7	公共交通結節点整備事業	12,000	自己評価						
	地域主体型交通導入支援事業	17,000							
	合計	29,000							
目標を達成するための主な指標（KPI）									
指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
公共交通結節点整備箇所	目標	△	2	2	3	3	4	カ所	累計
	実績	1	2						
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	100.0%						
上記指標の設定理由	地域主体型交通の導入を支援していく中で、既存の路線バスやコマバスに乗り換えを行う結節点の整備が必要となるため目標設定した。								
地域主体型交通導入団体数	目標	△	1	2	2	3	3	団体	累計
	実績	0	2						
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	200.0%						
上記指標の設定理由	現在、宇仁郷まちづくり協議会が運行している「宇仁ふれあいバス」のような地域住民が自ら運営し、自分たちの足を確保する地域主体型交通の取組みを、市内小学校区に広げていくため目標設定した。								
	目標	△							
	実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度							
上記指標の設定理由									

基本方針・政策・施策										
基本方針	4 ともに活躍しまちの魅力を高める									
政策	11 協創のまちづくりの推進									
施策	⑩ 協創のまちづくり									
施策目標・担当部課										
施策目標	ア 小学校区での地域課題解決に向けて多くの市民が主体的に取り組むことを目指し、ふるさと創造会議（まちづくり協議会）の活動支援に取り組めます。									
担当部課	部名	ふるさと創造部			課名	ふるさと創造課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業				経費(千円)	取組実績と今後の課題				
R3	ふるさと創造会議地域づくり交付金				16,050	島根大学作野教授を座長とし、副市長や代表区長、社協等とともに計6回の策定委員会を実施し「地域づくりのあり方指針」を作成した。共同研究は、コロナの影響もあり予定通りとはいかず、集落支援員についても1地区のみであった。地域づくり交付金やまちづくり計画書の策定等について指針に基づき、見直し・推進予定である。				
	島根大学まちづくり共同研究				500					
	加西市地域づくりアドバイザー会議事業				759					
	集落支援員活動交付金（4地区）				2,000					
	合計				19,309					
R4	ふるさと創造会議地域づくり交付金				16,900	自己評価				
	島根大学まちづくり共同研究				300					
	加西市地域づくり戦略会議				776					
	集落支援員活動交付金				1,000					
	合計				18,976					
R5	ふるさと創造会議地域づくり交付金				17,000	自己評価				
	加西市地域づくり戦略会議				800					
	集落支援員活動交付金				1,500					
	合計				19,300					
	ふるさと創造会議地域づくり交付金				17,000					
加西市地域づくり戦略会議				800						
集落支援員活動交付金				2,000						
合計				19,800						
ふるさと創造会議地域づくり交付金				17,000	自己評価					
加西市地域づくり戦略会議				800						
集落支援員活動交付金				2,500						
合計				20,300						
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
集落支援員の配置数		目標	0	4	5	7	8	10	名	累計
		実績	0	1						
第2期地域創生戦略アクションプラン	4-04	達成度	25.0%							
上記指標の設定理由		ふるさと創造会議が地域づくりを進めていくうえで事務局を専門的に担う事務局員（集落支援員）の配置が必要であり、地域づくり活動が進んでいるかどうかの一つの指標として適当なため。（R3年度より総務省の集落支援員制度を活用）								
まちづくり計画書の策定地区数		目標	4	5	5	6	6	7	地区	累計
		実績	4	5						
第2期地域創生戦略アクションプラン	4-05	達成度	100.0%							
上記指標の設定理由		ふるさと創造会議が地域づくりを進めていくうえで必要な取組みであり、地域づくり活動が進んでいるかどうかの一つの指標として適当なため。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策									
基本方針	4 ともに活躍しまちの魅力を高める								
政策	11 協創のまちづくりの推進								
施策	⑩ 協創のまちづくり								
施策目標・担当部課									
施策目標	イ 市民参画によるまちづくりを進めるため、NPO法人・地域活動家の育成を図ります。								
担当部課	部名	ふるさと創造部			課名	ふるさと創造課			
目標を達成するための具体的な取り組み									
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題						
R3	地域活動団体への支援	0	地域交流センターの登録団体に関するご相談は増加傾向にあるものの、実際の登録団体数は頭打ちの状況である。その他、公益活動支援制度である「プロバイダ事業」など、支援メニューの周知が不十分であるため整理が必要である。						
	市民活動講座	100							
	合計	100							
R4	地域活動団体への支援	0							
	市民活動講座	45							
	合計	45							
R5	地域活動団体への支援	0							
	市民活動講座	45							
	合計	45							
R6	地域活動団体への支援	0							
	市民活動講座	45							
	合計	45							
R7	地域活動団体への支援	0							
	市民活動講座	100							
	合計	100							
目標を達成するための主な指標 (KPI)									
指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
地域交流センターの登録団体数	目標		60	62	64	66	68	団体	累計
	実績	57	58						
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	96.7%						
上記指標の設定理由	地域交流センターの登録団体数をあげることが、地域活動団体の活動支援に対する評価に適していると考えため目標を設定した。								
第2期地域創生戦略アクションプラン	目標								
	実績								
	達成度								
上記指標の設定理由									
第2期地域創生戦略アクションプラン	目標								
	実績								
	達成度								
上記指標の設定理由									

基本方針・政策・施策									
基本方針	4 ともに活躍しまちの魅力を高める								
政策	11 協創のまちづくりの推進								
施策	⑩ 協創のまちづくり								
施策目標・担当部課									
施策目標	ウ 都市部との交流と都市部人材の受入体制整備による関係人口の増加に取り組みます。								
担当部課	部名	地域振興部			課名	きてみて住んで課			
目標を達成するための具体的な取り組み									
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題						
R3	関係人口創出事業	5,000	関係人口の増加を図ることを目的に、加西市で何かしたい都市部の人々と、それを応援する市内の各分野で活躍している人々をつなぐ中間支援組織として、R3年12月に「一般社団法人ユニテ」を設立した。今後は、関係人口創出にかかる事業を自主的に実施していくと共に、移住定住に関する相談をワンストップで受ける窓口としても活用していく。						
	合計	5,000							
R4	中間支援組織による関係人口創出事業	2,000							
	合計	2,000							
R5	中間支援組織による関係人口創出事業	2,000							
	合計	2,000							
R6	中間支援組織による関係人口創出事業	2,000							
	合計	2,000							
R7	中間支援組織による関係人口創出事業	2,000							
	合計	2,000							
目標を達成するための主な指標（KPI）									
指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
中間支援組織の設立数	目標	—	1	1	1	1	1	件	累計
	実績	—	1						
第2期地域創生戦略アクションプラン	2-14	達成度	100.0%						
上記指標の設定理由	関係人口の増加を図るため、加西市で何かしたい都市部の人々と、それを応援する市内の各分野で活躍している人々をつなぐための中間支援組織を令和3年度に設立するものとして目標設定した。								
中間支援組織による各種相談件数	目標	—	—	170	180	190	200	件	単年
	実績	—							
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	—						
上記指標の設定理由	上記の理由により設置した中間支援組織の稼働状況を図る指標として、加西市で何かしたい人や移住希望者からの中間支援組織への相談件数を使用する。移住相談件数の実績（R1年度152件）から、R4年度の目標値を170件とし、さらに段階的に増やしていくことを目標として値を設定した。								
	目標	—							
	実績	—							
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度	—						
上記指標の設定理由									

基本方針・政策・施策										
基本方針	4 ともに活躍しまちの魅力を高める									
政策	11 協創のまちづくりの推進									
施策	③ シティプロモーションの推進									
施策目標・担当部課										
施策目標	ア 郷土の豊かな歴史を学び体験するなど、シビックプライド*の醸成を図り、シティプロモーションを推進します。									
担当部課	部名	地域振興部				課名	きてみて住んで課			
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題							
R3	シティプロモーション推進事業補助事業	900	ふるさと納税をPRするデザイントラック作成と、鷲野飛行場跡やその周辺施設のバーチャル体験プログラム作成の2件を、市のシティプロモーション推進にかかる事業として、補助を実施した。 市民が行政と一緒にシティプロモーションを実施することで、より大きな効果が期待できるため、今後も積極的に活用を行っていく。							
	合計	900	自己評価	C…目標を下回っている						
R4	シティプロモーション推進事業補助事業	900								
	合計	900	自己評価							
R5	シティプロモーション推進事業補助事業	1,200								
	合計	1,200	自己評価							
R6	シティプロモーション推進事業補助事業	1,200								
	合計	1,200	自己評価							
R7	シティプロモーション推進事業補助事業	1,500								
	合計	1,500	自己評価							
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分	
シティプロモーション推進事業補助件数	目標	—	3	3	4	4	5	件	単年	
	実績	—	2							
第2期地域創生戦略アクションプラン	2-15	達成度	66.7%							
上記指標の設定理由	シティプロモーション推進の指標として、市のシティプロモーション推進に寄与する事業を補助する本事業の補助件数を使用するもので、R3年度の目標値を3件とし、さらに段階的に増やしていくことを目標として値を設定した。									
第2期地域創生戦略アクションプラン	目標	—								
	実績	—								
第2期地域創生戦略アクションプラン	達成度	—								
上記指標の設定理由										
第2期地域創生戦略アクションプラン	目標	—								
	実績	—								
第2期地域創生戦略アクションプラン	達成度	—								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策									
基本方針	4 ともに活躍しまちの魅力を高める								
政策	11 協創のまちづくりの推進								
施策	③ シティプロモーションの推進								
施策目標・担当部課									
施策目標	イ 近隣自治体等との連携による情報発信体制の強化や、魅力的なふるさと納税返礼品の充実などにより、まちの魅力を積極的にPRしていきます。								
担当部課	部名	地域振興部			課名	きてみて住んで課			
目標を達成するための具体的な取り組み									
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題						
R3	ふるさと納税推進事業	1,250,000	寄附の多くが楽天等のポータルサイトからであることを踏まえ、各ポータルサイトへの検索を増やすための取組や、鶴野飛行場跡の保存・活用を目的としたクラウドファンディングの実施、加西市の魅力が詰まったPRパンフレットの作成を行い、R3年度は約64億円（前年比121%増）の寄附につなげた。移住相談会もコロナの影響で一部中止となったが、オンラインも活用し、3回参加した。						
	移住相談会の実施	0							
	合計	1,250,000							
R4	ふるさと納税推進事業	1,584,000							
	移住相談会の実施	0							
	シティプロモーション広告事業	1,000							
	合計	1,585,000							
R5	ふるさと納税推進事業	1,000,000							
	移住相談会の実施	0							
	シティプロモーション広告事業	1,200							
	合計	1,001,200							
R6	ふるさと納税推進事業	500,000							
	移住相談会の実施	0							
	シティプロモーション広告事業	1,200							
	合計	501,200							
R7	ふるさと納税推進事業	500,000							
	移住相談会の実施	0							
	シティプロモーション広告事業	1,200							
	合計	501,200							
目標を達成するための主な指標（KPI）									
指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
ふるさと納税額	目標		2,500	2,000	2,000	1,000	1,000	百万円	単年
	実績	2,004	6,456						
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	258.2%						
上記指標の設定理由	今後のふるさと納税制度が不透明であることを考慮し、目標値を設定した。								
出張相談会参加数	目標		5	5	5	5	5	回	単年
	実績	6	3						
第2期地域創生戦略アクションプラン	1-05	達成度	60.0%						
上記指標の設定理由	加西市の魅力を積極的にPRしている状況の指標として、出張の移住合同相談会の参加数を使用するもので、過去の実績から目標値に設定した。								
	目標								
	実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度							
上記指標の設定理由									

基本方針・政策・施策									
基本方針	4 ともに活躍しまちの魅力を高める								
政策	11 協創のまちづくりの推進								
施策	③ シティプロモーションの推進								
施策目標・担当部課									
施策目標	ウ 特産品のブランド化を進め、販売チャネルを増やすなどの販売促進に努めます。また、SNSに加えて、観光事業者への地域資源のPR、まちの魅力を発掘などを通じ、本市への誘客につながるような魅力を情報発信します。								
担当部課	部名	ふるさと創造部			課名	文化・観光・スポーツ課			
目標を達成するための具体的な取り組み									
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題						
R3	「かさい喝采みやげ」の充実	2,000	<喝采みやげ>「加西喝采みやげ」をリニューアルし、登録品目が27から55品目に大幅増となった。<情報発信>webサイト「かさい観光ナビ」リニューアル、観光案内所運営、レンタサイクル事業、ガイド支援、看板補修、商品開発などの事業実施。<まちあそび>かさいまちあそび事業をまちラボに委託。10月開催のかさいまちあそび2021以外にも主催事業を展開。新たな体験型プログラムやプログラム主催者を獲得できた。						
	観光情報の発信（観光協会）	13,200							
	「かさいまちあそび」の推進	2,000							
	合計	17,200							
R4	「かさい喝采みやげ」の充実	500	自己評価						
	観光情報発信、観光資源の発掘・PR(観光協会事業)	7,025							
	「かさいまちあそび」の推進	2,000							
	合計	9,525							
R5	「かさい喝采みやげ」の充実	500	自己評価						
	観光情報発信、観光資源の発掘・PR(観光協会事業)	8,000							
	「かさいまちあそび」の推進	2,000							
	合計	10,500							
R6	「かさい喝采みやげ」の充実	500	自己評価						
	観光情報発信、観光資源の発掘・PR(観光協会事業)	8,000							
	「かさいまちあそび」の推進	2,000							
	合計	10,500							
R7	「かさい喝采みやげ」の充実	500	自己評価						
	観光情報の発信（観光協会）	17,000							
	「かさいまちあそび」の推進	2,000							
	合計	19,500							
目標を達成するための主な指標（KPI）									
指標	区分	基準値(R円)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
「かさい観光ナビ」アクセス数	目標		180	185	190	195	200	千ビュー	単年
	実績	178	140						
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	77.8%						
上記指標の設定理由	観光情報発信基地としての機能が果たしているかの効果測定に適しているため。								
観光協会SNSフォロワー数	目標		3,600	3,700	3,800	3,900	4,000	人	累計
	実績	3,592	4,149						
第2期地域創生戦略アクションプラン	2-16	達成度	115.3%						
上記指標の設定理由	観光のリアルタイム情報を受けてもらう環境がどれだけ整っているかを検証するのに適しているため。								
「かさいまちあそび」参加者数	目標		650	650	700	700	750	人	単年
	実績	573	467						
第2期地域創生戦略アクションプラン	2-02	達成度	71.8%						
上記指標の設定理由	事業参加者数を測定することで、当市の誘客状況を把握することが可能であるため								

基本方針・政策・施策									
基本方針	4 ともに活躍しまちの魅力を高める								
政策	11 協創のまちづくりの推進								
施策	⑫ 広報・広聴の充実								
施策目標・担当部課									
施策目標	ア 親しみやすく読みやすい広報誌を全市民に配布し、各種施策やサービス・制度の周知を図るとともに、報道機関へのプレスリリースを積極的に進め、情報発信の充実に努めます。								
担当部課	部名	ふるさと創造部			課名	秘書課			
目標を達成するための具体的な取り組み									
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題						
R3	報道機関へのプレスリリースの実施	0	定例記者懇談会の開催：12回 プレスリリース件数：464件（うちコロナ関連84件） 市民アンケートをもとに5月号より広報誌リニューアルを実施。名前も「すっきゃかさい」とし、コンセプトは「市民にもっと加西を好きになってもらう」。毎号の特集記事や「キラリびと」と題した人物紹介記事も新設。令和3年度県広報コンクールで企画賞と1枚の写真の部で特選に入賞。						
	広報かさいの作成	6,697							
	合計	6,697							
R4	報道機関へのプレスリリースの実施	0							
	広報かさいの作成	7,000							
	合計	7,000							
R5	報道機関へのプレスリリースの実施	0							
	広報かさいの作成	7,000							
	合計	7,000							
R6	報道機関へのプレスリリースの実施	0							
	広報かさいの作成	7,000							
	合計	7,000							
R7	報道機関へのプレスリリースの実施	0							
	広報かさいの作成	7,000							
	合計	7,000							
目標を達成するための主な指標（KPI）									
指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
マスメディアの掲載件数	目標		395	400	405	410	415	回	単年
	実績	385	456						
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	115.4%						
上記指標の設定理由	これまでの実績をベースに、5年間で約5%のアップを目指すため目標設定した。								
第2期地域創生戦略アクションプラン	目標								
	実績								
	達成度								
上記指標の設定理由									
第2期地域創生戦略アクションプラン	目標								
	実績								
	達成度								
上記指標の設定理由									

基本方針・政策・施策									
基本方針	4 ともに活躍しまちの魅力を高める								
政策	11 協創のまちづくりの推進								
施策	⑫ 広報・広聴の充実								
施策目標・担当部課									
施策目標	イ ホームページやSNSなどの媒体を活用し、必要な情報をタイムリーに提供できる体制を強化します。								
担当部課	部名	総務部			課名	デジタル戦略課			
目標を達成するための具体的な取り組み									
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題						
R3	CMSによるホームページの運用	2,679	件数的には目標とする数になっているが、質の向上は今後も必要である。CMSが警告しているにもかかわらずそのままにしている例もあるので、作成者および第一承認者のスキルアップは必要である。						
	合計	2,679							
	R4	CMSによるホームページの運用	2,520	自己評価					
合計	2,520	自己評価							
R5	CMSによるホームページの運用	2,520	自己評価						
合計	2,520	自己評価							
R6	CMSによるホームページの運用	2,520	自己評価						
合計	2,520	自己評価							
R7	CMSによるホームページの運用	2,520	自己評価						
合計	2,520	自己評価							
目標を達成するための主な指標（KPI）									
指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
ホームページの延べ更新数	目標		4,600	4,700	4,800	4,900	5,000	ページ	単年
	実績	—	4,558						
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	99.1%						
上記指標の設定理由	情報の提供の提供数はホームページの延べ更新数（最終承認者の承認数）に比例すると考えられることから、指標になると判断した。								
第2期地域創生戦略アクションプラン	目標								
	実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン	達成度								
上記指標の設定理由									
第2期地域創生戦略アクションプラン	目標								
	実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン	達成度								
上記指標の設定理由									

基本方針・政策・施策										
基本方針	4 ともに活躍しまちの魅力を高める									
政策	11 協創のまちづくりの推進									
施策	⑫ 広報・広聴の充実									
施策目標・担当部課										
施策目標	ウ 様々な手段や機会を通じて市民のニーズを把握するとともに、市民から寄せられる提案や要望、意見に対する回答について、適切かつ迅速な対応を行います。									
担当部課	部名	ふるさと創造部			課名	秘書課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	タウンミーティング（住民企画型含む）の実施			100	タウンミーティング（TM）については10/27～11/17で市内10カ所において実施し、予算編成前に地域の要望や課題を集約した。また、市内在住の外国人を対象としたTMも実施した。要望書等については、要望書24件、要請4件、市民ふれあい提案74件。市民ふれあい提案はコロナ、ウクライナ関連が増加した。頂いた意見は関係部署へ共有するとともに、回答を作成した。					
	要望書等（市民ふれあい提案含む）による市民ニーズの把握			0						
	合計			100						
				自己評価						A…目標を上回って達成
R4	タウンミーティング（住民企画型含む）の実施			100						
	要望書等（市民ふれあい提案含む）による市民ニーズの把握			0						
	合計			100						
				自己評価						
R5	タウンミーティング（住民企画型含む）の実施			100						
	要望書等（市民ふれあい提案含む）による市民ニーズの把握			0						
	合計			100						
				自己評価						
R6	タウンミーティング（住民企画型含む）の実施			100						
	要望書等（市民ふれあい提案含む）による市民ニーズの把握			0						
	合計			100						
				自己評価						
R7	タウンミーティング（住民企画型含む）の実施			100						
	要望書等（市民ふれあい提案含む）による市民ニーズの把握			0						
	合計			100						
				自己評価						
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
要望書等（市民ふれあい提案・メール含む）の回答実績		目標	77	80	85	90	95	100	件	単年
		実績	77	93						
第2期地域創生戦略アクションプラン		—	達成度	116.3%						
上記指標の設定理由		これまでの実績をベースに年間で約5%のアップを目指すため目標設定した。								
第2期地域創生戦略アクションプラン		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		—	達成度							
上記指標の設定理由										
第2期地域創生戦略アクションプラン		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		—	達成度							
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策										
基本方針	4 ともに活躍しまちの魅力を高める									
政策	12 お互いを認め合える社会の実現									
施策	⑬ 自分らしく暮らせる地域づくりの推進									
施策目標・担当部課										
施策目標	ア 家庭、学校、職場や地域等で様々な人権問題や多様な性のあり方に関する教育や啓発を進め、お互いを認め合い、差別を許さないまちづくりを推進します。									
担当部課	部名	ふるさと創造部			課名	人権推進課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	人権文化をすすめる市民のつどい			615	人権文化をすすめる市民のつどいに、280人の参加。地区人権学習会、まちかどフォーラムに、524人の参加。自主参加型の学習機会として、加西市人権教育協議会と連携した太鼓づくり教室、人権映画会などに、196人の参加。自治会、事業所等が自主開催する研修会に講師派遣等を行い、250人の参加。公民館活動グループや市職員等を対象に人権研修会を実施し、610人の参加。					
	地区人権学習会、まちかどフォーラム			1,024						
	加西市人権教育協議会や公民館と連携した講演会、フィールドワーク等			627						
	企業、団体等での人権学習会			132						
	自主参加型学習会や映画上映			205						
	合計			2,603						自己評価
R4	人権文化をすすめる市民のつどい			480	自己評価					
	地区人権学習会、まちかどフォーラム、まちかどシアター、まちかどオンライン			1,032						
	加西市人権教育協議会連携事業（太鼓作り教室、フィールドワーク等）			507						
	人権映画会			75						
	長島愛生園訪問事業			40						
	合計			2,134						
R5	人権文化をすすめる市民のつどい			480	自己評価					
	地区人権学習会、まちかどフォーラム、まちかどシアター、まちかどオンライン			1,032						
	加西市人権教育協議会連携事業（太鼓作り教室、フィールドワーク等）			507						
	人権映画会			75						
	長島愛生園訪問事業			40						
	合計			2,134						
R6	人権文化をすすめる市民のつどい			480	自己評価					
	地区人権学習会、まちかどフォーラム、まちかどシアター、まちかどオンライン			1,032						
	加西市人権教育協議会連携事業（太鼓作り教室、フィールドワーク等）			507						
	人権映画会			75						
	長島愛生園訪問事業			40						
	合計			2,134						
R7	人権文化をすすめる市民のつどい			615	自己評価					
	地区人権学習会、まちかどフォーラム			1,024						
	加西市人権教育協議会や公民館と連携した講演会、フィールドワーク等			627						
	企業、団体等での人権学習会			132						
	自主参加型学習会や映画上映			205						
	合計			2,603						
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R円)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
人権学習会参加者数		目標		3,300	3,350	3,400	3,450	3,500	人	単年
		実績	3,398	2,074						
第2期地域創生戦略アクションプラン		—	達成度	62.8%						
上記指標の設定理由		人権学習会に参加することが人権意識の高揚につながるという考えから、人権学習会参加者数を指標にすることが適している。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン			達成度							
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン			達成度							
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策									
基本方針	4 ともに活躍しまちの魅力を高める								
政策	12 お互いを認め合える社会の実現								
施策	⑬ 自分らしく暮らせる地域づくりの推進								
施策目標・担当部課									
施策目標	イ 家庭や学校、施設等における、子どもや高齢者等に対する虐待の防止、DV*被害者への支援に取り組みます。								
担当部課	部名	健康福祉部			課名	地域福祉課			
目標を達成するための具体的な取り組み									
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題						
R3	DVセンター運営事業	3,605	DVセンターにおいては婦人相談員を1名確保したが、子ども家庭総合支援拠点の中心となる子ども家庭支援員は1名しか確保出来なかった。専門職の確保が最大の課題である。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、資質向上のための研修にはほとんど参加出来ていない。						
	子ども家庭総合支援拠点運営事業	8,465							
	合計	12,070							
R4	DVセンター運営事業	3,765							
	子ども家庭総合支援拠点運営事業	13,102							
	合計	16,867							
R5	DVセンター運営事業	3,765							
	子ども家庭総合支援拠点運営事業	13,102							
	合計	16,867							
R6	DVセンター運営事業	3,765							
	子ども家庭総合支援拠点運営事業	13,102							
	合計	16,867							
R7	DVセンター運営事業	3,765							
	子ども家庭総合支援拠点運営事業	13,102							
	合計	16,867							
目標を達成するための主な指標 (KPI)									
指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
婦人相談員数	目標	1	1	1	1	1	1	人	単年
	実績	1	1						
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	100.0%						
上記指標の設定理由	DV被害者支援を達成するにあたり、安定してDVセンターを運営することが求められ、専門職である婦人相談員の確保及び資質の向上が最重要課題であるため、目標として設定した。								
子ども家庭支援員数	目標	2	2	2	2	2	2	人	単年
	実績	1	1						
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	50.0%						
上記指標の設定理由	児童虐待防止を達成するにあたり、安定して子ども家庭総合支援拠点を運営することが求められ、専門職である子ども家庭支援員の確保及び資質の向上が最重要課題であるため、目標として設定した。人口規模より法定では子ども家庭支援員2名配置が必要。								
	目標								
	実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度							
上記指標の設定理由									

基本方針・政策・施策										
基本方針	4 ともに活躍しまちの魅力を高める									
政策	12 お互いを認め合える社会の実現									
施策	⑬ 自分らしく暮らせる地域づくりの推進									
施策目標・担当部課										
施策目標	ウ 孤独や孤立、排除や摩擦から援護し、健康で文化的な生活の実現につなげるよう、社会の構成員として包み支え合う取り組みを推進します。									
担当部課	部名	健康福祉部			課名	地域福祉課				
	部名	健康福祉部			課名	長寿介護課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	障害者（児）相談支援事業			27,298	障害者（児）相談支援事業については、加西市基幹相談支援センターやすらぎに委託している。コロナ禍において、来所での相談を控える傾向がみられる。障害者の中核的な相談窓口として今後も継続して取り組んでいくべき事業である。					
	合計			27,298						自己評価
R4	障害者（児）相談支援事業			27,298						
	合計			27,298						自己評価
R5	障害者（児）相談支援事業			27,298						
	合計			27,298						自己評価
R6	障害者（児）相談支援事業			27,298						
	合計			27,298						自己評価
R7	障害者（児）相談支援事業			27,298						
	合計			27,298						自己評価
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
障がい者（児）相談延べ件数		目標	11,953	15,400	15,500	15,600	15,700	15,800	件	単年
		実績	11,953	11,887						
第2期地域創生戦略アクションプラン		—	達成度	77.2%						
上記指標の設定理由		利用者の増加傾向がみられ今後も増加が続くものと見込まれるため、適していると判断した。								
第2期地域創生戦略アクションプラン		目標	11,953							
		実績	11,953							
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度	77.2%							
上記指標の設定理由										
第2期地域創生戦略アクションプラン		目標	11,953							
		実績	11,953							
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度	77.2%							
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策									
基本方針	4 ともに活躍しまちの魅力を高める								
政策	12 お互いを認め合える社会の実現								
施策	⑬ 自分らしく暮らせる地域づくりの推進								
施策目標・担当部課									
施策目標	ウ 孤独や孤立、排除や摩擦から援護し、健康で文化的な生活の実現につなげるよう、社会の構成員として包み支え合う取り組みを推進します。								
担当部課	部名	健康福祉部			課名	地域福祉課			
	部名	健康福祉部			課名	長寿介護課			
目標を達成するための具体的な取り組み									
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題						
R3	権利擁護センター設置事業準備	0	R3年11月に権利擁護センターの広域設置に向けて事業担当者会議（加西市、西脇市、加東市、多可町）を開催し、各市町の取組状況やセンター設置の方向性などの意見交換を行った。今後も定期的に、各関係機関や近隣市の担当者と、権利擁護センター設置へ向けての課題（センターの設置場所や職員の確保等）解決に向けての話し合いを行っていく。						
	合計	0							
R4	権利擁護センター設置事業	10							
	合計	10							
R5	権利擁護センター設置事業	10							
	合計	10							
R6	権利擁護センター設置事業	10							
	合計	10							
R7	権利擁護センター設置事業	8,000							
	合計	8,000							
目標を達成するための主な指標（KPI）									
指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
権利擁護に関する相談件数	目標	0	0	30	30	35	35	件	単年
	実績	0	0						
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	-						
上記指標の設定理由	権利擁護センターをについては現時点で未設置であるが、各関係機関と協議を行い成年後見制度利用促進に向けて自治体の役割が大きくなってきており、今後へ向けての目標を設定した。								
	目標								
	実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度							
上記指標の設定理由									
	目標								
	実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度							
上記指標の設定理由									

基本方針・政策・施策										
基本方針	4 ともに活躍しまちの魅力を高める									
政策	12 お互いを認め合える社会の実現									
施策	㊸ 男女共同参画の推進									
施策目標・担当部課										
施策目標	ア 行政や自治会などまちづくりの分野において自分らしく活躍できるよう、学校や地域、各機関等に対する啓発や情報提供などを行い、誰もが参加しやすい環境づくりに取り組みます。									
担当部課	部名	ふるさと創造部				課名	ふるさと創造課			
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題							
R3	女性リーダー育成事業	360	新事業である「女性リーダー養成講座」を予定通りに実施し、1年の集大成としてフォーラムを開催した。計画に関しても庁内WG及び策定委員会、パブコメを経て、策定出来た。女性コミュニティ活動女性に関しては申請がなかったので、女性リーダー受講生のアウトプットの手段としても推進していきたい。							
	男女共同参画計画策定事業	2,156								
	女性のコミュニティ活動助成	100								
	合計	2,616								
R4	女性リーダー育成事業	420								
	地域女性活躍推進事業	760								
	合計	1,180								
R5	女性リーダー育成事業	420								
	地域女性活躍推進事業	2,760								
	合計	3,180								
R6	女性リーダー育成事業	420								
	地域女性活躍推進事業	2,760								
	合計	3,180								
R7	女性リーダー育成事業	420								
	地域女性活躍推進事業	2,760								
	合計	3,180								
目標を達成するための主な指標 (KPI)										
指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分	
女性管理職登用率	目標		16	17	18	19	20	%	単年	
	実績	15.2	13.3							
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	83.1%							
上記指標の設定理由	市内企業を含む市役所・病院・認定こども園等の女性管理職率をあげることで、助成活躍の推進状況を図るひとつの指標となるため目標設定した。									
	目標									
	実績									
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										
	目標									
	実績									
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策									
基本方針	4 ともに活躍しまちの魅力を高める								
政策	12 お互いを認め合える社会の実現								
施策	⑳ 男女共同参画の推進								
施策目標・担当部課									
施策目標	イ 女性の雇用促進のため、ハローワークとの連携による就労に関する情報の提供や各種講座を開催するとともに、企業への啓発に取り組みます。								
担当部課	部名	地域振興部			課名	産業振興課			
目標を達成するための具体的な取り組み									
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題						
R3	ふるさとハローワークの運営	12,640	兵庫労働局との雇用対策協定のもと、求職者の就職支援に取り組んでいる。女性向けの就労セミナーを開催し、就労促進に取り組んだ。製造業、サービス業等における雇用の需給のアンバランスを解消するため、女性に選ばれる企業を増やす努力も必要と思われる。						
	女性活躍就職支援事業	200							
	合計	12,840							
R4	ふるさとハローワークの運営	14,689							
	女性活躍就職支援事業	0							
	合計	14,689							
R5	ふるさとハローワークの運営	12,974							
	女性活躍就職支援事業	0							
	合計	12,974							
R6	ふるさとハローワークの運営	12,974							
	女性活躍就職支援事業	0							
	合計	12,974							
R7	ふるさとハローワークの運営	12,974							
	女性活躍就職支援事業	0							
	合計	12,974							
目標を達成するための主な指標 (KPI)									
指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
女性活躍関連セミナー参加者数	目標		20	20	25	25	30	人	単年
	実績	19	35						
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	175.0%						
上記指標の設定理由	兵庫労働局との協定に基づき、女性のための就職支援セミナーを年1回開催することになっており、加西市ふるさとハローワークで毎月1回開催しているセミナーの1つとして開催している。								
第2期地域創生戦略アクションプラン	目標								
	実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン	達成度								
上記指標の設定理由									
第2期地域創生戦略アクションプラン	目標								
	実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン	達成度								
上記指標の設定理由									

基本方針・政策・施策									
基本方針	4 ともに活躍しまちの魅力を高める								
政策	12 お互いを認め、尊重し合える社会の実現								
施策	㊸ 多文化共生と平和のまちの実現								
施策目標・担当部課									
施策目標	ア 在住外国人にとっても暮らしやすいまちとなるよう、学習支援や生活情報の多言語化を進めるとともに、NPO法人への支援と連携による市民レベルでの交流活性化を図ります。								
担当部課	部名	ふるさと創造部			課名	ふるさと創造課			
目標を達成するための具体的な取り組み									
年度	事業	経費(千円)			取組実績と今後の課題				
R3	外国人児童の学習サポート	55			ねひめカレッジと連携し、外国人児童学習サポートや日本語ボランティア研修、国際理解講座やイベントの開催を行った。コロナ禍で予定していた事業が思うように実施出来なかった。また庁内職員研修として、やさしい日本語講座を開催した。今年度より加西病院での医療通訳支援もはじめたが、想定より利用者が少なかったため、更に周知していきたい。	自己評価	C…目標を下回っている		
	支援者育成	33							
	国際理解と情報発信	128							
	やさしい日本語教室	53							
	外国人への医療通訳支援業務	1,070							
	合計	1,339							
R4	外国人児童の学習サポート	55			自己評価				
	支援者育成	33							
	国際理解と情報発信	160							
	やさしい日本語教室	53							
	外国人への医療通訳支援業務	554							
	合計	855							
R5	外国人児童の学習サポート	55			自己評価				
	支援者育成	33							
	国際理解と情報発信	160							
	やさしい日本語教室	53							
	外国人への医療通訳支援業務	554							
	合計	855							
R6	外国人児童の学習サポート	55			自己評価				
	支援者育成	33							
	国際理解と情報発信	160							
	やさしい日本語教室	53							
	外国人への医療通訳支援業務	554							
	合計	855							
R7	外国人児童の学習サポート	55			自己評価				
	支援者育成	33							
	国際理解と情報発信	160							
	やさしい日本語教室	53							
	外国人への医療通訳支援業務	554							
	合計	855							
目標を達成するための主な指標 (KPI)									
指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
住民交流事業参加者数	目標		580	590	600	610	620	人	単年
	実績		563	275					
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	47.4%						
上記指標の設定理由	住民交流事業参加者数を把握することで、多文化共生社会の推進状況を図るひとつの指標となるため目標設定した。								
第2期地域創生戦略アクションプラン	目標								
	実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン	達成度								
上記指標の設定理由									
第2期地域創生戦略アクションプラン	目標								
	実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン	達成度								
上記指標の設定理由									

基本方針・政策・施策									
基本方針	4 ともに活躍しまちの魅力を高める								
政策	12 お互いを認め、尊重し合える社会の実現								
施策	㊸ 多文化共生と平和のまちの実現								
施策目標・担当部課									
施策目標	イ 外国人との多文化共生を目指すための拠点施設の整備に取り組みます。								
担当部課	部名	地域振興部			課名	産業振興課			
目標を達成するための具体的な取り組み									
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題						
R3									
	合計	0	自己評価						
R4	多文化共生の総合的な推進計画の策定	0							
	合計	0	自己評価						
R5	多文化共生の総合的な推進計画の策定	4,400							
	合計	4,400	自己評価						
R6	推進計画に基づく事業実施	未定							
	合計	0	自己評価						
R7	推進計画に基づく事業実施	未定							
	合計	0	自己評価						
目標を達成するための主な指標 (KPI)									
指標	区分	基準値(R円)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
市内居住外国人数	目標		1,400	1,550	1,700	1,850	2,000	人	単年
	実績	1,184	1,164						
第2期地域創生戦略アクションプラン	1-04	達成度	83.1%						
上記指標の設定理由	多文化共生拠点施設の整備により、外国人の生活環境が向上し、市内に居住する外国人が増加することが予想されるため目標設定した。								
第2期地域創生戦略アクションプラン	目標								
	実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン	達成度								
上記指標の設定理由									
第2期地域創生戦略アクションプラン	目標								
	実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン	達成度								
上記指標の設定理由									

基本方針・政策・施策										
基本方針	4 ともに活躍しまちの魅力を高める									
政策	12 お互いを認め、尊重し合える社会の実現									
施策	⑳ 多文化共生と平和のまちの実現									
施策目標・担当部課										
施策目標	ウ 鶉野飛行場跡などの地域資源を活用した平和ツーリズム*を展開し、平和について学び、体験できる機会の提供を進めています。									
担当部課	部名	ふるさと創造部			課名	鶉野未来課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	映像展示コンテンツ等製作業務			110,000	地域活性化拠点施設「soraかさい」開館に向けて、鶉野飛行場に関連する史実を伝える歴史資料として、映像展示コンテンツ等の製作、九七式艦上攻撃機実物大模型の製作や、歴史資料の複製を行った。その他、備品購入・パンフレット作製を行い、施設を運営するための準備を行った。今後、指定管理の運営のもとで、soraかさいの来館者数や売上を伸ばせるかが課題である。					
	資料収集、アーカイブ化事業			5,000						
	平和ツーリズム推進事業			3,500						
	九七式艦上攻撃機模型製作業務			19,000						
	その他（地域活性化拠点施設備品購入・パンフレット作成等）			7,500						
	合計			145,000						自己評価
R4	加西市地域活性化拠点施設指定管理			40,000	自己評価					
	平和ツーリズム推進事業、資料調査・アーカイブ化事業			16,200						
	soraかさいファンクラブシステム構築事業			5,500						
	グリーンローモビリティ実証実験			4,000						
	道の駅基本計画及びPFI事業計画策定業務			16,000						
	合計			81,700						
R5	加西市地域活性化拠点施設指定管理			39,000	自己評価					
	平和ツーリズム推進事業、展示・資料調査・アーカイブ化事業			21,100						
	グリーンローモビリティ導入			27,200						
	鶉野メタパス事業			10,000						
	道の駅官民連携事業、用地調査・測量			73,000						
	合計			170,300						
R6	加西市地域活性化拠点施設指定管理			39,000	自己評価					
	平和ツーリズム推進事業（バス運行、イベント）			13,900						
	展示・資料調査事業（企画展、資料収集・アーカイブ化、監修）			7,200						
	道の駅基本設計			30,000						
	道の駅用地買収			160,000						
	合計			250,100						
R7	加西市地域活性化拠点施設指定管理			40,000	自己評価					
	企画展示			10,000						
	合計			50,000						
	合計			50,000						
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R円)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
修学旅行・校外学習で来訪する学校数		目標		40	45	50	55	60	校	単年
		実績	9	52						
第2期地域創生戦略アクションプラン		-	達成度	130.0%						
上記指標の設定理由		鶉野飛行場跡「平和について学び、考える場」として整備を進めていることから、平和学習を目的とした修学旅行等で来訪する学校数を指標とした。5月～7月、9月～11月の修学旅行シーズンにおいて、R7年度には月平均10校（週2～3校）の来訪を目指す。								
第2期地域創生戦略アクションプラン		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		-	達成度							
上記指標の設定理由										
第2期地域創生戦略アクションプラン		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		-	達成度							
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策									
基本方針	4 ともに活躍しまちの魅力を高める								
政策	13 効率的で持続可能な行財政の推進								
施策	⑳ 行財政運営の効率化								
施策目標・担当部課									
施策目標	ア 行政サービスの効率的な提供や質の向上を図るため、組織体制の整理や職員研修による資質向上に取り組みます。								
担当部課	部名	総務部			課名	総務課			
目標を達成するための具体的な取り組み									
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題						
R3	広域研修への参加による広い視野を持った人材の育成	837	広域研修受講者に138名が参加。経費は603千円であった。今度の課題としては、幼保職場の研修参加増加に取り組んでいく必要があると考える。(R3 5名受講)						
	合計	837							
	R4	広域研修への参加による広い視野を持った人材の育成	743						
合計		743	自己評価						
R5		広域研修への参加による広い視野を持った人材の育成	743						
	合計	743	自己評価						
	R6	広域研修への参加による広い視野を持った人材の育成	743						
合計		743	自己評価						
R7		広域研修への参加による広い視野を持った人材の育成	865						
	合計	865	自己評価						
	目標を達成するための主な指標 (KPI)								
指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
広域研修への参加人数	目標	95	95	100	105	110	115	人	単年
	実績	91	138						
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	145.3%						
上記指標の設定理由	外部で実施する研修へ参加することで見識を深め、職員の質が向上することで、市民サービスをさらに向上させることにつながるため目標設定した。								
第2期地域創生戦略アクションプラン	目標								
	実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン	達成度								
上記指標の設定理由									
第2期地域創生戦略アクションプラン	目標								
	実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン	達成度								
上記指標の設定理由									

基本方針・政策・施策										
基本方針	4 ともに活躍しまちの魅力を高める									
政策	13 効率的で持続可能な行財政の推進									
施策	⑳ 行財政運営の効率化									
施策目標・担当部課										
施策目標	イ 効率的な行政運営や持続可能な財政運営に向けて取り組みを進めます。									
担当部課	部名	総務部				課名	財政課			
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題							
R3	歳入確保、歳出抑制	0	市税収入・ふるさと納税等の増収や、地方交付税の追加交付等による十分な歳入確保と、建設事業の減や、コロナ対策の国庫補助等の充当による一般財源の歳出抑制の結果、黒字収支見込みとなり、基金も一定額以上の確保ができた。上記の黒字収支見込みによる剰余額を財源として、一部の起債に置き換えることができ、新たな市債発行の抑制に繋げることができた。次年度以降、ふるさと納税や国の臨時交付金等の歳入減が見込まれるため、歳出抑制に努め、市債発行の抑制も引き続き努めていく。							
	新たな市債の発行の抑制	0								
	財政調整基金、減債基金の一定額の確保	0								
	合計	0								
R4	歳入確保、歳出抑制	0								
	新たな市債の発行の抑制	0								
	財政調整基金、減債基金の一定額の確保	0								
	合計	0								
R5	歳入確保、歳出抑制	0								
	新たな市債の発行の抑制	0								
	財政調整基金、減債基金の一定額の確保	0								
	合計	0								
R6	歳入確保、歳出抑制	0								
	新たな市債の発行の抑制	0								
	財政調整基金、減債基金の一定額の確保	0								
	合計	0								
R7	歳入確保、歳出抑制	0								
	新たな市債の発行の抑制	0								
	財政調整基金、減債基金の一定額の確保	0								
	合計	0								
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分	
実質公債費比率	目標	7.6	7.6	7.6	7.6	7.5	7.5	%	単年 減少指標	
	実績	7.6	未確定							
第2期地域創生戦略アクションプラン	4-17	達成度								
上記指標の設定理由	行財政改革プランの収支見通し作成に用いた10年間の公債費、他会計繰出金等をもとに10年間の実質公債費比率を算出してR7の数値をゴールとし、R2実績値を超えずに段階的に下がるよう各年目標値を設定した。									
将来負担比率	目標	69.0	69.0	68.0	67.0	66.0	65.0	%	単年 減少指標	
	実績	69.4	未確定							
第2期地域創生戦略アクションプラン	4-17	達成度								
上記指標の設定理由	行財政改革プランの収支見通し作成に用いた10年間の各会計起債発行額等をもとに10年間の将来負担比率を算出してR7の数値をゴールとし、R2実績値を超えずに段階的に下がるよう各年目標値を設定した。									
	目標									
	実績									
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策									
基本方針	4 ともに活躍しまちの魅力を高める								
政策	13 効率的で持続可能な行財政の推進								
施策	⑳ 行財政運営の効率化								
施策目標・担当部課									
施策目標	ウ 自主財源確保のための市税及び使用料等の徴収体制強化を図ります。								
担当部課	部名	総務部			課名	収納課			
目標を達成するための具体的な取り組み									
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題						
R3	市税等収納向上対策	6,000	コロナ禍で納税が難しくなった方がいるなかで、目標値を上回る収納率を達成した。過年度分については、特例により前年度に徴収猶予となったものの多くを収納できたため、実績値が高く出ている。徴収猶予がなくなったR4ではそこまでの実績は望めないが、納付された方との税の公平を保つための徴収業務に努める。						
	合計	6,000							
R4	市税等収納向上対策	6,000							
	合計	6,000							
R5	市税等収納向上対策	6,000							
	合計	6,000							
R6	市税等収納向上対策	6,000							
	合計	6,000							
R7	市税等収納向上対策	6,000							
	合計	6,000							
目標を達成するための主な指標 (KPI)									
指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
収納率（現年分）	目標		98.2	98.4	98.6	98.8	99.0	%	単年
	実績	99.0	98.2						
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	100.0%						
上記指標の設定理由	新型コロナウイルスの影響も考えられることから、コロナ禍前の最高値を目標値として設定した。								
収納率（過年分）	目標		25.0	25.2	25.4	25.6	25.8	%	単年
	実績	31.6	37.0						
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	148.0%						
上記指標の設定理由	新型コロナウイルスの影響も考えられることから、上記の目標値を設定した。								
	目標								
	実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度							
上記指標の設定理由									

基本方針・政策・施策																
基本方針	4 ともに活躍しまちの魅力を高める															
政策	13 効率的で持続可能な行財政の推進															
施策	⑳ 行財政運営の効率化															
施策目標・担当部課																
施策目標	Ⅰ 公共施設等総合管理計画に基づき、公共施設の適正な維持管理に努めるとともに、国・県の動向を踏まえ、入札制度について随時見直しを実施し、適正かつ効率的な事務の執行を図ります。															
担当部課	部名	総務部			課名	管財課										
目標を達成するための具体的な取り組み																
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題													
R3	庁舎照明設備器具改修	22,000	本庁舎における省エネルギー化を推進し、電力使用量を削減するとともに、二酸化炭素排出量削減による脱炭素社会の実現に貢献するため、庁舎内の照明器具のうち、LED化が未完了のものについてLED照明に更新した。													
	固定資産台帳データ管理及び更新	660														
	事業者への立ち入り調査、指導	0														
	合計	22,660								自己評価	B…ほぼ目標を達成					
R4	旧庁舎解体工事	60,000														
	固定資産台帳データ管理及び更新	660														
	事業者への立ち入り調査、指導	0														
	合計	60,660								自己評価						
R5	固定資産台帳データ管理及び更新	660														
	事業者への立ち入り調査、指導	0														
	合計	660								自己評価						
	合計	660								自己評価						
R6	固定資産台帳データ管理及び更新	660														
	事業者への立ち入り調査、指導	0														
	合計	660								自己評価						
	合計	660								自己評価						
R7	固定資産台帳データ管理及び更新	660														
	事業者への立ち入り調査、指導	0														
	合計	660								自己評価						
	合計	660								自己評価						
目標を達成するための主な指標（KPI）																
指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分							
入札案件の設計額に対する契約額の比率	目標		82.5	83.0	83.5	84.0	84.5	%	単年							
	実績	82.1	82.2													
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	99.6%													
上記指標の設定理由	低入札価格調査制度と最低制限価格制度の範囲を拡大し、公共工事の更なる品質確保や円滑な施工確保のため目標設定した。															
	目標															
	実績															
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度														
上記指標の設定理由																
	目標															
	実績															
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度														
上記指標の設定理由																

基本方針・政策・施策									
基本方針	4 ともに活躍しまちの魅力を高める								
政策	13 効率的で持続可能な行財政の推進								
施策	⑳ 行財政運営の効率化								
施策目標・担当部課									
施策目標	オ 時差出勤やテレワークなど、職員のワーク・ライフ・バランスに配慮した業務環境を構築します。								
担当部課	部名	総務部			課名	総務課			
目標を達成するための具体的な取り組み									
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題						
R3	時差出勤の制度導入・活用	0	時差出勤利用（新型コロナによる分散勤務を除く）23名、テレワーク実績（R3年度）135件であった。モバイルルーターレンタル料は457千円となっている。 テレワーク兵庫の活用を推進するなど、引き続きワーク・ライフ・バランスに配慮した業務環境の構築に取り組む。						
	テレワークの推進	930							
	合計	930							
R4	時差出勤の制度導入・活用	0							
	テレワークの推進	930							
	合計	930							
R5	時差出勤の制度導入・活用	0							
	テレワークの推進	930							
	合計	930							
R6	時差出勤の制度導入・活用	0							
	テレワークの推進	930							
	合計	930							
R7	時差出勤の制度導入・活用	0							
	テレワークの推進	930							
	合計	930							
目標を達成するための主な指標（KPI）									
指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
時差出勤の活用人数	目標		20	30	40	50	60	人	単年
	実績	0	23						
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	115.0%						
上記指標の設定理由	時差出勤を取り入れることで業務量、時間をマネジメントする能力をつくり、効率的で質の高い行政サービスを取り組むことにつながるため目標設定した。								
テレワークの実施件数	目標		160	240	320	400	480	件	単年
	実績	0	135						
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	84.4%						
上記指標の設定理由	テレワークは、業務の分析と細分化が必要である。執務室外で、できる業務を取出し集中して行うことで業務効率を上げ、行政サービスの向上につなげるようになるため目標設定した。								
	目標								
	実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度							
上記指標の設定理由									

基本方針・政策・施策														
基本方針	4 ともに活躍しまちの魅力を高める													
政策	13 効率的で持続可能な行財政の推進													
施策	⑦ ICTの利活用の推進													
施策目標・担当部課														
施策目標	ア 行政事務の効率化を実現するため、A I や R P A など、最新の情報技術の導入や活用について検討のうえ整備を進めるとともに、リモートワークに適した環境整備に取り組みます。													
担当部課	部名	総務部			課名	デジタル戦略課								
	部名	総務部			課名	総務課（議会事務局）								
目標を達成するための具体的な取り組み														
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題									
R3	RPAの利用			550	RPAについては複数課の会計伝票を作成したこととメール送信を自動化するシナリオの作成で動作回数だけを見れば想定より大きく増加しているがシナリオそのものはあまり増えていない。シナリオの開発に一定のコンピュータスキルが必要なことから、シナリオの開発が思うように進んでいない。また、RPAに適した業務も発見が困難（まとまった業務量の定型処理が見つからない）。									
	ビジネスチャットツール			2,112										
	合計			2,662						自己評価	B…ほぼ目標を達成			
R4	RPAの利用			1,980										
	ビジネスチャットツール			3,168										
	合計			5,148						自己評価				
R5	RPAの利用			1,980										
	ビジネスチャットツール			3,168										
	合計			5,148						自己評価				
R6	RPAの利用			1,980										
	ビジネスチャットツール			3,168										
	合計			5,148						自己評価				
R7	RPAの利用			1,980										
	ビジネスチャットツール			3,168										
	合計			5,148						自己評価				
目標を達成するための主な指標（KPI）														
指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分					
RPAのシナリオ動作回数	目標		100	150	200	250	300	回	単年					
	実績	0	421											
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	421.0%											
上記指標の設定理由	R P A は行政事務を効率的に行うための道具であり、有効活用していれば動作回数に反映すると考えられることから指標に適していると判断した。													
	目標													
	実績													
第2期地域創生戦略アクションプラン	達成度													
上記指標の設定理由														
	目標													
	実績													
第2期地域創生戦略アクションプラン	達成度													
上記指標の設定理由														

基本方針・政策・施策										
基本方針	4 ともに活躍しまちの魅力を高める									
政策	13 効率的で持続可能な行財政の推進									
施策	⑦ ICTの利活用の推進									
施策目標・担当部課										
施策目標	ア 行政事務の効率化を実現するため、A I や R P A など、最新の情報技術の導入や活用について検討のうえ整備を進めるとともに、リモートワークに適した環境整備に取り組みます。									
担当部課	部名	総務部			課名	デジタル戦略課				
	部名	総務部			課名	総務課（議会事務局）				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業			経費(千円)	取組実績と今後の課題					
R3	行政事務文書の電子化			1,560	行政事務文書の電子化を図るため、令和3年度に公文書管理システムを導入した。業者選定、導入準備等が必要であったため、全庁向けには3月導入となった。よってシステム導入の実質的な効果が生じるのは令和4年度以降になると考える。					
	タブレット端末の導入			189						
	合計			1,749						
R4	行政事務文書の電子化			3,041	自己評価					
	タブレット端末の導入			3,125						
	合計			6,166						
R5	行政事務文書の電子化			3,041	自己評価					
	タブレット端末の導入			715						
	合計			3,756						
R6	行政事務文書の電子化			3,041	自己評価					
	タブレット端末の導入			715						
	合計			3,756						
R7	行政事務文書の電子化			3,120	自己評価					
	タブレット端末の導入			715						
	合計			3,835						
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
複写機等の印刷枚数		目標		6,240	6,200	6,160	6,120	6,080	千枚	単年減少指標
		実績	6,280	6,269						
第2期地域創生戦略アクションプラン		—	達成度	99.5%						
上記指標の設定理由		電子化を進め、業務の効率化と経費削減を行う。特に時短は職員のワークライフバランスにつながり、充実した私生活を過ごすことで、集中して業務に取り組める。								
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										
		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策									
基本方針	4 ともに活躍しまちの魅力を高める								
政策	13 効率的で持続可能な行財政の推進								
施策	⑦ ICTの利活用の推進								
施策目標・担当部課									
施策目標	イ 効率的な行政手続きを実現するため、マイナンバーカードの普及促進や行政手続きのオンライン化などに取り組むとともに、情報通信基盤の整備を進めます。								
担当部課	部名	総務部			課名	デジタル戦略課			
目標を達成するための具体的な取り組み									
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題						
R3	ネット申請対応ツール導入	353	スマホから申請することができるようにフォームツールを導入し、イベントの申し込み等で利用を開始した。コンビニ交付はR4年度で導入する予定。						
	合計	353							
R4	住民票・印鑑証明のコンビニ交付の実施	30,951							
	ネット申請対応ツール導入	1,382							
	行政手続きオンライン化に伴う環境整備及びシステム改修作業	25,000							
	合計	57,333	自己評価						
R5	住民票・印鑑証明のコンビニ交付の実施	10,629							
	ネット申請対応ツール導入	1,382							
	合計	12,011	自己評価						
R6	住民票・印鑑証明のコンビニ交付の実施	10,629							
	ネット申請対応ツール導入	1,382							
	合計	12,011	自己評価						
R7	住民票・印鑑証明のコンビニ交付の実施	10,629							
	ネット申請対応ツール導入	1,382							
	合計	12,011	自己評価						
目標を達成するための主な指標 (KPI)									
指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
住民票・印鑑証明のコンビニ交付の発行枚数	目標		0	0	5,000	10,000	15,000	枚	単年
	実績	0	0						
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	0.0%						
上記指標の設定理由	コンビニ交付が定着することがマイナンバーカードの普及促進につながることを、税証明を含め年間約17,000件が自動交付機から発行されているがR7年度で自動交付機の運用が終了見込みとした数値を設定した。								
第2期地域創生戦略アクションプラン	目標								
	実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン	達成度								
上記指標の設定理由									
第2期地域創生戦略アクションプラン	目標								
	実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン	達成度								
上記指標の設定理由									

基本方針・政策・施策									
基本方針	4 ともに活躍しまちの魅力を高める								
政策	13 効率的で持続可能な行財政の推進								
施策	⑳ 広域連携と公民連携の推進								
施策目標・担当部課									
施策目標	ア 市単独では実施が難しい業務の運営や地域のより一層の活力向上を実現するため、一部事務組合の他、定住自立圏や連携中枢都市圏など、他自治体との連携を進めていきます。								
担当部課	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課			
目標を達成するための具体的な取り組み									
年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題						
R3	北播磨広域定住自立圏での取組の実施	703	例年どおりの取組として、「北播磨広域定住自立圏共生ビジョン」に基づく24事業の取組を推進するとともに、共生ビジョン懇談会にて前年実績の検証作業を行い、今後の事業推進に向け、意見聴取を行った。その他、2月より「北播磨日本酒かんぱい券」を販売し、新型コロナウイルス感染症の影響で売り上げの落ち込んでいる日本酒を半額で購入できる商品券を発売して、圏域におけるお米の産地維持を支援した。						
	播磨圏域連携中枢都市圏での取組の実施	54							
	「北播磨日本酒かんぱい券」事業	2,505							
	合計	3,262							
			自己評価	A…目標を上回って達成					
R4	北播磨広域定住自立圏での取組の実施	123							
	播磨圏域連携中枢都市圏での取組の実施	0							
	合計	123							
R5	北播磨広域定住自立圏での取組の実施	123							
	播磨圏域連携中枢都市圏での取組の実施	0							
	合計	123							
R6	北播磨広域定住自立圏での取組の実施（改定含む）	450							
	播磨圏域連携中枢都市圏での取組の実施	0							
	合計	450							
R7	北播磨広域定住自立圏での取組の実施	123							
	播磨圏域連携中枢都市圏での取組の実施	0							
	合計	123							
目標を達成するための主な指標（KPI）									
指標	区分	基準値(R円)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
第2次北播磨広域定住自立圏共生ビジョンにおける各連携事業のKPI平均達成率	目標		70	80	90	100	100	%	単年
	実績	—	124.7						
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	178.1%						
上記指標の設定理由	前回のような連携協定による事業数では数だけの評価となっており、内容の評価ができないため、より進捗状況が評価できるよう各KPIの平均達成率とした。								
	目標								
	実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン	達成度								
上記指標の設定理由									
	目標								
	実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン	達成度								
上記指標の設定理由									

基本方針・政策・施策															
基本方針	4 ともに活躍しまちの魅力を高める														
政策	13 効率的で持続可能な行財政の推進														
施策	㊸ 広域連携と公民連携の推進														
施策目標・担当部課															
施策目標	イ 大学や企業等との連携協定により一層まちづくりの活性化を図るとともに、民間活力を活用した行政サービスの向上に取り組みます。														
担当部課	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課									
	部名	地域振興部			課名	農政課									
目標を達成するための具体的な取り組み															
年度	事業				経費(千円)	取組実績と今後の課題									
R3	連携大学・企業等との事業実施				0	5月に日ノ本学園と包括連携協定を締結し、市内の子どもを対象とした新体操体験教室を開催するとともに、リコージャパン(株)と女性活躍推進研修を開催するなど、連携による事業を実施した。今後は、コロナ禍が続く中、新たな事業の内容や実施手法等を検討する必要がある。また、民間活力による行政サービス向上を実現させるため、複数社との新たな包括連携協定に向け調整を行った。									
	連携大学・企業等との新たな取組の検討				0										
	合計				0						自己評価	A…目標を上回って達成			
	合計				0						自己評価				
R4	連携大学・企業等との事業実施				0										
	連携大学・企業等との新たな取組の検討				0										
	合計				0						自己評価				
	合計				0						自己評価				
R5	連携大学・企業等との事業実施				0										
	連携大学・企業等との新たな取組の検討				0										
	合計				0						自己評価				
	合計				0						自己評価				
R6	連携大学・企業等との事業実施				0										
	連携大学・企業等との新たな取組の検討				0										
	合計				0						自己評価				
	合計				0						自己評価				
R7	連携大学・企業等との事業実施				0										
	連携大学・企業等との新たな取組の検討				0										
	合計				0						自己評価				
	合計				0						自己評価				
目標を達成するための主な指標 (KPI)															
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分					
包括連携協定数		目標	10	10	11	11	12	件	累計						
		実績	9	10											
第2期地域創生戦略アクションプラン		4-18	達成度	100.0%											
上記指標の設定理由		包括連携の拡大を分かりやすく把握できるものとして、連携協定数とした。													
		目標													
		実績													
第2期地域創生戦略アクションプラン			達成度												
上記指標の設定理由															
		目標													
		実績													
第2期地域創生戦略アクションプラン			達成度												
上記指標の設定理由															

基本方針・政策・施策										
基本方針	4 ともに活躍しまちの魅力を高める									
政策	13 効率的で持続可能な行財政の推進									
施策	⑳ 広域連携と公民連携の推進									
施策目標・担当部課										
施策目標	イ 大学や企業等との連携協定により一層まちづくりの活性化を図るとともに、民間活力を活用した行政サービスの向上に取り組みます。									
担当部課	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課				
	部名	地域振興部			課名	農政課				
目標を達成するための具体的な取り組み										
年度	事業				経費(千円)	取組実績と今後の課題				
R3	神戸大学、播磨農業高等学校、県立農業大学校等との連携				0	大学ではないが、県立播磨農業高等学校と学校給食への協力について協定を締結した。神戸大学食事現センターからも継続して学校給食の食材（柿、梨、はりまる、タマネギ、さつまいも）を購入した。県立農業大学校は、令和3年度にイオン加西北条店で北播磨ハポタンPRイベントに、花壇苗の提供と生徒が初めて参加した。				
	合計				0	自己評価 B…ほぼ目標を達成				
	神戸大学、播磨農業高等学校、県立農業大学校等との連携				0					
R4	神戸大学、播磨農業高等学校、県立農業大学校等との連携				0					
	合計				0	自己評価				
	神戸大学、播磨農業高等学校、県立農業大学校等との連携				0					
R5	神戸大学、播磨農業高等学校、県立農業大学校等との連携				0					
	合計				0	自己評価				
	神戸大学、播磨農業高等学校、県立農業大学校等との連携				0					
R6	神戸大学、播磨農業高等学校、県立農業大学校等との連携				0					
	合計				0	自己評価				
	神戸大学、播磨農業高等学校、県立農業大学校等との連携				0					
R7	神戸大学、播磨農業高等学校、県立農業大学校等との連携				0					
	合計				0	自己評価				
	神戸大学、播磨農業高等学校、県立農業大学校等との連携				0					
目標を達成するための主な指標（KPI）										
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
学校等との協力事業数		目標	3	3	4	4	5	事業	累計	
		実績	2	3						
第2期地域創生戦略アクションプラン		2-06	達成度	100.0%						
上記指標の設定理由		市内学校だけでなく、農機具販売店や農業メーカー等の企業との協力も含めて連携を図っていくことが地域農業の活性化に繋がる為、連携により実施している事業数を設定した。								
第2期地域創生戦略アクションプラン		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										
第2期地域創生戦略アクションプラン		目標								
		実績								
第2期地域創生戦略アクションプラン		達成度								
上記指標の設定理由										

基本方針・政策・施策

基本方針	2 活力と
政策	5 農業の再
施策	⑭ 農業経営の支援

1 施策の目標を確認してください。事業については、すべてここに書かれる目標を達成するためのものです。

施策目標・担当部課

施策目標	ウ 地元農産物を食材利用する事業者への支援や学校給食への提供などにより、地産地消や食育を推進します。		
------	--	--	--

担当部課	部名	地域振興部	課名	農政課
------	----	-------	----	-----

目標を達成するための具体的な取り組み

年度	事業	経費(千円)	取組実績と今後の課題
R3	地産地消推進事業	2,200	神戸大学食資源センターや県立播磨農業高等学校の学生が栽培した野菜やJA兵庫みらい愛菜館を通じて市内産農作物を市内の学校給食に使用している。今年度は次年度以降からもっと安定的に野菜などの供給を行う為に、播磨農業高校と協定を締結した。また、加西ゴールデンベリーAを使用したゼリー、加西とまとのピューレを使ったハンバーグ、冬かぼちゃターホースを使ったコロッケなどが誕生した。今後の課題としては、学校給食用の野菜を生産する農家を増やすことが課題となっている。
	合計	2,200	

R4	地産地消推進事業	2,000	自己評価
		2,000	

2 施策目標を達成するために、どのような事業を実施したか、またその取組内容や課題について記載していません。
自己評価については、あくまで担当課による、取組に対する評価であり、必ずしもKPIの達成率による評価ではありません。

R5		2,000	自己評価
		2,000	

【評価のポイント】
・取組実績、KPI達成度など総合的に判断していただき、施策目標の達成につながっているかを評価してください。
・行政内部の自己評価と部会での評価が一致する必要はありません。

R6	地産地消推進事業	2,000	自己評価
	合計	2,000	

R7	地産地消推進事業	2,680	自己評価
	合計	2,680	

目標を達成するための主な指標 (KPI)

指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
学校給食市内産野菜使用日数	目標		95	100	100	110	120	日	単年
	実績		92	136					
第2期地域創生戦略アクションプラン	—	達成度	143.2%						
上記指標の設定理由	市内飲食店での市内産農産物の使用店舗数も検討したが、食育や地域を知る学習への連携等も考え、学校給食での市内産農作物使用日数が適しているため。								

第2期地域創生戦略アクションプラン	目標								
	実績								

3 施策目標を達成するための指標(KPI)が定められており、実績や達成度を記載しています。

上記指標の	達成度								
第2期地域創生戦略アクションプラン	実績								
	達成度								
上記指標の設定理由									

担当部会 2

基本方針・政策・施策

基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む
政策	5 農業の再生と活性化
施策	⑬ 農業従事者の確保と育成 ⑭ 農業経営の支援 ⑮ 農業環境の充実

1 政策の目標を確認してください。ここに記載された目標を達成するために、各施策が実行されています。

未来の加西の姿

加西の特産品を生産する喜び、やりがいのある農業が展開されるまちを目指します。

評価検証

施策	行政内部による評価検証（1次評価）	審議会による外部評価（2次評価）
⑬ (ア～イ) 評価シート 45～46	2 「未来の加西の姿」を達成するために必要となる施策(①,②,③...)が複数あり、施策目標達成のために必要となる個別事業(ア,イ,ウ...)が複数あります。ここでは、複数の個別事業からなる施策に対する評価を実施していただきます。	
⑭ (ア～ウ) 評価シート 47～49	<ul style="list-style-type: none"> ■農業経営の持続可能性を確保する支援 営農組合や認定農業者に対して、機械等の購入の一部を補助した。県事業の農業経営スマート化促進事業では、雇用等の拡大を目指し、営農組合に支援した。 ■農業の所得拡大、地元農産のブランディング 特産品開発や集落営農組織の資質向上の為に、各協議会等に支援を行った。ぶどうの生産継続に向けて、棚の改修新設やベリ-Aや大粒系品種への改植を進める為に苗木の購入補助を行った。 ■地産地消や食育の推進 神戸大食資源センターや播磨農高の学生が栽培した野菜や愛菜館を通じて市内産農作物を市内の学校給食に使用している。 総合評価 A...目標を大きく上回って達成	【評価のポイント】 ・政策評価では、施策評価シートの該当ページと照らし合わせ、複数の取組を総合的に評価します。 ・判断が難しい場合は、政策目標（未来の加西の姿）達成にとってより重要であると考えられる施策の評価を重視してください
⑮ (ア～ウ) 評価シート 50～52	3 政策に対するKPIとして、前期目標(R7)が設定されています。 KPIの達成度については、令和7年度目標に対する令和3年度実績により算出しています。	
	総合評価 B...ほぼ目標を達成	総合評価

目標を達成するための主な指標（KPI）

指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
担い手への集積面積	目標		—	—	—	—	1,400	ha	単年
	実績	1,215	1,255						
	達成度		89.6%						
※認定農業者、認定新規就農者、集落営農組織が集積している農地の合計面積									
農地の活用率	目標		—	—	—	—	91	%	単年
	実績	89	87						
	達成度		95.6%						
※作付面積÷農地面積									

基本方針・政策・施策

基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む
政策	5 農業の再生と活性化
施策	⑬ 農業従事者の確保と育成 ⑭ 農業経営の支援 ⑮ 農業環境の充実

未来の加西の姿

加西の特産品を生産する喜び、やりがいのある農業が展開されるまちを目指します。

評価検証

施策	行政内部による評価検証（1次評価）	審議会による外部評価（2次評価）
⑬ (ア～イ) 評価シート 45～46	<ul style="list-style-type: none"> ■生産者を対象とした経営の指導等 地元ブランド品開発については、12件の申請があり、補助を行った。商品開発やパッケージデザインの経費に補助した結果、令和4年4月オープンしたsoraかさいで販売する商品が誕生した。 ■新規就農者支援 新たに青年等就農計画を認定した農業者は5名。今年度から農業次世代人材投資資金の交付対象者となった者も5名いる。1年間研修に行き、就農を目指していた者が多く、今年は多く就農した。 総合評価 B…ほぼ目標を達成	<ul style="list-style-type: none"> ●soraかさいといった新たな販売のチャネルも活用して、いろいろトライして、地元産品を活かした特徴あるブランド品の開発拡大を目指すべきである。 ●次代を担っていく新品種の育成のために、市内にある大学、研究機関、農高等との連携が大切なので、連携強化を図っていく必要がある。 ●女性・若者等の新規就農者の育成については、スタートアップはもちろんのこと、農業で立ち立ちできるまでの数年間のアフターフォローも欠かせないので資金・ノウハウの両面からお願いしたい。 総合評価 B…ほぼ目標を達成
⑭ (ア～ウ) 評価シート 47～49	<ul style="list-style-type: none"> ■農業経営の持続可能性を確保する支援 営農組合や認定農業者に対して、機械等の購入の一部補助を実施した。県事業の農業経営スマート化促進事業では、雇用等の拡大を目指す取り組みに支援した。 ■農業の所得拡大、地元農産のブランディング 特産品開発や集落営農組織の資質向上の為に、各協議会等に支援を行った。ぶどうの生産継続に向けて、棚の改修新設やベリーAや大粒系品種への改植を進める為に苗木の購入補助を行った。 ■地産地消や食育の推進 神戸大食資源センターや播磨農高の学生が栽培した野菜や愛菜館を通じて市内産農作物を市内の学校給食に使用している。 総合評価 A…目標を大きく上回って達成	<ul style="list-style-type: none"> ●農業の規模拡大にあたって、法人化、農地集積は欠かせない取り組みなので、着実な支援を継続をするべきである。 ●ベリーAに続く市場動向に応じた品種への移行、さらには輸出、加工品としての販売など付加価値の向上を目指した新たなチャレンジへの支援が求められる。 ●学校給食での提供はもちろん、市内レストラン等での地元野菜等の食材活用の拡大やインスタ等の情報発信も交えながらのブランド化などを考えていくとよいのではないかな。 総合評価 B…ほぼ目標を達成
⑮ (ア～ウ) 評価シート 50～52	<ul style="list-style-type: none"> ■スマート農業等、新たな農業の推進 施設園芸設備整備支援事業により、作業効率化に資する取組みを支援した。また、県予算を活用して、環境制御技術の導入を図り、作業効率を向上させ、農業者労働時間の軽減を支援した。 ■生物多様性等環境に配慮した生産の推進 水稲作付で有機資材である堆肥の散布や中干の期間を短くしてオタマジャクシなど水生昆虫の生育を助け、また温暖化ガスであるメタンガスの発生抑制などに取組み環境にやさしい農業に取り組む農家の支援を行った。 ■安定した農業経営を実現するための有害鳥獣対策の強化 総合評価 B…ほぼ目標を達成	<ul style="list-style-type: none"> ●スマート農業の推進は、省力化だけでなく品質向上でも有効と考えられ、積極的な設備投資が欠かせないものなので支援制度の充実が求められる。 ●持続的なやさしい環境づくりには、水田と畜産の連携などで引き続き拡大を図っていくことが大切であり、さらに取組みを広めていくとよい。 ●老朽ため池改修、有害鳥獣対策はまだ不十分なところがあるので、着実な取組みをお願いしたい。 総合評価 B…ほぼ目標を達成

目標を達成するための主な指標（KPI）

指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
担い手への集積面積	目標		—	—	—	—	1,400	ha	単年
	実績	1,215	1,255						
	達成度		89.6%						
※認定農業者、認定新規就農者、集落営農組織が集積している農地の合計面積									
農地の活用率	目標		—	—	—	—	91	%	単年
	実績	89	87						
	達成度		95.6%						
※作付面積：農地面積									

基本方針・政策・施策

基本方針	3 快適に暮らせる安全な社会をつくる
政策	8 安全・安心に暮らせる環境の充実
施策	㉒ 防災・感染症対策の充実 ㉓ 防犯・交通安全の向上 ㉔ 市民相談・消費者保護の充実

未来の加西の姿

地域と連携・協働した支援体制の構築と強化で、安全・安心に暮らせるまちを目指します。

評価検証

施策	行政内部による評価検証（1次評価）	審議会による外部評価（2次評価）
㉒ (ア～ウ) 評価シート 77～80	■防災体制の強化 防災ネットにより、昨年度は火災情報、外国語自動翻訳を含めて241件のメール配信を行っている。要援護者台帳の更新については、新規追加調査を行ったことから台帳登載者が増加した。 ■地域防災力の向上 新型コロナウイルス感染症の影響により、各種訓練の実施回数が減少している。資機材整備費は、例年増加傾向にある。 ■新型コロナウイルス感染症に係る患者受入、入院受入態勢の確保 前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症への対応を行った。地域の感染状況に対応するため、患者の受入れ病床を増床し対応した。また、5月以降、新型コロナワクチンの集団接種及び個別接種を実施した。 総合評価 A…目標を大きく上回って達成	●加西市は災害の少ない地であるが、引き続き不測の事態に備えて、防災無線の整備も含め万全の体制構築をお願いしたい。 ●消防団の在り方については見直しがされたが、今の時代の流れに沿って、若い世代の意識にあった組織への変革が求められていると思う。 ●コロナの対応については、ワクチン接種はもとより病院・学校・子ども園等、収束がなかなか見通せないなか大変だと思いが、しっかりした対応が引き続き望まれる。 総合評価 B…ほぼ目標を達成
㉓ (ア～イ) 評価シート 81～83	■地域と連携した見守り体制の強化による、安全安心な地域づくり 防犯灯については、設置要望箇所については設置を完了した。防犯カメラ設置事業については自治会からの要望が多いため、引き続き補助事業を継続する。 主要道への照明器具増設については、目標に達していない。 ■交通事故のないまちを目指して 令和3年度については、加西市内の中学生951名を対象とした、自転車保険加入事業を実施した。交通安全教室については、新型コロナウイルス感染拡大状況を考慮しながら、市内こども園、小中学校において実施した。なお小学校4校で前記事由により実施できなかった。 総合評価 B…ほぼ目標を達成	●防犯灯整備については、集中的に整備したことでかなり明るくなったと評価できる。残るところは、電柱がなくて設置困難な場所となるので、新たな方策を検討願いたい。 ●見守り隊など、ソフトな地域の取り組みの充実が、防犯カメラ等のハード整備に加えてさらに重要になってくるのではないかと。 ●コロナによる外出自粛の影響もあって交通事故は減少傾向にあるが、小中学校での普及啓発活動の継続が欠かせないと思う。 総合評価 B…ほぼ目標を達成
㉔ (ア～イ) 評価シート 84～85	■市民相談体制の充実 家族間トラブルや隣人トラブルをはじめ、債務の問題や高齢者の相続、健康問題、野焼き、騒音等まで多岐にわたる相談を受けつけて対応を行っている。 ■消費生活相談体制の充実 消費者相談の件数については減少傾向である。消費者講座については、参加者数が少なくなっているため、講座の内容や方法の検討が必要である。 総合評価 B…ほぼ目標を達成	●相談業務は、トラブルの重大化の予防、解決の糸口・きっかけとなることが期待されるので、PR強化としていよいよ対応をお願いしたい。 ●消費生活相談は、インターネット販売の台頭に加え、サブスクビジネスなどへの新たな対応が迫られているといえ、セミナー等の普及啓発活動も含め内容刷新が必要といえる。 総合評価 B…ほぼ目標を達成

目標を達成するための主な指標（KPI）

指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
防災訓練・研修回数	目標		—	—	—	—	75	回	単年
	実績	57	12						
	達成度		16.0%						
※自主防災組織（自治会）の延べ年間実施回数									
交通事故発生件数	目標		—	—	—	—	1,300	件	単年 減少指標
	実績	1,466	1262						
	達成度		102.9%						
※ 1/1 ～ 12/31 の交通事故件数									

他部会協議への提言書

他部会への提言がありましたら、この用紙にご記入ください。
用紙が足りない場合は、コピーしてご使用ください

評価シートのページ	
-----------	--

※意見がある箇所のみご記入ください

区 分	概 要
内部評価への意見	(記入例 ○○○について自己評価がBとなっているが、取組み実績には▲▲▲とあるので、評価はCが妥当ではないか)
部会で評価をする際に 取り入れてもらいたい 視点	(記入例 □□□については、部会で評価をする際に☆☆☆という視点で評価してほしい)
事業について 詳しく知りたい	(記入例 ●●●について、評価シートだけでは分かりにくいので、詳しい内容を知りたい)
その他	

令和 年 月 日

氏名

(提出締切 8/5 まで FAX : 0790-43-1806)

令和4年度 加西市総合政策審議会 部会の進行目安

参考資料

部会	政策	施策	回	施策評価一覧 該当ページ	評価シート 該当ページ	
1	政策1 新しい家族と出会い、 育むための支援の充実	① 結婚・妊娠・出産支援の充実	第1回部会 (8/9)	1	1~13	
		② 地域ぐるみの子育て支援の推進				
		③ 子育て環境の充実				
	政策2 子どもの教育の充実	④ 教育の質の向上		第2回部会 (8/31)	2	14~23
		⑤ 教育環境の充実				
		⑥ 地域で子どもを守り、育てる仕組みの充実				
	政策3 生涯にわたって学び、 楽しめる環境づくり	⑦ 生涯学習の充実	第2回部会 (8/31)	3	24~35	
		⑧ 芸術・スポーツの振興				
		⑨ 健康増進の推進				
	政策4 くらしを支える 福祉・医療の充実	⑩ 高齢者福祉の推進	第2回部会 (8/31)	4	36~44	
		⑪ 障がい福祉・地域福祉の充実				
		⑫ 保健・医療体制の確保				
政策12 お互いを認め、 尊重し合える社会の実現	⑬ 自分らしく暮らせる地域づくりの推進	第2回部会 (8/31)	12	114~122		
	⑭ 男女共同参画の推進					
	⑮ 多文化共生と平和のまちの実現					
2	政策5 農業の再生と活性化	⑯ 農業従事者の確保と育成	第1回部会 (8/9)	5	45~52	
		⑰ 農業経営の支援				
		⑱ 農業環境の充実				
	政策6 商工業の振興と新展開	⑲ 商工業の振興	第2回部会 (8/31)	6	53~65	
		⑳ 創業支援と働く場の拡大				
		㉑ 雇用・勤労者福祉の充実				
	政策7 地域資源の活用と 人の流れの創出	㉒ 歴史・文化の再発見と交流拡大	第2回部会 (8/31)	7	66~76	
		㉓ 移住・定住の支援				
		㉔ 空き家・空き店舗の利活用				
政策13 効率的で持続可能な 行財政の推進	㉕ 行財政運営の効率化	第2回部会 (8/31)	13	123~133		
	㉖ I C T の利活用の推進					
	㉗ 広域連携と公民連携の推進					
3	政策8 安全・安心に暮らせる 環境の充実	㉘ 防災・感染症対策の充実	第1回部会 (8/9)	8	77~85	
		㉙ 防犯・交通安全の向上				
		㉚ 市民相談・消費者保護の充実				
	政策9 快適な都市空間の創出	㉛ 住環境の整備	第1回部会 (8/9)	9	86~96	
		㉜ 地球に優しい環境都市の創造				
	政策10 安全性と利便性が 確保された都市基盤の整備	㉝ 道路・河川の整備・維持管理	第2回部会 (8/31)	10	97~104	
		㉞ 上下水道の整備・維持管理				
		㉟ 公共交通の充実				
	政策11 協創のまちづくりの推進	㊱ 協創のまちづくり	第2回部会 (8/31)	11	105~113	
		㊲ シティプロモーションの推進				
		㊳ 広報・広聴の充実				